

## 【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2026年4月24日提出
【発行者名】	野村アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	C E O兼代表取締役社長 大越 昇一
【本店の所在の場所】	東京都江東区豊洲二丁目2番1号
【事務連絡者氏名】	松井 秀仁
【電話番号】	03-6387-5000
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型 野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型 野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月分配型 野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）年2回決算型 野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）毎月分配型 野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）年2回決算型 野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型 野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型 野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）毎月分配型 野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）年2回決算型 野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）毎月分配型 野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）年2回決算型 野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型 野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）年2回決算型
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券の金額】	野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型 3兆円を上限とします。 野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型 3兆円を上限とします。 野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月分配型 3兆円を上限とします。 野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）年2回決算型 3兆円を上限とします。 野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）毎月分配型 3兆円を上限とします。 野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）年2回決算型 3兆円を上限とします。 野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型 3兆円を上限とします。 野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型 3兆円を上限とします。 野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）毎月分配型 3兆円を上限とします。 野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）年2回決算型 3兆円を上限とします。 野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）毎月分配型 3兆円を上限とします。 野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）年2回決算型 3兆円を上限とします。 野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型 3兆円を上限とします。 野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）年2回決算型 3兆円を上限とします。

【縦覧に供する場所】

該当事項はありません。

## 第一部【証券情報】

## (1)【ファンドの名称】

野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型  
 野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型  
 野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月分配型  
 野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）年2回決算型  
 野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）毎月分配型  
 野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）年2回決算型  
 野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型  
 野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型  
 野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）毎月分配型  
 野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）年2回決算型  
 野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）毎月分配型  
 野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）年2回決算型  
 野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型  
 野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）年2回決算型

本書では、ファンドの名称を下記の通り簡略化して表記しております。

	毎月分配型	年2回決算型
正式名称	野村米国ハイ・イールド債券投信 （円コース）毎月分配型	野村米国ハイ・イールド債券投信 （円コース）年2回決算型
本書における表記	円コース（毎月分配型）	円コース（年2回決算型）
	野村米国ハイ・イールド債券投信 （円コース）毎月	野村米国ハイ・イールド債券投信 （円コース）年2回
	円コース	
正式名称	野村米国ハイ・イールド債券投信 （米ドルコース）毎月分配型	野村米国ハイ・イールド債券投信 （米ドルコース）年2回決算型
本書における表記	米ドルコース（毎月分配型）	米ドルコース（年2回決算型）
	野村米国ハイ・イールド債券投信 （米ドルコース）毎月	野村米国ハイ・イールド債券投信 （米ドルコース）年2回
	米ドルコース	
正式名称	野村米国ハイ・イールド債券投信 （豪ドルコース）毎月分配型	野村米国ハイ・イールド債券投信 （豪ドルコース）年2回決算型
本書における表記	豪ドルコース（毎月分配型）	豪ドルコース（年2回決算型）
	野村米国ハイ・イールド債券投信 （豪ドルコース）毎月	野村米国ハイ・イールド債券投信 （豪ドルコース）年2回
	豪ドルコース	

正式名称	野村米国ハイ・イールド債券投信 （ブラジルリアルコース）毎月分配型	野村米国ハイ・イールド債券投信 （ブラジルリアルコース）年2回決算型
本書における表記	ブラジルリアルコース（毎月分配型）	ブラジルリアルコース（年2回決算型）
	野村米国ハイ・イールド債券投信 （リアルコース）毎月	野村米国ハイ・イールド債券投信 （リアルコース）年2回
	ブラジルリアルコース	
正式名称	野村米国ハイ・イールド債券投信 （トルコリラコース）毎月分配型	野村米国ハイ・イールド債券投信 （トルコリラコース）年2回決算型
本書における表記	トルコリラコース（毎月分配型）	トルコリラコース（年2回決算型）
	野村米国ハイ・イールド債券投信 （トルコリラコース）毎月	野村米国ハイ・イールド債券投信 （トルコリラコース）年2回
	トルコリラコース	
正式名称	野村米国ハイ・イールド債券投信 （通貨セレクトコース）毎月分配型	野村米国ハイ・イールド債券投信 （通貨セレクトコース）年2回決算型
本書における表記	通貨セレクトコース（毎月分配型）	通貨セレクトコース（年2回決算型）
	野村米国ハイ・イールド債券投信 （通貨セレクトコース）毎月	野村米国ハイ・イールド債券投信 （通貨セレクトコース）年2回
	通貨セレクトコース	
正式名称	野村米国ハイ・イールド債券投信 （メキシコペソコース）毎月分配型	野村米国ハイ・イールド債券投信 （メキシコペソコース）年2回決算型
本書における表記	メキシコペソコース（毎月分配型）	メキシコペソコース（年2回決算型）
	野村米国ハイ・イールド債券投信 （ペソコース）毎月	野村米国ハイ・イールド債券投信 （ペソコース）年2回
	メキシコペソコース	

これらを総称して「野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨選択型）」または「各ファンド」という場合、あるいは個別に「ファンド」という場合があります。また、「円コース」、「米ドルコース」、「豪ドルコース」、「ブラジルリアルコース」、「トルコリラコース」、「通貨セレクトコース」、「メキシコペソコース」を総称して「各コース」という場合、「毎月分配型」の各ファンドを総称して「毎月分配型」、「年2回決算型」の各ファンドを総称して「年2回決算型」という場合があります。

## （２）【内国投資信託受益証券の形態等】

追加型証券投資信託・受益権(以下「受益権」といいます。)

なお、当初元本は1口当り1円です。

### 信用格付

信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供された信用格付はありません。また、信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供される予定の信用格付はありません。

ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律（「社振法」といいます。以下同じ。）の規定の適用を受け、受益権の帰属は、後述の「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関及び当該振替機関の

下位の口座管理機関(社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。)の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります(以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。)。委託者である野村アセットマネジメント株式会社は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。また、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

(3)【発行(売出)価額の総額】

各ファンドにつき3兆円を上限とします。

(4)【発行(売出)価格】

取得申込日の翌々営業日の基準価額とします。

「基準価額」とは、純資産総額をその時の受益権口数で除して得た額をいいます。なお、ファンドにおいては1万口当りの価額で表示されます。

ファンドの基準価額については下記の照会先までお問い合わせ下さい。

野村アセットマネジメント株式会社

サポートダイヤル 0120-753104(フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

インターネットホームページ <https://www.nomura-am.co.jp/>

(5)【申込手数料】

取得申込日の翌々営業日の基準価額に、3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

収益分配金を再投資する場合には無手数料とします。

(6)【申込単位】

1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位

なお、販売会社や申込形態によっては、買付単位が上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

(7)【申込期間】

2026年4月25日から2027年4月23日まで

\*なお、申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。

(8)【申込取扱場所】

ファンドの申込取扱場所(以下「販売会社」といいます。)については下記の照会先までお問い合わせ下さい

い。

野村アセットマネジメント株式会社  
サポートダイヤル 0120-753104(フリーダイヤル)  
<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時  
インターネットホームページ <https://www.nomura-am.co.jp/>

( 9 ) 【払込期日】

取得申込日から起算して7営業日目までに申込代金を申込みの販売会社にお支払いください。なお、販売会社が別に定める所定の方法により、上記の期日以前に申込代金をお支払いいただく場合があります。

詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

各取得申込日の発行価額の総額は、各販売会社によって、追加信託が行なわれる日に、「委託者」（または「委託会社」といいます。）の指定する口座を経由して、「受託者」（または「受託会社」といいます。）の指定するファンド口座に払い込まれます。

( 10 ) 【払込取扱場所】

申込代金は申込みの販売会社にお支払いください。払込取扱場所についてご不明の場合は、下記の照会先までお問い合わせ下さい。

野村アセットマネジメント株式会社  
サポートダイヤル 0120-753104(フリーダイヤル)  
<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時  
インターネットホームページ <https://www.nomura-am.co.jp/>

( 11 ) 【振替機関に関する事項】

ファンドの受益権に係る振替機関は下記の通りです。

株式会社証券保管振替機構

( 12 ) 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【ファンド情報】

### 第1【ファンドの状況】

#### 1【ファンドの性格】

##### （1）【ファンドの目的及び基本的性格】

米ドル建ての高利回り事業債（「ハイ・イールド・ボンド」または「ハイ・イールド債」といいます。）を実質的な主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。

米ドル建てのハイ・イールド・ボンドを主要投資対象とする円建ての外国投資信託と、円建ての国内籍の投資信託である「野村マネーマザーファンド」を投資対象とするファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。

「実質的な主要投資対象」とは、前述のファンドを通じて投資する、主な投資対象という意味です。

#### ハイ・イールド・ボンドとは...

債券などの格付機関(S&P社、ムーディーズ社など)によって格付される債券の信用度でBB格以下に格付されている事業債をいいます。

格付とは、債券などの元本および利息が償還まで当初契約の定めどおり返済される確実性の程度を評価したものをいいます。

信用度の低い格付をもつ債券ほど、元本および利息が償還まで定めどおりに返済される確実性が低く(信用リスクが大きク)なります。

信用度	S&P社の場合	ムーディーズ社の場合
高い	AAA	Aaa
	AA	Aa
	A	A
	BBB	Baa
	BB	Ba
	B	B
	CCC	Caa
	CC	Ca
	C	C
低い	D	

↓ ハイ・イールド・ボンド

1つの格付内に等級を設けるため、付加的な記号が用いられることがあります。たとえば、BBB格における平均以上あるいは平均以下の格付を表すために、S&P社ではBBB+、BBB-のように、ムーディーズ社ではBaa1、Baa3のように表記しています。

「野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨選択型）」は、投資する外国投資信託における為替取引手法の異なるコースから構成されています。（各コースには「毎月分配型」および「年2回決算型」があります。）

円コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産を原則として対円で為替ヘッジを行なう外国投資信託に投資を行ないます。
----------------------------	---

米ドルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として対円で為替ヘッジを行わない外国投資信託に投資を行ないます。
豪ドルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、豪ドルを買う為替取引を行なう外国投資信託に投資を行ないます。
ブラジルリアルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、ブラジルリアルを買う為替取引を行なう外国投資信託に投資を行ないます。
トルコリラコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、トルコリラを買う為替取引を行なう外国投資信託に投資を行ないます。
通貨セレクトコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、選定通貨(米ドルを除く)を買う為替取引を行なう外国投資信託に投資を行ないます。
メキシコペソコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、メキシコペソを買う為替取引を行なう外国投資信託に投資を行ないます。

選定通貨は、投資対象とする外国投資信託の副投資顧問会社が選定した通貨を指します。

詳細は、後述の「(参考)投資対象とする外国投資信託について」をご覧ください。

分配頻度の異なる「毎月分配型」と「年2回決算型」があります。

「毎月分配型」

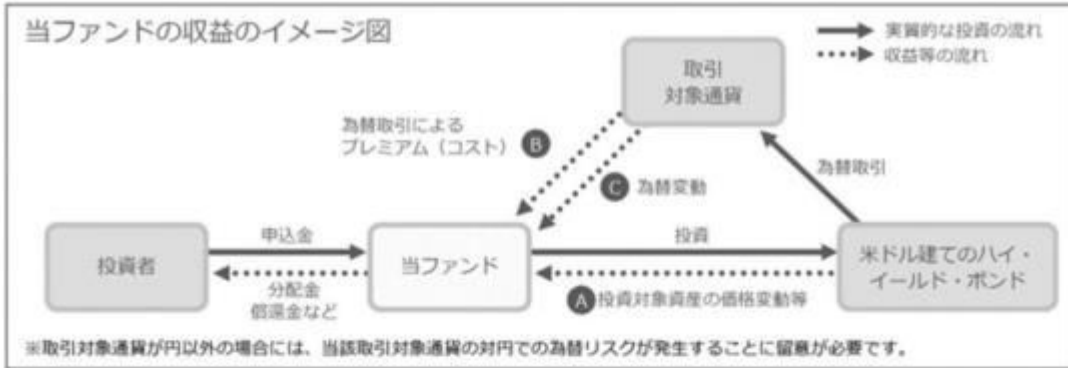
毎月原則25日(当該日が休業日の場合は翌営業日)に決算を行ない、每期分配します。

「年2回決算型」

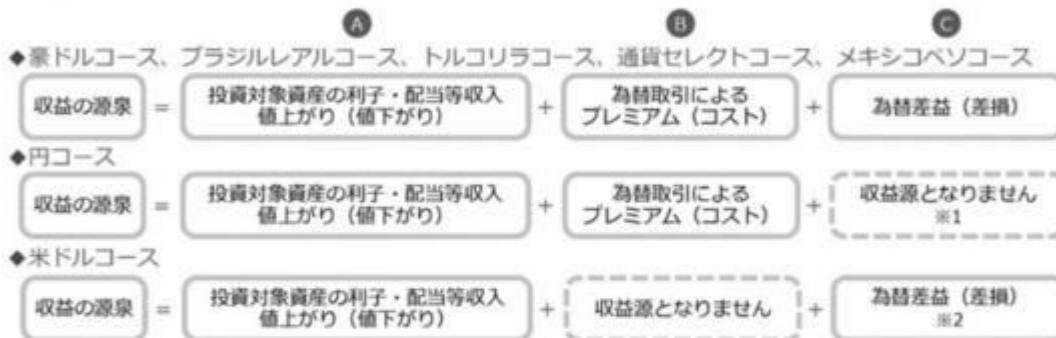
年2回、原則として1月および7月の各25日(当該日が休業日の場合は翌営業日)に決算を行ない、每期分配します。

### ■当ファンドの収益のイメージ■

●当ファンドは、投資対象資産の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行なっております。



●各コースの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。これらの収益源に相応してリスクが内在していることに留意が必要です。（括弧内は、損失やコストの発生要因を表します。）



※1 円コースでは、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

※2 米ドルコースでは、原則として対円で為替ヘッジを行わないため、米ドルの対円での為替変動の影響を受けます。



※取引対象通貨が新興国通貨の場合などは、為替取引によるプレミアム/コストに短期金利差がそのまま反映されない場合があります。

※市況動向等によっては、上記の通りにならない場合があります。

#### 信託金の限度額

各ファンドの信託金限度額は、各々1兆5,000億円です。

ただし、受託者と合意のうえ、当該信託金限度額を変更することができます。

#### <商品分類>

一般社団法人資産運用業協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類は以下の通りです。

なお、ファンドに該当する商品分類及び属性区分は下記の表中に網掛け表示しております。

## （野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型）

## 《商品分類表》

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
単位型	国内	株式
追加型	海外	債券
	内外	不動産投信
		その他資産 ( )
		資産複合

## 《属性区分表》

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株式 一般 大型株 中小型株	年1回	グローバル		
債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 ( )	年2回 年4回 年6回 (隔月) 年12回 (毎月)	日本 北米 欧州 アジア オセアニア	ファミリーファンド	あり (フルヘッジ)
不動産投信	日々	中南米		
その他資産 (投資信託証券(債券 社債 低格付債))	その他 ( )	アフリカ 中近東 (中東) エマージング	ファンド・オブ・ファンズ	なし
資産複合 ( ) 資産配分固定型 資産配分変更型				

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズです。このため、組入れている資産を示す属性区分上の投資対象資産（その他資産（投資信託証券））と収益の源泉となる資産を示す商品分類上の投資対象資産（債券）とが異なります。

## （野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型）

## 《商品分類表》

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
---------	--------	-------------------

単位型  追加型	国内	株式 債券
	海外	不動産投信
	内外	その他資産 ( ) 資産複合

## 《属性区分表》

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株式 一般 大型株 中小型株	年1回  <b>年2回</b>  年4回	グローバル  <b>日本</b>  <b>北米</b>	ファミリーファンド	<b>あり</b> <b>(フルヘッジ)</b>
債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 ( )	年6回 (隔月)  年12回 (毎月)  日々	欧州  アジア  オセアニア		
不動産投信  <b>その他資産</b> <b>(投資信託証券(債券 社債 低格付債))</b>	その他 ( )	中南米 アフリカ  中近東 (中東)  エマージング	<b>ファンド・オブ・ファン ズ</b>	なし
資産複合 ( ) 資産配分固定型 資産配分変更型				

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズです。このため、組入れている資産を示す属性区分上の投資対象資産（その他資産（投資信託証券））と収益の源泉となる資産を示す商品分類上の投資対象資産（債券）とが異なります。

- （野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月分配型）
- （野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）毎月分配型）
- （野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型）
- （野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）毎月分配型）
- （野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）毎月分配型）
- （野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型）

## 《商品分類表》

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
---------	--------	-------------------

単位型  追加型	国内	株式 債券
	海外	不動産投信
	内外	その他資産 ( )
		資産複合

## 《属性区分表》

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株式 一般 大型株 中小型株	年1回	グローバル		
	年2回			
	年4回	日本		
債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 ( )	年6回 (隔月)	北米	ファミリーファンド	あり ( )
	年12回 (毎月)	欧州		
	日々	アジア		
不動産投信	その他 ( )	オセアニア		
その他資産 (投資信託証券(債券 社債 低格付債))		中南米	ファンド・オブ・ファン ズ	なし
		アフリカ		
		中近東 (中東)		
資産複合 ( ) 資産配分固定型 資産配分変更型		エマージング		

各ファンドは、ファンド・オブ・ファンズです。このため、組入れている資産を示す属性区分上の投資対象資産（その他資産（投資信託証券））と収益の源泉となる資産を示す商品分類上の投資対象資産（債券）とが異なります。

（野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）年2回決算型）

（野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）年2回決算型）

（野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型）

（野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）年2回決算型）

（野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）年2回決算型）

（野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）年2回決算型）

## 《商品分類表》

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
---------	--------	-------------------

単位型	国内	株式
	海外	債券
追加型	内外	不動産投信
		その他資産 ( )
		資産複合

## 《属性区分表》

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株式 一般	年1回	グローバル		
大型株	年2回			
中小型株	年4回	日本		
債券		北米	ファミリーファンド	あり ( )
一般	年6回 (隔月)	欧州		
公債		アジア		
社債	年12回 (毎月)	オセアニア		
その他債券 クレジット属性 ( )	日々	中南米		
不動産投信	その他 ( )	アフリカ	ファンド・オブ・ファンズ	なし
その他資産 (投資信託証券(債券 社債 低格付債))		中近東 (中東)		
資産複合 ( )		エマージング		
資産配分固定型				
資産配分変更型				

各ファンドは、ファンド・オブ・ファンズです。このため、組入れている資産を示す属性区分上の投資対象資産（その他資産（投資信託証券））と収益の源泉となる資産を示す商品分類上の投資対象資産（債券）とが異なります。

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

上記、商品分類及び属性区分の定義については、下記をご覧ください。

なお、下記一般社団法人資産運用業協会のホームページでもご覧頂けます。

《一般社団法人資産運用業協会インターネットホームページアドレス》 <https://www.imaj.or.jp/>

一般社団法人資産運用業協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類及び属性区分は以下の通りです。（2023年1月19日現在）

## &lt;商品分類表定義&gt;

## [単位型投信・追加型投信の区分]

(1)単位型投信...当初、募集された資金が一つの単位として信託され、その後の追加設定は一切行われないファンドを

いう。

- (2)追加型投信...一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいう。

[ 投資対象地域による区分 ]

- (1)国内...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (2)海外...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (3)内外...目論見書又は投資信託約款において、国内及び海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。

[ 投資対象資産による区分 ]

- (1)株式...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (2)債券...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (3)不動産投信(リート)...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券及び不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (4)その他資産...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に上記(1)から(3)に掲げる資産以外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。なお、その他資産と併記して具体的な収益の源泉となる資産の名称記載も可とする。
- (5)資産複合...目論見書又は投資信託約款において、上記(1)から(4)に掲げる資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。

[ 独立した区分 ]

- (1)MMF(マネー・マネージメント・ファンド)...MRF及びMMFの運営に関する規則（以下「MRF等規則」という。）に定めるMMFをいう。
- (2)MRF(マネー・リザーブ・ファンド)...MRF等規則に定めるMRFをいう。
- (3)ETF...投資信託及び投資法人に関する法律施行令（平成12年政令480号）第12条第1号及び第2号に規定する証券投資信託並びに租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第9条の4の2に規定する上場証券投資信託をいう。

[ 補足分類 ]

- (1)インデックス型...目論見書又は投資信託約款において、各種指数に連動する運用成果を目指す旨の記載があるものをいう。
- (2)特殊型...目論見書又は投資信託約款において、投資者に対して注意を喚起することが必要と思われる特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいう。なお、下記の属性区分で特殊型の小分類において「条件付運用型」に該当する場合には当該小分類を括弧書きで付記するものとし、それ以外の小分類に該当する場合には当該小分類を括弧書きで付記できるものとする。

< 属性区分表定義 >

[ 投資対象資産による属性区分 ]

株式

- (1)一般...次の大型株、中小型株属性にあてはまらないすべてのものをいう。
- (2)大型株...目論見書又は投資信託約款において、主として大型株に投資する旨の記載があるものをいう。
- (3)中小型株...目論見書又は投資信託約款において、主として中小型株に投資する旨の記載があるものをいう。

債券

- (1)一般...次の公債、社債、その他債券属性にあてはまらないすべてのものをいう。
- (2)公債...目論見書又は投資信託約款において、日本国又は各国の政府の発行する国債(地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債を含む。以下同じ。)に主として投資する旨の記載があるものをいう。
- (3)社債...目論見書又は投資信託約款において、企業等が発行する社債に主として投資する旨の記載があるものをいう。
- (4)その他債券...目論見書又は投資信託約款において、公債又は社債以外の債券に主として投資する旨の記載があるものをいう。
- (5)格付等クレジットによる属性...目論見書又は投資信託約款において、上記(1)から(4)の「発行体」による区分のほか、特にクレジットに対して明確な記載があるものについては、上記(1)から(4)に掲げる区分に加え「高格付債」「低格付債」等を併記することも可とする。

不動産投信...これ以上の詳細な分類は行わないものとする。

その他資産...組入れている資産を記載するものとする。

資産複合...以下の小分類に該当する場合には当該小分類を併記することができる。

- (1)資産配分固定型...目論見書又は投資信託約款において、複数資産を投資対象とし、組入比率については固定的とする旨の記載があるものをいう。なお、組み合わせている資産を列挙するものとする。

- (2)資産配分変更型...目論見書又は投資信託約款において、複数資産を投資対象とし、組入比率については、機動的な変更を行なう旨の記載があるもの若しくは固定的とする旨の記載がないものをいう。なお、組み合わせている資産を列挙するものとする。

[ 決算頻度による属性区分 ]

- (1)年1回...目論見書又は投資信託約款において、年1回決算する旨の記載があるものをいう。
- (2)年2回...目論見書又は投資信託約款において、年2回決算する旨の記載があるものをいう。
- (3)年4回...目論見書又は投資信託約款において、年4回決算する旨の記載があるものをいう。
- (4)年6回(隔月)...目論見書又は投資信託約款において、年6回決算する旨の記載があるものをいう。
- (5)年12回(毎月)...目論見書又は投資信託約款において、年12回(毎月)決算する旨の記載があるものをいう。
- (6)日々...目論見書又は投資信託約款において、日々決算する旨の記載があるものをいう。
- (7)その他...上記属性にあてはまらないすべてのものをいう。

[ 投資対象地域による属性区分(重複使用可能) ]

- (1)グローバル...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。なお、「世界の資産」の中に「日本」を含むか含まないかを明確に記載するものとする。
- (2)日本...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (3)北米...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が北米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (4)欧州...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が欧州地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (5)アジア...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本を除くアジア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (6)オセアニア...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益がオセアニア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (7)中南米...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が中南米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (8)アフリカ...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益がアフリカ地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (9)中近東(中東)...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が中近東地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (10)エマージング...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益がエマージング地域(新興成長国(地域))の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

[ 投資形態による属性区分 ]

- (1)ファミリーファンド...目論見書又は投資信託約款において、親投資信託(ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除く。)を投資対象として投資するものをいう。
- (2)ファンド・オブ・ファンズ...「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズをいう。

[ 為替ヘッジによる属性区分 ]

- (1)為替ヘッジあり...目論見書又は投資信託約款において、為替のフルヘッジ又は一部の資産に為替のヘッジを行う旨の記載があるものをいう。
- (2)為替ヘッジなし...目論見書又は投資信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるもの又は為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいう。

[ インデックスファンドにおける対象インデックスによる属性区分 ]

- (1)日経225
- (2)TOPIX
- (3)その他の指数...上記指数にあてはまらないすべてのものをいう。

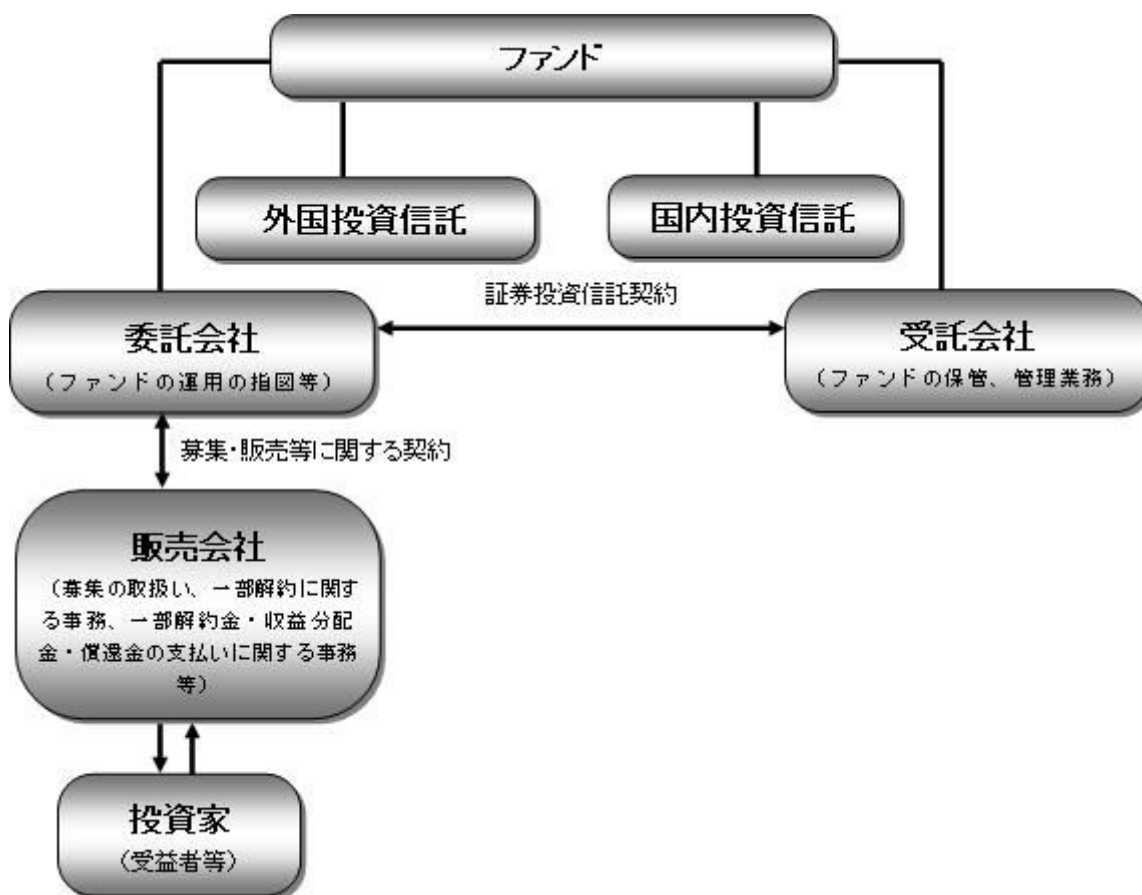
[ 特殊型 ]

- (1)ブル・ベア型...目論見書又は投資信託約款において、派生商品をヘッジ目的以外に用い、積極的に投資を行うとともに各種指数・資産等への連動若しくは逆連動(一定倍の連動若しくは逆連動を含む。)を目指す旨の記載があるものをいう。
- (2)条件付運用型...目論見書又は投資信託約款において、仕組債への投資又はその他特殊な仕組みを用いることにより、目標とする投資成果(基準価額、償還価額、収益分配金等)や信託終了日等が、明示的な指標等の値により定められる一定の条件によって決定される旨の記載があるものをいう。
- (3)ロング・ショート型/絶対収益追求型...目論見書又は投資信託約款において、特定の市場に左右されにくい収益の追求を目指す旨若しくはロング・ショート戦略により収益の追求を目指す旨の記載があるものをいう。
- (4)その他型...目論見書又は投資信託約款において、上記(1)から(3)に掲げる属性のいずれにも該当しない特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいう。

### （２）【ファンドの沿革】

2009年1月28日	「円コース」「米ドルコース」「ユーロコース」「豪ドルコース」「ブラジルリアルコース」「南アフリカランドコース」「トルコリラコース」「マネープールファンド」につき信託契約締結、ファンドの設定日、運用開始
2011年10月27日	「通貨セレクトコース」につき信託契約締結、ファンドの設定日、運用開始
2014年4月22日	「メキシコペソコース」につき信託契約締結、ファンドの設定日、運用開始
2019年7月25日	「マネープールファンド」の償還
2024年1月25日	「ユーロコース」「南アフリカランドコース」の償還

### （３）【ファンドの仕組み】

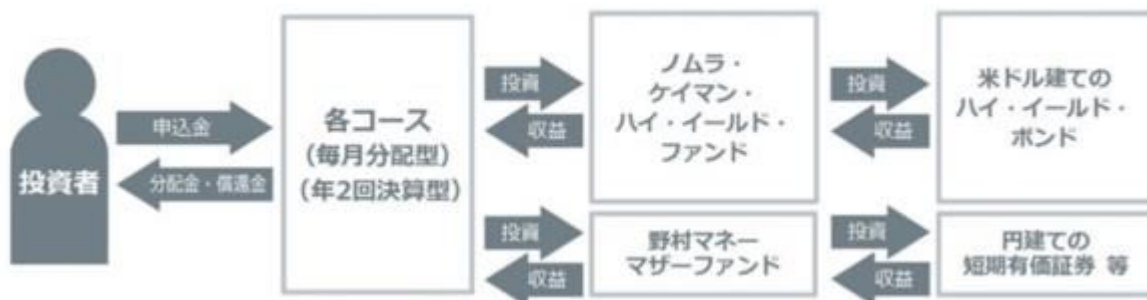


ファンド	外国投資信託	国内投資信託
野村米国ハイ・イールド債券投信 (円コース) 毎月分配型	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド (JPY Class)	
野村米国ハイ・イールド債券投信 (円コース) 年2回決算型		

野村米国ハイ・イールド債券投信 (米ドルコース)毎月分配型	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド (USD Class)	野村マネー マザーファンド
野村米国ハイ・イールド債券投信 (米ドルコース)年2回決算型		
野村米国ハイ・イールド債券投信 (豪ドルコース)毎月分配型	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド (AUD Class)	
野村米国ハイ・イールド債券投信 (豪ドルコース)年2回決算型		
野村米国ハイ・イールド債券投信 (ブラジルリアルコース)毎月分配型	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド (BRL Class)	
野村米国ハイ・イールド債券投信 (ブラジルリアルコース)年2回決算型		
野村米国ハイ・イールド債券投信 (トルコリラコース)毎月分配型	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド (TRY Class)	
野村米国ハイ・イールド債券投信 (トルコリラコース)年2回決算型		
野村米国ハイ・イールド債券投信 (通貨セレクトコース)毎月分配型	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド (Currency Select Class)	
野村米国ハイ・イールド債券投信 (通貨セレクトコース)年2回決算型		
野村米国ハイ・イールド債券投信 (メキシコペソコース)毎月分配型	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド (MXN Class)	
野村米国ハイ・イールド債券投信 (メキシコペソコース)年2回決算型		

委託会社(委託者)	野村アセットマネジメント株式会社
受託会社(受託者)	野村信託銀行株式会社

●各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。



委託会社の概況(2026年3月末現在)

・名称

野村アセットマネジメント株式会社

・資本金の額

17,180百万円

## ・会社の沿革

1959年12月1日	野村証券投資信託委託株式会社として設立
1997年10月1日	投資顧問会社である野村投資顧問株式会社と合併して野村アセット・マネジメント投信株式会社に変更
2000年11月1日	野村アセットマネジメント株式会社に変更

## ・大株主の状況

名称	住所	所有株式数	比率
野村ホールディングス株式会社	東京都中央区日本橋1-13-1	5,150,693株	100%

## 2【投資方針】

## (1)【投資方針】

<円コース（毎月分配型）／（年2回決算型）>

「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(JPY Class)」受益証券および「野村マネー マザーファンド」受益証券への投資比率は、通常の場合においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(JPY Class)」への投資を中心とします。

また、各受益証券への投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および、流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。

通常の場合においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(JPY Class)」受益証券への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。



- ・「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(JPY Class)」は、米ドル建てのハイ・イールド・ボンドに投資を行ないます。

米ドル建て資産については、外国為替予約取引等を活用し、原則として対円で為替ヘッジを行ないます。

詳しくは後述の「(参考)投資対象とする外国投資信託について」をご参照ください。

- ・「野村マネー マザーファンド」は、円建ての公社債等に投資を行ない、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

詳しくは後述の「(参考)マザーファンドの概要」をご参照ください。

<米ドルコース（毎月分配型）／（年2回決算型）>

「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(USD Class)」受益証券および「野村マネー マザーファンド」受益証券への投資比率は、通常の場合においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(USD Class)」への投資を中心とします。

また、各受益証券への投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および、流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。

通常の場合においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(USD Class)」受益証券への投資比

率は、概ね90%以上を目処とします。



- ・「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(USD Class)」は、米ドル建てのハイ・イールド・ボンドに投資を行いません。  
米ドル建て資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。  
詳しくは後述の「(参考)投資対象とする外国投資信託について」をご参照ください。
- ・「野村マネーマザーファンド」は、円建ての公社債等に投資を行ない、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行いません。  
詳しくは後述の「(参考)マザーファンドの概要」をご参照ください。

#### <豪ドルコース（毎月分配型）／（年2回決算型）>

「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(AUD Class)」受益証券および「野村マネーマザーファンド」受益証券への投資比率は、通常の場合においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(AUD Class)」への投資を中心とします。

また、各受益証券への投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および、流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。

通常の場合においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(AUD Class)」受益証券への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。



- ・「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(AUD Class)」は、米ドル建てのハイ・イールド・ボンドに投資を行いません。  
米ドル建て資産については、外国為替予約取引等を活用し、原則として米ドルを売り、豪ドルを買う為替取引を行いません。  
詳しくは後述の「(参考)投資対象とする外国投資信託について」をご参照ください。
- ・「野村マネーマザーファンド」は、円建ての公社債等に投資を行ない、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行いません。  
詳しくは後述の「(参考)マザーファンドの概要」をご参照ください。

#### <ブラジルリアルコース（毎月分配型）／（年2回決算型）>

「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(BRL Class)」受益証券および「野村マネーマザーファンド」受益証券への投資比率は、通常の場合においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(BRL Class)」への投資を中心とします。

また、各受益証券への投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および、流動性なら

びに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。

通常の場合においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド（BRL Class）」受益証券への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。



- ・「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(BRL Class)」は、米ドル建てのハイ・イールド・ボンドに投資を行いません。  
米ドル建て資産については、外国為替予約取引等を活用し、原則として米ドルを売り、ブラジルリアルを買う為替取引を行いません。  
詳しくは後述の「(参考)投資対象とする外国投資信託について」をご参照ください。
- ・「野村マネーマザーファンド」は、円建ての公社債等に投資を行ない、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行いません。  
詳しくは後述の「(参考)マザーファンドの概要」をご参照ください。

#### <トルコリラコース（毎月分配型） / （年2回決算型）>

「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(TRY Class)」受益証券および「野村マネーマザーファンド」受益証券への投資比率は、通常の場合においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(TRY Class)」への投資を中心とします。

また、各受益証券への投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および、流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。

通常の場合においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(TRY Class)」受益証券への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。



- ・「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(TRY Class)」は、米ドル建てのハイ・イールド・ボンドに投資を行いません。  
米ドル建て資産については、外国為替予約取引等を活用し、原則として米ドルを売り、トルコリラを買う為替取引を行いません。  
詳しくは後述の「(参考)投資対象とする外国投資信託について」をご参照ください。
- ・「野村マネーマザーファンド」は、円建ての公社債等に投資を行ない、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行いません。  
詳しくは後述の「(参考)マザーファンドの概要」をご参照ください。

#### <通貨セレクトコース（毎月分配型） / （年2回決算型）>

「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(Currency Select Class)」受益証券および「野村マネーマザーファンド」受益証券への投資比率は、通常の場合においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・

イールド・ファンド(Currency Select Class)」への投資を中心とします。

また、各受益証券への投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および、流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。

通常の場合においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(Currency Select Class)」受益証券への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。



- ・「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(Currency Select Class)」は、米ドル建てのハイ・イールド・ボンドに投資を行いません。  
米ドル建て資産については、原則として米ドルを売り、選定通貨（米ドルを除く）を買う為替取引を行いません。  
詳しくは後述の「(参考)投資対象とする外国投資信託について」をご参照ください。
- ・「野村マネーマザーファンド」は、円建ての公社債等に投資を行ない、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行いません。  
詳しくは後述の「(参考)マザーファンドの概要」をご参照ください。

#### <メキシコペソコース（毎月分配型）／（年2回決算型）>

「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(MXN Class)」受益証券および「野村マネーマザーファンド」受益証券への投資比率は、通常の場合においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(MXN Class)」への投資を中心とします。

また、各受益証券への投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および、流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。

通常の場合においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(MXN Class)」受益証券への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。



- ・「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(MXN Class)」は、米ドル建てのハイ・イールド・ボンドに投資を行いません。  
米ドル建て資産については、外国為替予約取引等を活用し、原則として米ドルを売り、メキシコペソを買う為替取引を行いません。  
詳しくは後述の「(参考)投資対象とする外国投資信託について」をご参照ください。
- ・「野村マネーマザーファンド」は、円建ての公社債等に投資を行ない、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行いません。  
詳しくは後述の「(参考)マザーファンドの概要」をご参照ください。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

## （２）【投資対象】

米ドル建ての高利回り事業債（ハイ・イールド・ボンド）を実質的な主要投資対象とします。

各ファンドは、各々以下の円建ての外国投資信託および円建ての国内籍の投資信託である「野村マネー マザーファンド」を主要投資対象とします。なお、各ファンドは、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。

ファンド名	投資対象
円コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(JPY Class)
	野村マネー マザーファンド
米ドルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(USD Class)
	野村マネー マザーファンド
豪ドルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(AUD Class)
	野村マネー マザーファンド
ブラジルリアルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(BRL Class)
	野村マネー マザーファンド
トルコリラコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(TRY Class)
	野村マネー マザーファンド
通貨セレクトコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(Currency Select Class)
	野村マネー マザーファンド
メキシコペソコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(MXN Class)
	野村マネー マザーファンド

デリバティブの直接利用は行ないません。

## 投資の対象とする資産の種類(約款第15条)

この信託において投資の対象とする資産（本邦通貨表示のものに限ります。）の種類は、次に掲げるものとしします。

1. 次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）
  - イ．有価証券
  - ロ．約束手形（イに掲げるものに該当するものを除きます。）
  - ハ．金銭債権（イ及びロに掲げるものに該当するものを除きます。）
2. 次に掲げる特定資産以外の資産
  - イ．為替手形

## 有価証券の指図範囲等(約款第16条第1項)

委託者は、信託金を、円建ての外国籍の投資信託である( )受益証券および野村アセットマネジメント株式会社を委託者とし、野村信託銀行株式会社を受託者として締結された親投資信託である野村マネー マザーファンド受益証券のほか、次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除くものとし、本邦通貨表示のものに限ります。）に投資することを指図します。

1. コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等
2. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前号の証券の性質を有するもの
3. 国債証券、地方債証券、特別の法律により法人の発行する債券および社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券および短期社債等を除きます。）
4. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）

なお、第3号の証券を以下「公社債」といい、公社債にかかる運用の指図は買い現先取引（売戻し条件付の買い入れ）および債券貸借取引（現金担保付き債券借入れ）に限り行なうことができるものとします。

(注)上記( )印となっている箇所は、下記のようにそれぞれあてはめてご覧願います。

「円コース」の場合	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド (JPY Class)
「米ドルコース」の場合	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド (USD Class)
「豪ドルコース」の場合	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド (AUD Class)
「ブラジルリアルコース」の場合	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド (BRL Class)
「トルコリラコース」の場合	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド (TRY Class)
「通貨セレクトコース」の場合	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド (Currency Select Class)
「メキシコペソコース」の場合	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド (MXN Class)

金融商品の指図範囲等(約款第16条第2項)

委託者は、信託金を、上記 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託（上記 に掲げるものを除く。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形

(参考)投資対象とする外国投資信託について

**ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド**

**JPY Class/USD Class/AUD Class/BRL Class/TRY Class/Currency Select Class/MXN Class**

**(ケイマン諸島籍円建外国投資信託)**

< 運用の基本方針 >	
主要投資対象	米ドル建ての高利回り事業債

投資方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米ドル建ての高利回り事業債を主要投資対象とし、インカムゲインの確保に加え、中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指します。</li> <li>・投資する事業債は、主としてBB+格（S&amp;P社）以下（B-格未満は除く）またはBa1格（Moody's社）以下（B3格未満は除く）の格付が付与されている債券とします。</li> <li>・格付をもたない債券への投資にあたっては、投資顧問会社によりB-格（S&amp;P社）以上およびB3格（Moody's社）以上の格付と同等と判断される債券へ投資を行ないます。</li> <li>・JPY Class/AUD Class/BRL Class/TRY Class/Currency Select Class/MXN Classは、クラスごとに、米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、各クラスの通貨（円、豪ドル、ブラジルレアル、トルコリラ、メキシコペソ）（Currency Select Classについては、米ドル以外の選定通貨）を買う為替取引を行なうことで、各通貨への投資効果を追求します。USD Classについては、対円で為替ヘッジを行わず、米ドルへの投資効果を追求します。</li> </ul> <p>&lt;Currency Select Classにおける通貨運用方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・ブロードおよびJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・ブロード構成国の通貨の中から、金利水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、相対的に金利が高い5つの通貨を選定することを基本とします。選定通貨は、定期的に（原則、毎月）見直すこととします。</li> <li>・1通貨当りのエクスポージャーについては、原則として、純資産総額の10%~30%程度の範囲内に維持することを基本とします。</li> <li>・ファンダメンタルズおよび流動性を考慮して、選択される通貨が4以下または6以上となる場合があります。この場合、1通貨当りのエクスポージャーは上記の範囲を超える場合があります。</li> </ul>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・格付をもたない債券への投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の10%以内とします。</li> <li>・保有している債券の格付がCCC+格（S&amp;P社）以下またはCaa1格（Moody's社）以下に下がった場合、当該債券の格付がCCC+格（S&amp;P社）およびCaa1格（Moody's社）より高くなるまでは、当該債券への追加の投資は行ないません。なお、CCC+格（S&amp;P社）以下またはCaa1格（Moody's社）以下の格付の債券への投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の30%以内とします。</li> <li>・デフォルト債券には投資しません。</li> <li>・株式への投資は行ないません。株式への投資は転換社債を転換および新株予約権を行使したものならびに社債権者割当等により取得したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の30%以内とします。</li> <li>・同一発行体の発行するハイ・イールド・ボンドへの投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の5%以内とします。</li> <li>・デリバティブの利用は、ヘッジ目的に限定しません。</li> </ul>
収益分配方針	毎月、投資顧問会社および副投資顧問会社と協議の上、受託会社の判断により、分配を行なう方針です。
償還条項	ファンドの全クラスの合計の純資産残高が50億円を下回った場合はファンドを、各クラスの純資産残高が50億円を下回った場合には当該クラスを、それぞれ償還する場合があります。
<主な関係法人>	
受託会社	グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー
投資顧問会社	ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネージメント・インク
副投資顧問会社	野村アセットマネジメント株式会社
通貨運用会社	ノムラ・アセット・マネージメントU.K.リミテッド
管理事務代行会社	ノムラ・バンク（ルクセンブルグ）エス・エー
保管銀行	
<管理報酬等>	
信託報酬	<p>[Currency Select Classを除く各クラス] 純資産総額の0.70%（年率）</p> <p>[Currency Select Class] Currency Select Classの純資産総額に応じて次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・500億円以下の部分 0.85%（年率）</li> <li>・500億円超の部分 0.80%（年率）</li> </ul>
申込手数料	なし
信託財産留保額	1口につき純資産価格の0.30%（当初1口=1万円）
その他の費用	信託財産に関する租税、組入る有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する費用および信託財産の監査に要する費用、外貨建資産の保管などに要する費用、借入金の利息および立替金の利息など。 ファンドの設立に係る費用（1年を超えない期間にわたり償却）。

上記のほか、一般社団法人資産運用業協会の定めるファンド・オブ・ファンズ組入投資信託および投資法人の要件を満たしております。

#### 指数の著作権等について

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・ブロードおよびJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット・ブロードは、J.P.Morgan Securities LLCが公表している、現地通貨建ての世界主要国の債券、現地通貨建ての新興国の債券をそれぞれ対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

\* 上記は2026年4月24日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

#### <参考> 投資先ファンドの投資顧問会社の運用の体制等について

運用にあたっては、多くのクレジットアナリストがクレジットファンダメンタルズを徹底的に調査し、ボトムアップ分析により魅力のある企業への投資機会の発掘に努めます。クレジットアナリストはポートフォリオマネージャーに投資アイデアを提示します。最高投資責任者を議長とするポートフォリオマネージャー会議において、戦略、アセットアロケーション、市場環境、今後の見通し等が議論され、投資方針が決定されます。

トレーディングは、原則ポートフォリオマネージャーが行いません。システムに売買注文を入力する際には、自動的にコンプライアンス・チェックが行われるようになっています。

リスク管理については、運用プロセスの一部となっており、クレジットアナリストとポートフォリオマネージャーが定期的に個別銘柄およびポートフォリオ全体のリスクをモニターしています。

#### (参考) マザーファンドの概要

### 「野村マネー マザーファンド」 運用の基本方針

約款第13条に基づき委託者の定める方針は、次のものとします。

#### 1. 基本方針

この投資信託は、本邦通貨表示の公社債等に投資を行ない、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

#### 2. 運用方法

##### (1) 投資対象

本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。

##### (2) 投資態度

残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

##### (3) 投資制限

株式への投資は行ないません。

外貨建資産への投資は行ないません。

有価証券先物取引等は約款第14条の範囲で行ないます。

スワップ取引は約款第15条の範囲で行ないます。

一般社団法人資産運用業協会規則に定める合理的な方法により算出した額が、信託財産の純資産総額を超えることとなるデリバティブ取引等（同規則に定めるデリバティブ取引等をいいます。）の利用は行ないません。

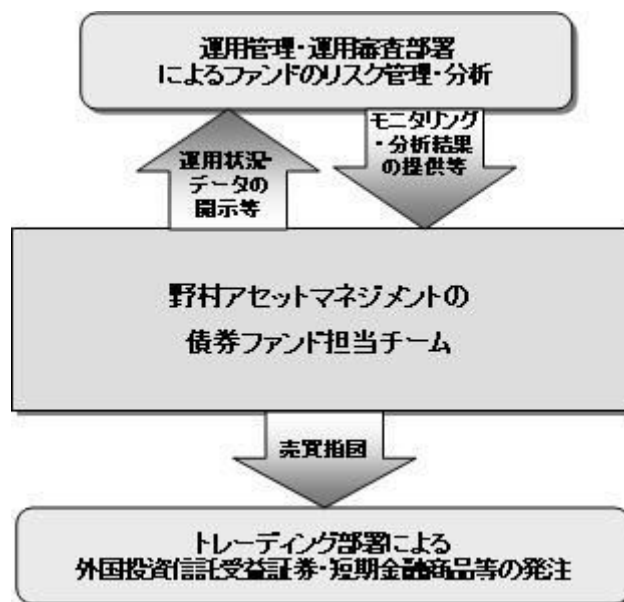
一般社団法人資産運用業協会規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則に従い当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。

「野村マネー マザーファンド」の運用体制等について

経済調査部署による国内外の経済調査および発行体の信用力調査をもとに、運用担当者が債券・短期金融商品等の銘柄選定やポートフォリオの構築を行ないます。運用審査部署がファンドのリスク管理・分析を行ない、モニタリング・分析結果を運用チームに提供します。

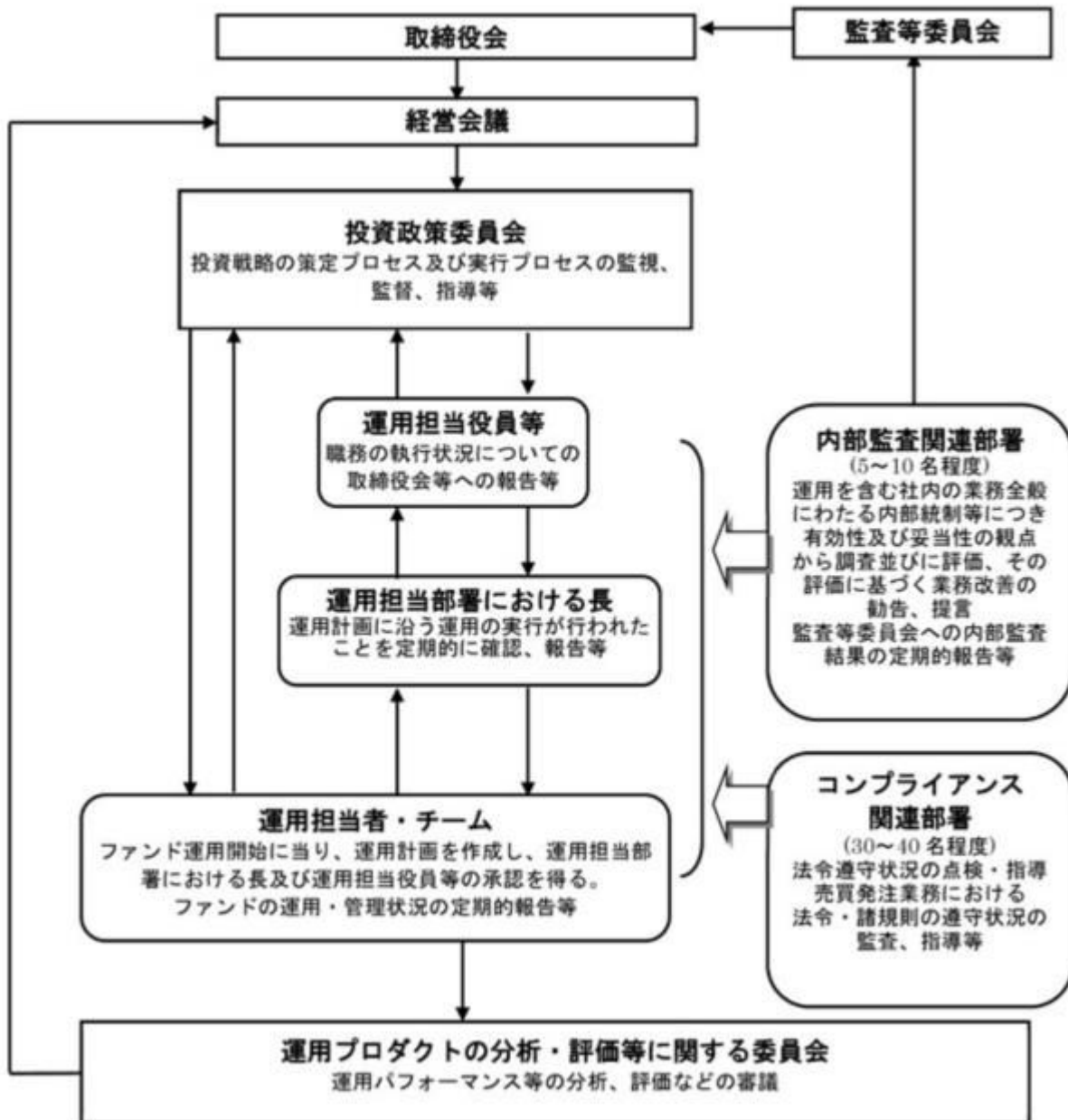
### （3）【運用体制】

ファンドの運用体制は以下の通りです。



当社では、ファンドの運用に関する社内規程として、運用担当者に関する規程並びにスワップ取引、信用リスク管理、資金の借入、外国為替の予約取引等、信用取引等に関して各々、取扱い基準を設けております。

ファンドを含む委託会社における投資信託の内部管理及び意思決定を監督する組織等は以下の通りです。



委託会社によるファンドの関係法人（販売会社を除く）に対する管理体制等

当社では、「受託会社」または受託会社の再信託先に対しては、日々の純資産照合、月次の勘定残高照合などを行っています。また、受託業務の内部統制の有効性についての監査人による報告書を、受託会社より受け取っております。

運用の外部委託を行う場合、「運用の外部委託先」に対しては、外部委託先が行った日々の約定について、投資ガイドラインに沿ったものであるかを確認しています。また、コンプライアンスレポートの提出を義務付け、定期的に管理状況に関する報告を受けています。さらに、外部委託先の管理体制、コンプライアンス体制等について調査ならびに評価を行い、定期的に商品に関する委員会に報告しています。

ファンドの運用体制等は今後変更となる場合があります。

#### （４）【分配方針】

毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行いません。

分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）

等の全額とします。

<毎月分配型（「メキシコペソコース（毎月分配型）」を除く）>

収益分配金額は、上記の範囲で委託者が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行ないます。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。また、毎年1月および7月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記安定分配相当額のほか、上記の範囲内で委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。

「原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意下さい。

<メキシコペソコース（毎月分配型）>

収益分配金額は、上記の範囲で委託者が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に分配を行ないます。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。また、毎年1月および7月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記分配相当額のほか、上記の範囲内で委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。

<年2回決算型>

収益分配金額は、上記の範囲で、原則として利子・配当等収益等および基準価額水準等を勘案して委託者が決定するものとし、

留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行ないます。

\* 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

ファンドの決算日

<毎月分配型>

原則として**毎月25日**（休業日の場合は翌営業日）を決算日とします。

<年2回決算型>

原則として**毎年1月および7月の各25日**（休業日の場合は翌営業日）を決算日とします。

## ◆ 分配金に関する留意点

● 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。

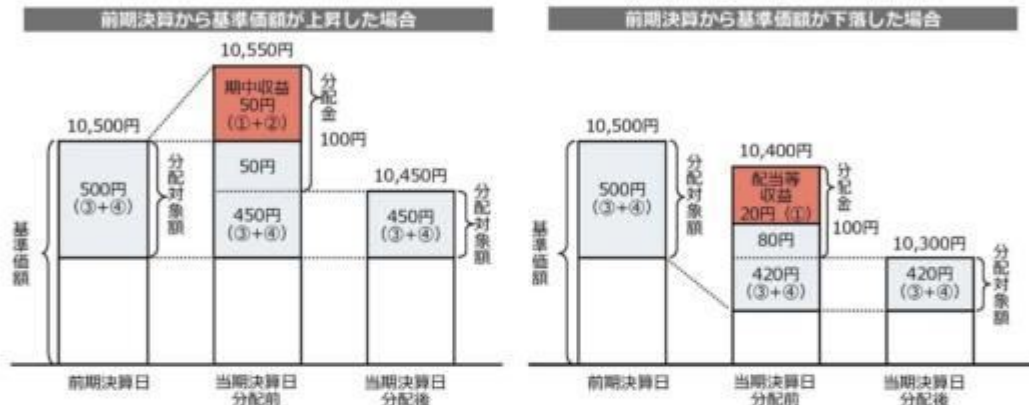


● ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

・ 計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

※ 分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

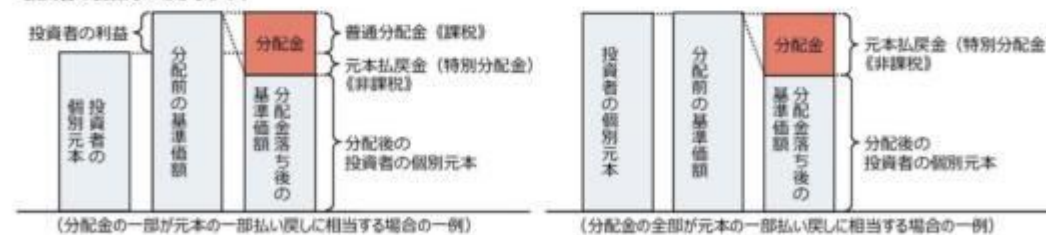
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。



● 投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

普通分配金	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
元本払戻金（特別分配金）	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、下回る部分の分配金の額が元本払戻金（特別分配金）となります。

● 投資者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。



分配金に関する留意点に記載の図はイメージ図であり、全ての状況について説明したものではありません。また、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

## (5) 【投資制限】

投資信託証券への投資割合(運用の基本方針 2 運用方法 (3)投資制限)

投資信託証券への投資割合には制限を設けません。

## 外貨建資産への投資割合(運用の基本方針 2 運用方法 (3)投資制限)

外貨建資産への直接投資は行ないません。

## デリバティブの使用(運用の基本方針 2 運用方法 (3)投資制限)

デリバティブの直接利用は行ないません。

一般社団法人資産運用業協会規則に定める合理的な方法により算出した額が、信託財産の純資産総額を超えることとなるデリバティブ取引等（同規則に定めるデリバティブ取引等をいいます。）の実質的な利用は行ないません。

## 株式への投資割合(運用の基本方針 2 運用方法 (3)投資制限)

株式への直接投資は行ないません。

## 同一銘柄の投資信託証券への投資割合(運用の基本方針 2 運用方法 (3)投資制限)

同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。

## 公社債の借入れ(約款第19条)

- ( ) 委託者は、信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。なお、当該公社債の借入れを行なうにあたり担保の提供が必要と認めるときは、担保の提供の指図を行なうものとします。
- ( ) 上記( )の指図は、当該借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- ( ) 信託財産の一部解約等の事由により、上記( )の借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託者は速やかに、その超える額に相当する借入れた公社債の一部を返還するための指図をするものとします。
- ( ) 上記( )の借入れにかかる品貸料は信託財産中から支弁します。

## 資金の借入れ(約款第25条)

- ( ) 委託者は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性をはかるため、一部解約に伴う支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。）を目的として、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行なわないものとします。
- ( ) 一部解約に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間もしくは受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、有価証券等の解約代金および有価証券等の償還金の合計額を限度とします。ただし、資金の借入額は、借入れ指図を行なう日における信託財産の純資産総額の10%を超えないこととします。
- ( ) 収益分配金の再投資にかかる借入期間は信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。
- ( ) 借入金の利息は信託財産中より支弁します。

前各号の規定にかかわらず、一般社団法人資産運用業協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則に従い当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。（運用の基本方針

## 2 運用方法 (3)投資制限

### 3【投資リスク】

#### 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、投資を行なっている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。

したがって、ファンドにおいて、投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

#### [債券価格変動リスク]

債券（公社債等）は、市場金利や信用度の変動により価格が変動します。ファンドは実質的に債券に投資を行ないますので、これらの影響を受けます。特にファンドが実質的に投資を行なうハイ・イールド債券等の格付の低い債券については、格付の高い債券に比べ、価格が大きく変動する可能性や組入債券の元利金の支払遅延および支払不履行などが生じるリスクが高いと想定されます。

#### [為替変動リスク]

各コースの為替変動リスクは以下の通りです。

##### ・円コース

投資対象である外国投資信託の組入資産（米ドル）について、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。ただし、完全にヘッジすることは出来ませんので、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける場合があります。

##### ・米ドルコース

投資対象である外国投資信託の組入資産（米ドル）について、原則として対円で為替ヘッジを行いませんので、米ドルの対円での為替変動の影響を受けます。

##### ・上記以外の各コース

投資対象である外国投資信託の組入資産（米ドル）について、原則として米ドルを売り、各コースの通貨（通貨セレクトコースについては、米ドル以外の選定通貨）を買う為替取引を行ないますので、各コースの通貨の対円での為替変動の影響を受けます。ただし、外国投資信託の組入資産（米ドル）の額と当該為替取引における米ドル売りの額は必ずしも一致しないため、期待した投資効果が得られない場合があります。その場合、米ドルの対円での為替変動の影響も受けることとなります。

一部のコースが対象とする新興国の通貨については、先進国の通貨に比べ流動性が低い状況となる可能性が高く、その結果、当該通貨の為替変動は先進国以上に大きいものになることも想定されます。

各コース（米ドルコースを除く）の通貨の金利が米ドルの金利より低い場合、為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）がかかるため、基準価額の変動要因となります。

基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

#### その他の留意点

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価

格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止等となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性等があります。

資金動向、市況動向等によっては、また、不慮の出来事等が起きた場合には、投資方針に沿った運用ができない場合があります。

ファンドが実質的に組み入れる有価証券の発行体において、利払いや償還金の支払いが滞る可能性があります。

有価証券への投資等ファンドにかかる取引にあたっては、取引の相手方の倒産等により契約が不履行になる可能性があります。

投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴う売買等が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。

各コースが各々投資対象とする外国投資信託受益証券が存続しないこととなる場合は、当該コースを繰上償還させます。

外国投資信託の組入資産について為替取引を行なう一部の新興国の為替市場においては、内外の為替取引の自由化が実施されておらず、実際の現地通貨での金銭の受渡に制約があるため、ファンドはNDF（ノン・デリバラブル・フォワード）を用いる場合があります。

NDFの取引価格の値動きと、実際の為替市場の値動きは、需給などの市況や規制等により大きく乖離する場合があります。その結果、ファンドの投資成果は、実際の為替市場や、金利市場の動向から想定されるものから大きく乖離する場合があります。なお、今後、NDFが利用できなくなった場合、ファンドの投資方針に沿った運用ができなくなる場合があります。

NDFとは、為替取引を行なう場合に利用する直物為替先渡取引の一種で、当該国の通貨を用いず、米ドルまたはその他の主要な通貨によって差金決済する取引をいいます。

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行なわれており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響を受け、当該金融取引を行なうための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

## 委託会社におけるリスクマネジメント体制

### リスク管理関連の委員会

#### パフォーマンスの考査

投資信託の信託財産についてパフォーマンスに基づいた定期的な考査（分析、評価）の結果の報告、審議を行ないます。

#### 運用リスクの管理

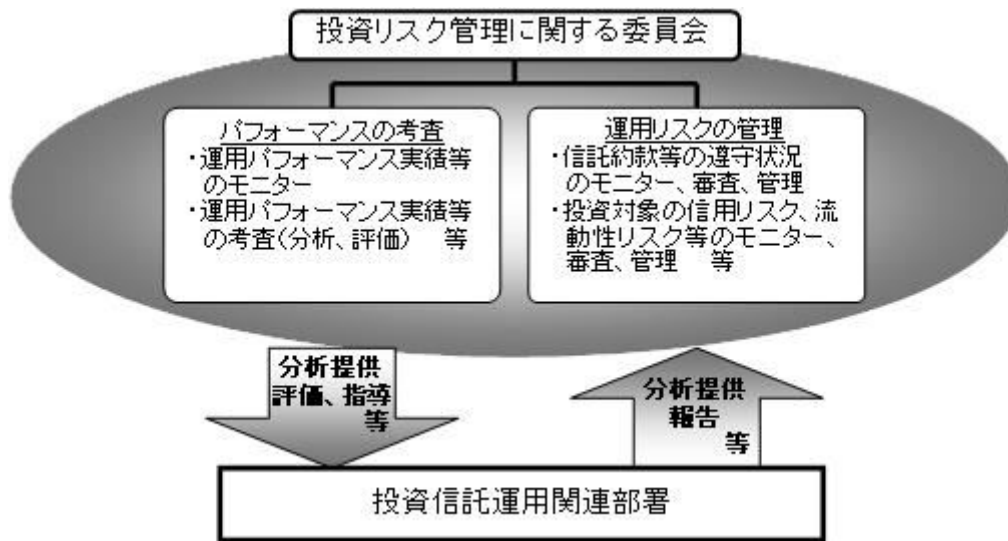
投資信託の信託財産の運用リスクを把握、管理し、その結果に基づき運用部門その他関連部署への是正勧告を行なうことにより、適切な管理を行ないます。

#### 流動性リスク管理について

流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行ないます。リスク管理関連の委員会が、流

動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について監督します。

### リスク管理体制図

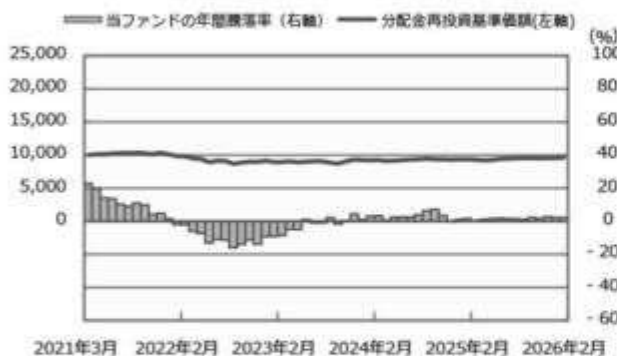


投資リスクに関する管理体制等は今後変更となる場合があります。

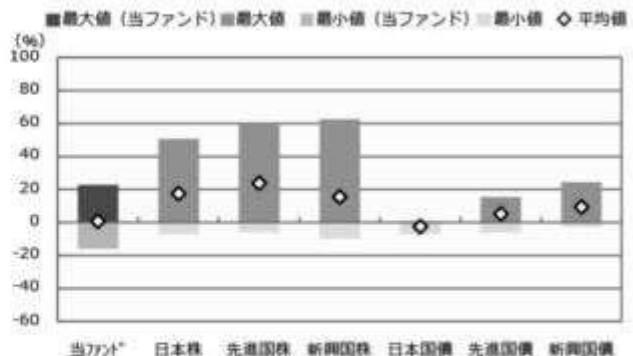
## ■ リスクの定量的比較 (2021年3月末～2026年2月末：月次)

### ■円コース（毎月分配型）

#### ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



#### ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



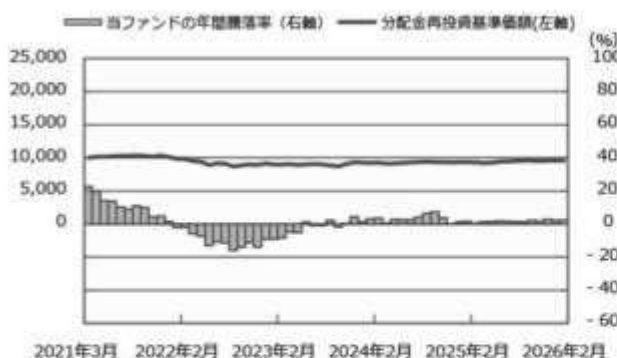
	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値 (%)	22.7	50.5	59.8	62.7	0.6	15.3	24.5
最小値 (%)	△ 15.9	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値 (%)	0.6	17.5	23.9	15.5	△ 2.5	5.3	9.5

- \* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2021年3月末を10,000として指数化しております。
- \* 年間騰落率は、2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

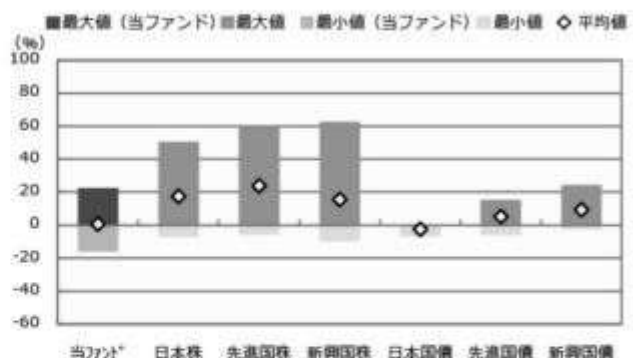
- \* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- \* 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- \* 決算日に対応した数値とは異なります。
- \* 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

### ■円コース（年2回決算型）

#### ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



#### ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値 (%)	22.6	50.5	59.8	62.7	0.6	15.3	24.5
最小値 (%)	△ 15.9	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値 (%)	0.6	17.5	23.9	15.5	△ 2.5	5.3	9.5

- \* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2021年3月末を10,000として指数化しております。
- \* 年間騰落率は、2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

- \* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- \* 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- \* 決算日に対応した数値とは異なります。
- \* 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

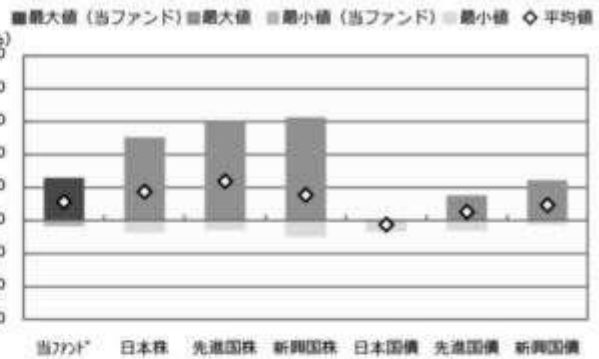
## 米ドルコース（毎月分配型）

### ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



2021年3月 2022年2月 2023年2月 2024年2月 2025年2月 2026年2月

### ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値 (%)	25.9	50.5	59.8	62.7	0.6	15.3	24.5
最小値 (%)	△ 3.4	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値 (%)	11.5	17.5	23.9	15.5	△ 2.5	5.3	9.5

\* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2021年3月末を10,000として指数化しております。

\* 年間騰落率は、2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

\* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

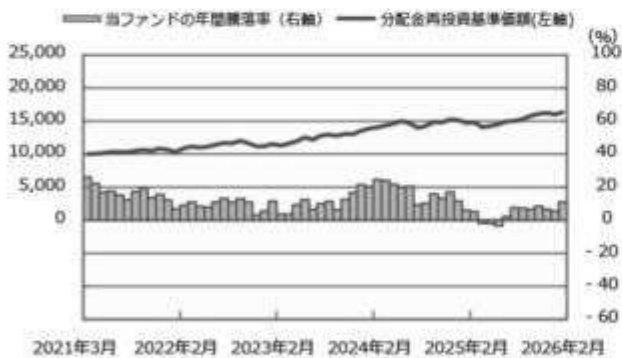
\* 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

\* 決算日に対応した数値とは異なります。

\* 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

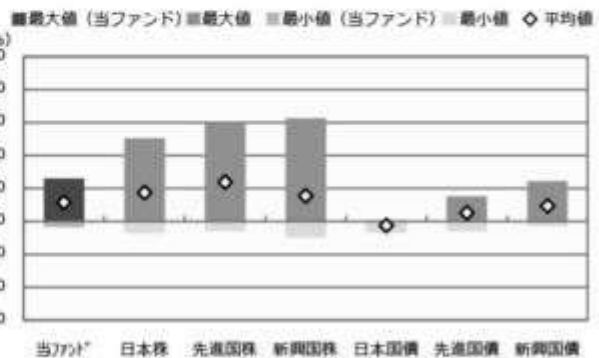
## 米ドルコース（年2回決算型）

### ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



2021年3月 2022年2月 2023年2月 2024年2月 2025年2月 2026年2月

### ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値 (%)	26.0	50.5	59.8	62.7	0.6	15.3	24.5
最小値 (%)	△ 3.4	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値 (%)	11.5	17.5	23.9	15.5	△ 2.5	5.3	9.5

\* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2021年3月末を10,000として指数化しております。

\* 年間騰落率は、2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

\* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

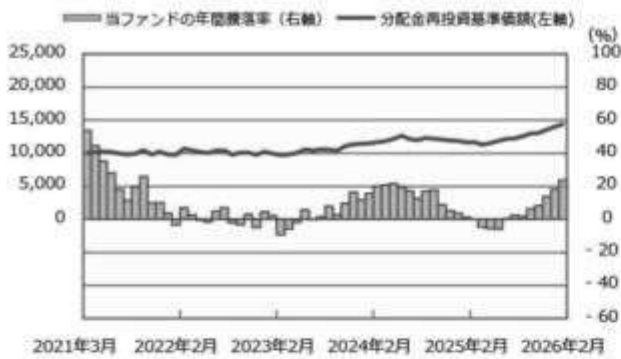
\* 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

\* 決算日に対応した数値とは異なります。

\* 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

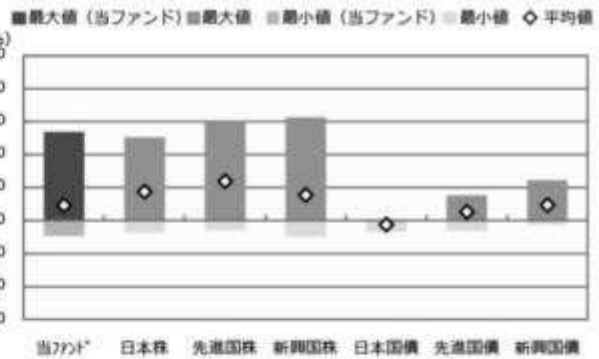
## 豪ドルコース（毎月分配型）

## ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



2021年3月 2022年2月 2023年2月 2024年2月 2025年2月 2026年2月

## ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値 (%)	53.8	50.5	59.8	62.7	0.6	15.3	24.5
最小値 (%)	△ 9.3	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値 (%)	9.2	17.5	23.9	15.5	△ 2.5	5.3	9.5

\* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2021年3月末を10,000として指数化しております。

\* 年間騰落率は、2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

\* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

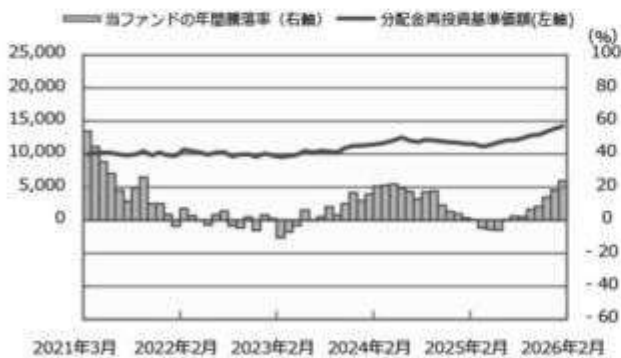
\* 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

\* 決算日に対応した数値とは異なります。

\* 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

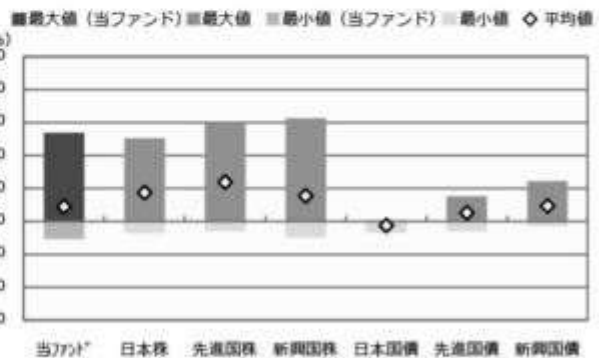
## 豪ドルコース（年2回決算型）

## ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



2021年3月 2022年2月 2023年2月 2024年2月 2025年2月 2026年2月

## ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値 (%)	53.9	50.5	59.8	62.7	0.6	15.3	24.5
最小値 (%)	△ 10.6	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値 (%)	9.0	17.5	23.9	15.5	△ 2.5	5.3	9.5

\* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2021年3月末を10,000として指数化しております。

\* 年間騰落率は、2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

\* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

\* 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

\* 決算日に対応した数値とは異なります。

\* 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

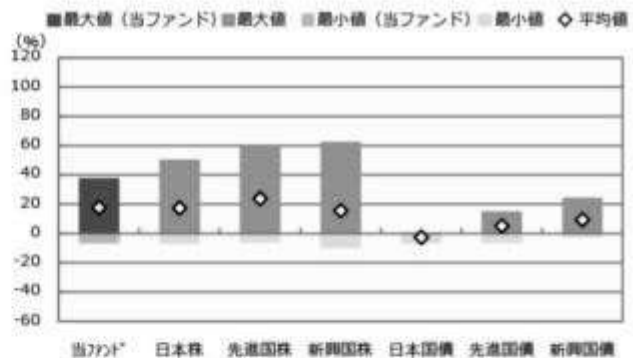
## ブラジルリアルコース（毎月分配型）

### ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



2021年3月 2022年2月 2023年2月 2024年2月 2025年2月 2026年2月

### ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値 (%)	37.8	50.5	59.8	62.7	0.6	15.3	24.5
最小値 (%)	△ 6.7	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値 (%)	17.6	17.5	23.9	15.5	△ 2.5	5.3	9.5

\* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2021年3月末を10,000として指数化しております。

\* 年間騰落率は、2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

\* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

\* 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

\* 決算日に対応した数値とは異なります。

\* 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

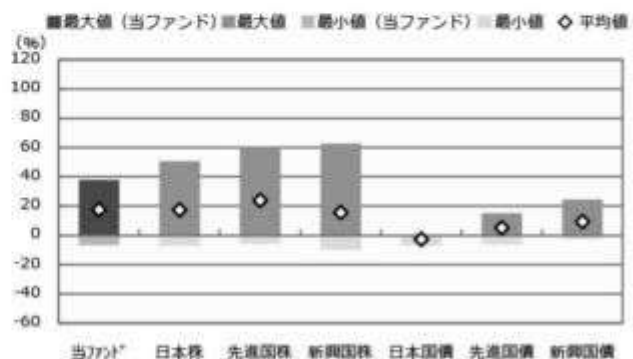
## ブラジルリアルコース（年2回決算型）

### ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



2021年3月 2022年2月 2023年2月 2024年2月 2025年2月 2026年2月

### ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値 (%)	37.9	50.5	59.8	62.7	0.6	15.3	24.5
最小値 (%)	△ 6.7	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値 (%)	17.7	17.5	23.9	15.5	△ 2.5	5.3	9.5

\* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2021年3月末を10,000として指数化しております。

\* 年間騰落率は、2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

\* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

\* 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

\* 決算日に対応した数値とは異なります。

\* 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

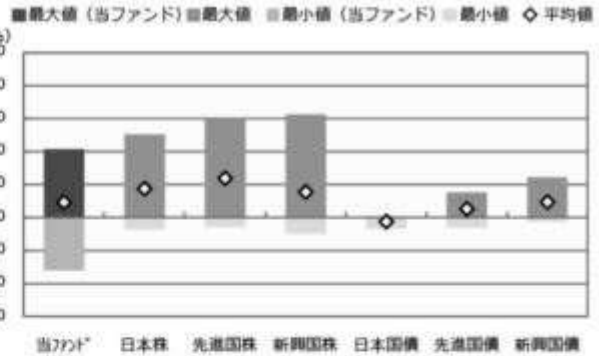
## トルコリラコース（毎月分配型）

### ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



2021年3月 2022年2月 2023年2月 2024年2月 2025年2月 2026年2月

### ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値 (%)	41.6	50.5	59.8	62.7	0.6	15.3	24.5
最小値 (%)	△ 32.0	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値 (%)	9.2	17.5	23.9	15.5	△ 2.5	5.3	9.5

\* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2021年3月末を10,000として指数化しております。

\* 年間騰落率は、2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

\* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

\* 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

\* 決算日に対応した数値とは異なります。

\* 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

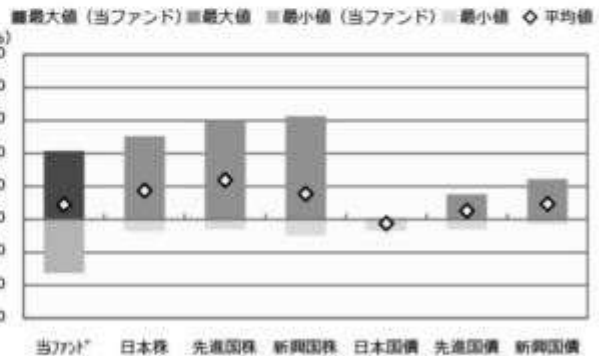
## トルコリラコース（年2回決算型）

### ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



2021年3月 2022年2月 2023年2月 2024年2月 2025年2月 2026年2月

### ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値 (%)	41.4	50.5	59.8	62.7	0.6	15.3	24.5
最小値 (%)	△ 32.4	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値 (%)	9.1	17.5	23.9	15.5	△ 2.5	5.3	9.5

\* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2021年3月末を10,000として指数化しております。

\* 年間騰落率は、2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

\* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

\* 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

\* 決算日に対応した数値とは異なります。

\* 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

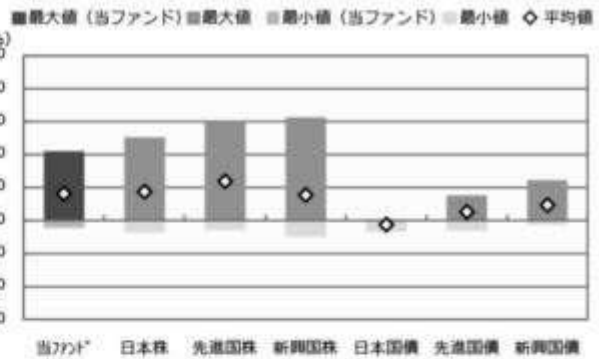
## 通貨セレクトコース（毎月分配型）

### ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



2021年3月 2022年2月 2023年2月 2024年2月 2025年2月 2026年2月

### ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値 (%)	42.0	50.5	59.8	62.7	0.6	15.3	24.5
最小値 (%)	△ 4.3	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値 (%)	16.3	17.5	23.9	15.5	△ 2.5	5.3	9.5

\* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2021年3月末を10,000として指数化しております。

\* 年間騰落率は、2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

\* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

\* 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

\* 決算日に対応した数値とは異なります。

\* 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

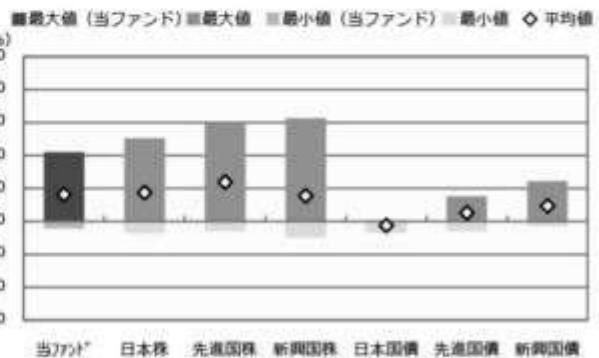
## 通貨セレクトコース（年2回決算型）

### ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



2021年3月 2022年2月 2023年2月 2024年2月 2025年2月 2026年2月

### ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値 (%)	42.0	50.5	59.8	62.7	0.6	15.3	24.5
最小値 (%)	△ 4.1	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値 (%)	16.2	17.5	23.9	15.5	△ 2.5	5.3	9.5

\* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2021年3月末を10,000として指数化しております。

\* 年間騰落率は、2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

\* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

\* 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

\* 決算日に対応した数値とは異なります。

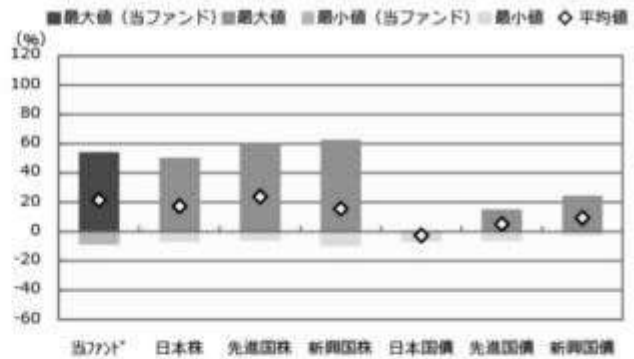
\* 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## メキシコペソコース（毎月分配型）

### ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



### ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値 (%)	54.2	50.5	59.8	62.7	0.6	15.3	24.5
最小値 (%)	△ 8.8	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値 (%)	21.5	17.5	23.9	15.5	△ 2.5	5.3	9.5

\* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2021年3月末を10,000として指数化しております。

\* 年間騰落率は、2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

\* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

\* 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

\* 決算日に対応した数値とは異なります。

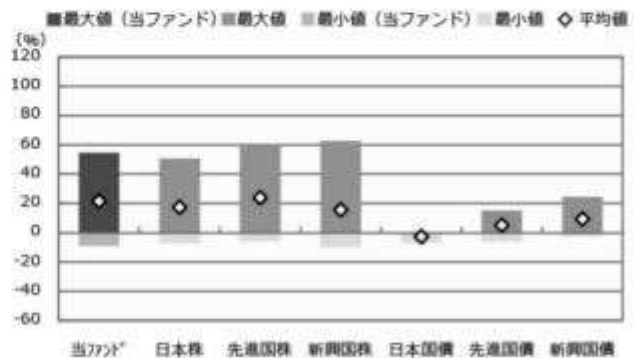
\* 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## メキシコペソコース（年2回決算型）

### ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



### ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値 (%)	54.5	50.5	59.8	62.7	0.6	15.3	24.5
最小値 (%)	△ 9.0	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値 (%)	21.7	17.5	23.9	15.5	△ 2.5	5.3	9.5

\* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2021年3月末を10,000として指数化しております。

\* 年間騰落率は、2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

\* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

\* 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

\* 決算日に対応した数値とは異なります。

\* 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

※ 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

## &lt;代表的な資産クラスの指数&gt;

- 日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
- 先進国株：MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）
- 新興国株：MSCI Emerging Market Index（配当込み、円ベース）
- 日本国債：NOMURA-BPI国債
- 先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
- 新興国債：JP Morgan Government Bond Index - Emerging Markets Global Diversified（円ベース）

## ■代表的な資産クラスの指数の著作権等について■

- 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）・・・配当込みTOPIX（「東証株価指数（TOPIX）（配当込み）」といいます。）の指数値及び東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標準又は商標は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標準又は商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P X により提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても J P X は責任を負いません。
- MSCI-KOKUSAI 指数（配当込み、円ベース）、MSCI Emerging Market Index（配当込み、円ベース）・・・MSCI-KOKUSAI 指数（配当込み、円ベース）、MSCI Emerging Market Index（配当込み、円ベース）は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産その他一切の権利は MSCI に帰属します。また MSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- NOMURA-BPI 国債・・・NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI 国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。
- FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）・・・FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。
- JP Morgan Government Bond Index - Emerging Markets Global Diversified（円ベース）・・・「JP Morgan Government Bond Index - Emerging Markets Global Diversified（円ベース）」（ここでは「指数」とよびます）についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスも法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JP Morgan Chase & Co. 及びその子会社（以下、JPM）がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPM やその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持ったり、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受人、プレースメント・エージェンシー、アドバイザー、または買主になっている可能性もあります。
- 米国の J.P. Morgan Securities LLC（ここでは「JPMS LLC」と呼びます）（「指数スポンサー」）は、指数に関する証券、金融商品または取引（ここでは「プロダクト」と呼びます）についての援助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に関連させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。JPMS LLC は NASD、NYSE、SIPC の会員です。JPMorgan は JP Morgan Chase Bank, NA、JPST、J.P. Morgan Securities PLC.、またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。

(出所：株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他)

## 4【手数料等及び税金】

## (1)【申込手数料】

取得申込日の翌々営業日の基準価額に、3.3%（申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等に相当する率）（税抜3.0%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

詳しくは、販売会社にお問い合わせ下さい。販売会社については、「サポートダイヤル」までお問い合わせ下さい。

収益分配金を再投資する場合には無手数料とします。

購入時手数料は、商品及び関連する投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務コストの対価として、購入時に頂戴するものです。

## (2)【換金（解約）手数料】

換金手数料はありません。

## (3)【信託報酬等】

信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に年0.968%（税抜年0.88%）の率を乗じて得た額とします。

また、信託報酬率の配分については、次の通り（税抜）とします。

<委託会社>	<販売会社>	<受託会社>
年0.35%	年0.50%	年0.03%

ファンドの信託報酬は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。

なお、この他にファンドが投資対象とする外国投資信託に関しても信託報酬等がかかります。

(参考)各ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬

外国投資信託の名称	信託報酬率（年率）
ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド (JPY Class / USD Class / AUD Class / BRL Class / TRY Class / MXN Class)	0.70%
ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド (Currency Select Class)	0.85% <sup>(注)</sup>

(注)純資産総額によっては、記載の信託報酬率を下回る場合があります。

上記の他、信託財産に関する租税、組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する費用および信託財産の監査に要する費用、外貨建資産の保管などに要する費用、借入金の利息および立替金の利息などを負担する場合があります。また、ファンドの設立に係る費用はファンドが負担し、1年を超えない期間にわたり償却します。なお、申込手数料はかかりません。

ファンドの信託報酬にファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加えた、受益者が実質的に負担する信託報酬率について、通常の状態においてはノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンドの各クラス受益証券への投資比率は概ね90%以上を目処としますので、概算値は以下の通りです。ただし、この値はあくまでも実質的な信託報酬の目安であり、ファンドの実際の投資信託証券の組入れ状況によっては、実質的な信託報酬は変動します。

	実質的な信託報酬率（税込・年率）の概算値
通貨セレクトコースを 除く各コース	1.668%程度
通貨セレクトコース	1.818%程度 <sup>(注)</sup>

(注)純資産総額によっては、記載の信託報酬率を下回る場合があります。

支払先の役務の内容

< 委託会社 >	< 販売会社 >	< 受託会社 >
ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等

(4) 【その他の手数料等】

ファンドにおいて一部解約に伴う支払資金の手当て等を目的として資金借入れの指図を行なった場合、当該借入金の利息はファンドから支払われます。

ファンドに関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託者の立替えた立替金の利息等は、受益者の負担とし、ファンドから支払われます。

ファンドに関する組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、売買委託手数料に係る消費税等に相当する金額は信託財産から支払われます。

監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用および当該監査費用に係る消費税等に相当する金額は、信託報酬支払いのときにファンドから支払われます。

ファンドにおいて一部解約の実行に伴い、信託財産留保額 をご負担いただきます。信託財産留保額は、基準価額に0.3%の率を乗じて得た額を1口あたりに換算して、換金する口数に応じてご負担いただきます。

「信託財産留保額」とは、償還時まで投資を続ける投資家との公平性の確保やファンド残高の安定的な推移を図るため、クローズド期間の有無に関係なく、信託期間満了前の解約に対し解約者から徴収する一定の金額をいい、信託財産に繰り入れられます。

\* これらの費用等の中には、運用状況等により変動するものがあり、事前に料率、上限額等を表示することができないものがあります。

## （５）【課税上の取扱い】

課税上は、株式投資信託として取扱われます。

個人、法人別の課税について

個人の投資家に対する課税

< 収益分配金に対する課税 >

分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、20.315% (国税(所得税及び復興特別所得税) 15.315%および地方税5%)の税率による源泉徴収が行なわれます。なお、確定申告により、申告分離課税もしくは総合課税のいずれかを選択することもできます。

なお、配当控除は適用されません。

< 換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対する課税 >

換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）については、申告分離課税により20.315% (国税15.315%および地方税5%)の税率が適用され、源泉徴収口座を選択した場合は20.315%の税率により源泉徴収が行なわれます。

損益通算について

以下の所得間で損益通算が可能です。上場株式等の配当所得については申告分離課税を選択したものに限りです。

《利子所得》	《上場株式等に係る譲渡所得等》 <sup>(注2)</sup>	《配当所得》
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定公社債<sup>(注1)</sup>の利子</li> <li>・ 公募公社債投資信託の収益分配金</li> </ul>	特定公社債、公募公社債投資信託、上場株式、公募株式投資信託の <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 譲渡益</li> <li>・ 譲渡損</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上場株式の配当</li> <li>・ 公募株式投資信託の収益分配金</li> </ul>

(注1) 「特定公社債」とは、国債、地方債、外国国債、公募公社債、上場公社債、2015年12月31日以前に発行された公社債（同族会社が発行した社債を除きます。）などの一定の公社債をいいます。

(注2) 株式等に係る譲渡所得等について、上場株式等に係る譲渡所得等とそれ以外の株式等に係る譲渡所得等に区分し、別々の分離課税制度とすることとされ、原則として、これら相互の通算等ができないこととされました。

公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。ファンドは、NISAの対象ではありません。

## 法人の投資家に対する課税

分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに換金(解約)時および償還時の個別元本超過額については、15.315%(国税15.315%)の税率で源泉徴収が行なわれます。なお、地方税の源泉徴収はありません。

源泉税は所有期間に応じて法人税額から控除

税金の取扱いの詳細については税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## 換金（解約）時および償還時の課税について

### 〔個人の投資家の場合〕

換金（解約）時および償還時の差益 については、譲渡所得とみなして課税が行われます。

換金（解約）時および償還時の価額から取得費（申込手数料（税込）を含む）を控除した利益を譲渡益として課税対象となります。

### 〔法人の投資家の場合〕

換金（解約）時および償還時の個別元本超過額が源泉徴収の対象（配当所得）となります。

なお、買取りによるご換金について、詳しくは販売会社にお問い合わせください。

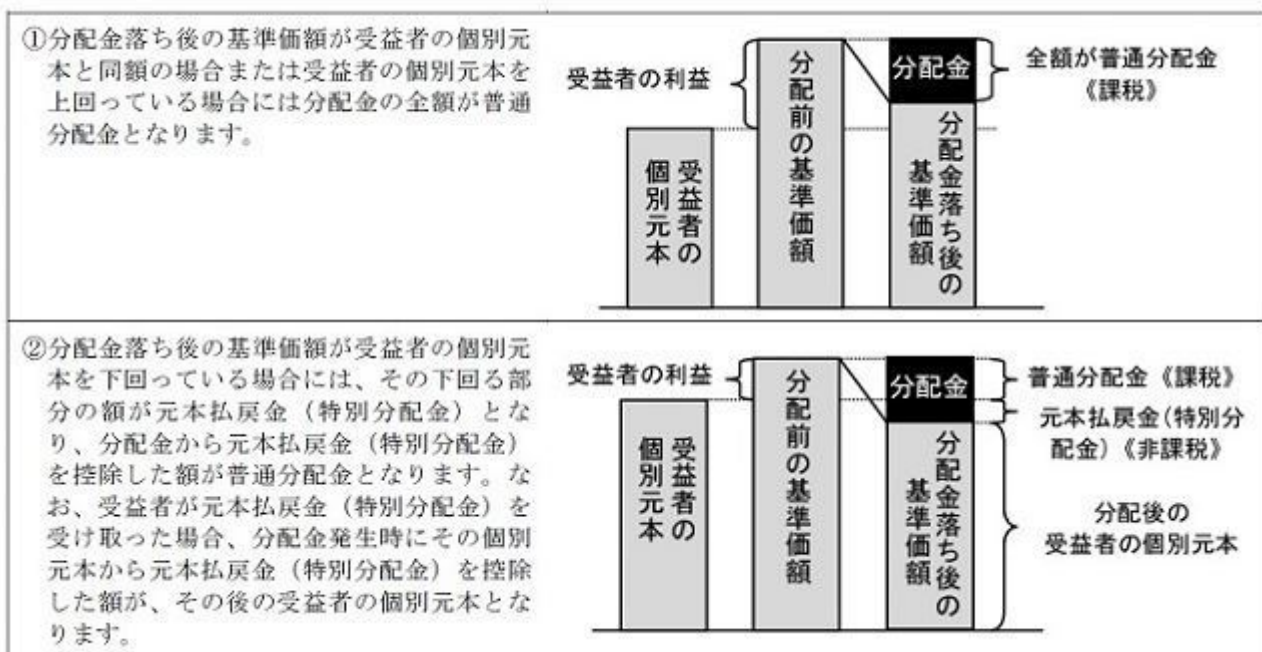
## 個別元本について

追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本をいいます。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合や受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合などには、当該受益者の個別元本が変わりますので、詳しくは販売会社へお問い合わせください。

## 分配金の課税について

分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）があります。



上図はあくまでもイメージ図であり、個別元本や基準価額、分配金の各水準等を示唆するものではありません。

上記は2026年2月末現在の情報に基づくものですので、税法が改正された場合等には、内容が変更される場合があります。

### （参考情報）ファンドの総経費率

（単位：％）

	総経費率 (①+②+③+④)	①ファンドの運用管理費用の比率	②ファンドのその他費用の比率	③投資先ファンドの運用管理費用の比率	④投資先ファンドの運用管理費用以外の比率
円コース（毎月分配型）	1.66	0.96	0.00	0.69	0.01
円コース（年2回決算型）	1.66	0.96	0.00	0.69	0.01
米ドルコース（毎月分配型）	1.66	0.96	0.00	0.69	0.01
米ドルコース（年2回決算型）	1.66	0.96	0.00	0.69	0.01
豪ドルコース（毎月分配型）	1.66	0.96	0.00	0.69	0.01
豪ドルコース（年2回決算型）	1.66	0.96	0.00	0.69	0.01
ブラジルリアルコース（毎月分配型）	1.66	0.96	0.00	0.69	0.01
ブラジルリアルコース（年2回決算型）	1.66	0.96	0.00	0.69	0.01
トルコリラコース（毎月分配型）	1.66	0.96	0.00	0.69	0.01
トルコリラコース（年2回決算型）	1.66	0.96	0.00	0.69	0.01
通貨セレクトコース（毎月分配型）	1.81	0.96	0.00	0.84	0.01
通貨セレクトコース（年2回決算型）	1.81	0.96	0.00	0.84	0.01
メキシコペソコース（毎月分配型）	1.66	0.96	0.00	0.69	0.01
メキシコペソコース（年2回決算型）	1.66	0.96	0.00	0.69	0.01

（2025年7月26日～2026年1月26日）

- \* 総経費率の算出にあたっては、作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。消費税等のかかるものは消費税等を含む。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除しています。
- \* ファンドの費用は交付運用報告書に記載している1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- \* 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- \* 各比率は、年率換算した値です。
- \* 投資先ファンドとは、ファンドが組み入れている投資信託証券等（マザーファンドを除く。）です。
- \* ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- \* ファンドのその他費用には、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。
- \* ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- \* 投資先ファンドの純資産総額等によっては、投資先ファンドの運用管理費用以外の比率が高まる場合があります。
- \* 投資先ファンドの費用は、交付運用報告書作成時点において、委託会社が知りうる情報をもとに作成しています。
- \* 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。
- \* 最新の詳細費用につきましては、委託会社ホームページに掲載している交付運用報告書をご覧ください。

### 5【運用状況】

以下は2026年2月27日現在の運用状況であります。  
また、投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

## ( 1 ) 【投資状況】

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	10,093,335,468	98.70
親投資信託受益証券	日本	1,008,843	0.00
現金・預金・その他資産（負債控除後）		131,530,893	1.28
合計（純資産総額）		10,225,875,204	100.00

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	6,834,839,004	99.11
親投資信託受益証券	日本	100,884	0.00
現金・預金・その他資産（負債控除後）		61,191,327	0.88
合計（純資産総額）		6,896,131,215	100.00

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月分配型

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	124,537,876,080	98.30
親投資信託受益証券	日本	100,884	0.00
現金・預金・その他資産（負債控除後）		2,151,086,312	1.69
合計（純資産総額）		126,689,063,276	100.00

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）年2回決算型

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	33,586,050,720	98.98
親投資信託受益証券	日本	100,884	0.00
現金・預金・その他資産（負債控除後）		344,503,380	1.01
合計（純資産総額）		33,930,654,984	100.00

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）毎月分配型

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	20,354,727,035	98.61
親投資信託受益証券	日本	1,008,843	0.00
現金・預金・その他資産（負債控除後）		285,256,287	1.38
合計（純資産総額）		20,640,992,165	100.00

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）年2回決算型

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	1,258,445,439	98.78
親投資信託受益証券	日本	1,008,843	0.07
現金・預金・その他資産（負債控除後）		14,498,768	1.13
合計（純資産総額）		1,273,953,050	100.00

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	31,075,917,240	98.65
親投資信託受益証券	日本	1,008,843	0.00
現金・預金・その他資産（負債控除後）		421,093,440	1.33
合計（純資産総額）		31,498,019,523	100.00

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	2,802,053,238	99.05
親投資信託受益証券	日本	1,008,843	0.03
現金・預金・その他資産（負債控除後）		25,583,084	0.90
合計（純資産総額）		2,828,645,165	100.00

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）毎月分配型

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	2,016,124,198	98.34
親投資信託受益証券	日本	1,008,843	0.04
現金・預金・その他資産（負債控除後）		32,911,441	1.60
合計（純資産総額）		2,050,044,482	100.00

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）年2回決算型

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	754,109,672	98.85
親投資信託受益証券	日本	100,884	0.01
現金・預金・その他資産（負債控除後）		8,639,730	1.13
合計（純資産総額）		762,850,286	100.00

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）毎月分配型

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	4,422,351,144	98.91
親投資信託受益証券	日本	1,008,844	0.02
現金・預金・その他資産（負債控除後）		47,573,160	1.06
合計（純資産総額）		4,470,933,148	100.00

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）年2回決算型

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	1,442,645,856	98.85
親投資信託受益証券	日本	100,885	0.00
現金・預金・その他資産（負債控除後）		16,555,355	1.13
合計（純資産総額）		1,459,302,096	100.00

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	1,228,010,476	98.36
親投資信託受益証券	日本	10,069	0.00
現金・預金・その他資産（負債控除後）		20,342,755	1.62
合計（純資産総額）		1,248,363,300	100.00

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）年2回決算型

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	673,101,083	98.84
親投資信託受益証券	日本	10,069	0.00
現金・預金・その他資産（負債控除後）		7,831,011	1.15
合計（純資産総額）		680,942,163	100.00

## （参考）野村マネー マザーファンド

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
現金・預金・その他資産（負債控除後）		4,252,000,638	100.00
合計（純資産総額）		4,252,000,638	100.00

## （2）【投資資産】

## 【投資有価証券の主要銘柄】

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価（円）	簿価金額（円）	評価単価（円）	評価金額（円）	投資比率（％）
1	ケイマン諸島	投資信託受益証券	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(JPY Class)	2,219,291	4,548	10,093,335,468	4,548	10,093,335,468	98.70
2	日本	親投資信託受益証券	野村マネー マザーファンド	982,608	1.0267	1,008,843	1.0267	1,008,843	0.00

## 種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率（％）
投資信託受益証券	98.70
親投資信託受益証券	0.00
合計	98.71

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価（円）	簿価金額（円）	評価単価（円）	評価金額（円）	投資比率（％）
1	ケイマン諸島	投資信託受益証券	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(JPY Class)	1,502,823	4,577	6,878,420,871	4,548	6,834,839,004	99.11
2	日本	親投資信託受益証券	野村マネー マザーファンド	98,261	1.0260	100,815	1.0267	100,884	0.00

## 種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率（％）
投資信託受益証券	99.11
親投資信託受益証券	0.00
合計	99.11

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月分配型

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 （円）	簿価 金額 （円）	評価 単価 （円）	評価 金額 （円）	投資 比率 （%）
1	ケイマン 諸島	投資信託受 益証券	ノムラ・ケイマン・ハイ・イール ド・ファンド(USD Class)	17,893,373	6,931	124,018,968,263	6,960	124,537,876,080	98.30
2	日本	親投資信託 受益証券	野村マネー マザーファンド	98,261	1.0267	100,884	1.0267	100,884	0.00

## 種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率 (%)
投資信託受益証券	98.30
親投資信託受益証券	0.00
合 計	98.30

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）年2回決算型

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 （円）	簿価 金額 （円）	評価 単価 （円）	評価 金額 （円）	投資 比率 （%）
1	ケイマン 諸島	投資信託受 益証券	ノムラ・ケイマン・ハイ・イール ド・ファンド(USD Class)	4,825,582	7,123	34,373,068,150	6,960	33,586,050,720	98.98
2	日本	親投資信託 受益証券	野村マネー マザーファンド	98,261	1.0260	100,815	1.0267	100,884	0.00

## 種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率 (%)
投資信託受益証券	98.98
親投資信託受益証券	0.00
合 計	98.98

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）毎月分配型

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 （円）	簿価 金額 （円）	評価 単価 （円）	評価 金額 （円）	投資 比率 （%）
1	ケイマン 諸島	投資信託受 益証券	ノムラ・ケイマン・ハイ・イール ド・ファンド(AUD Class)	4,342,805	4,625	20,085,473,125	4,687	20,354,727,035	98.61
2	日本	親投資信託 受益証券	野村マネー マザーファンド	982,608	1.0267	1,008,843	1.0267	1,008,843	0.00

## 種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率 (%)
投資信託受益証券	98.61
親投資信託受益証券	0.00
合 計	98.61

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）年2回決算型

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 （円）	簿価 金額 （円）	評価 単価 （円）	評価 金額 （円）	投資 比率 （%）
1	ケイマン 諸島	投資信託受 益証券	ノムラ・ケイマン・ハイ・イール ド・ファンド(AUD Class)	268,497	4,607	1,237,142,326	4,687	1,258,445,439	98.78
2	日本	親投資信託 受益証券	野村マネー マザーファンド	982,608	1.0260	1,008,155	1.0267	1,008,843	0.07

## 種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率 (%)

投資信託受益証券	98.78
親投資信託受益証券	0.07
合 計	98.86

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ケイマン 諸島	投資信託受 益証券	ノムラ・ケイマン・ハイ・イール ド・ファンド(BRL Class)	11,090,620	2,768	30,698,836,160	2,802	31,075,917,240	98.65
2	日本	親投資信託 受益証券	野村マネー マザーファンド	982,608	1.0267	1,008,843	1.0267	1,008,843	0.00

## 種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	98.65
親投資信託受益証券	0.00
合 計	98.66

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ケイマン 諸島	投資信託受 益証券	ノムラ・ケイマン・ハイ・イール ド・ファンド(BRL Class)	1,000,019	2,748	2,748,827,283	2,802	2,802,053,238	99.05
2	日本	親投資信託 受益証券	野村マネー マザーファンド	982,608	1.0260	1,008,155	1.0267	1,008,843	0.03

## 種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	99.05
親投資信託受益証券	0.03
合 計	99.09

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）毎月分配型

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ケイマン 諸島	投資信託受 益証券	ノムラ・ケイマン・ハイ・イール ド・ファンド(TRY Class)	1,038,169	1,935	2,008,857,015	1,942	2,016,124,198	98.34
2	日本	親投資信託 受益証券	野村マネー マザーファンド	982,608	1.0267	1,008,843	1.0267	1,008,843	0.04

## 種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	98.34
親投資信託受益証券	0.04
合 計	98.39

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）年2回決算型

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ケイマン 諸島	投資信託受 益証券	ノムラ・ケイマン・ハイ・イール ド・ファンド(TRY Class)	388,316	1,954	759,150,013	1,942	754,109,672	98.85

2	日本	親投資信託 受益証券	野村マネー マザーファンド	98,261	1.0260	100,815	1.0267	100,884	0.01
---	----	---------------	---------------	--------	--------	---------	--------	---------	------

## 種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	98.85
親投資信託受益証券	0.01
合計	98.86

## 野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)毎月分配型

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ケイマン 諸島	投資信託受 益証券	ノムラ・ケイマン・ハイ・イール ド・ファンド(Currency Select Class)	716,983	6,100	4,373,596,300	6,168	4,422,351,144	98.91
2	日本	親投資信託 受益証券	野村マネー マザーファンド	982,609	1.0267	1,008,844	1.0267	1,008,844	0.02

## 種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	98.91
親投資信託受益証券	0.02
合計	98.93

## 野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)年2回決算型

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ケイマン 諸島	投資信託受 益証券	ノムラ・ケイマン・ハイ・イール ド・ファンド(Currency Select Class)	233,892	6,149	1,438,201,908	6,168	1,442,645,856	98.85
2	日本	親投資信託 受益証券	野村マネー マザーファンド	98,262	1.0260	100,816	1.0267	100,885	0.00

## 種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	98.85
親投資信託受益証券	0.00
合計	98.86

## 野村米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)毎月分配型

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ケイマン 諸島	投資信託受 益証券	ノムラ・ケイマン・ハイ・イール ド・ファンド(MXN Class)	103,796	11,708	1,215,243,568	11,831	1,228,010,476	98.36
2	日本	親投資信託 受益証券	野村マネー マザーファンド	9,808	1.0267	10,069	1.0267	10,069	0.00

## 種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	98.36
親投資信託受益証券	0.00
合計	98.37

## 野村米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)年2回決算型

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ケイマン 諸島	投資信託受 益証券	ノムラ・ケイマン・ハイ・イール ド・ファンド(MXN Class)	56,893	11,815	672,190,795	11,831	673,101,083	98.84
2	日本	親投資信託 受益証券	野村マネー マザーファンド	9,808	1.0260	10,063	1.0267	10,069	0.00

## 種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	98.84
親投資信託受益証券	0.00
合 計	98.84

## (参考)野村マネー マザーファンド

該当事項はありません。

## 種類別及び業種別投資比率

該当事項はありません。

## 【投資不動産物件】

## 野村米国ハイ・イールド債券投信(円コース)毎月分配型

該当事項はありません。

## 野村米国ハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型

該当事項はありません。

## 野村米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース)毎月分配型

該当事項はありません。

## 野村米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース)年2回決算型

該当事項はありません。

## 野村米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)毎月分配型

該当事項はありません。

## 野村米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)年2回決算型

該当事項はありません。

## 野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型

該当事項はありません。

## 野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型

該当事項はありません。

## 野村米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース)毎月分配型

該当事項はありません。

## 野村米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース)年2回決算型

該当事項はありません。

## 野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)毎月分配型

該当事項はありません。

野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）年2回決算型  
該当事項はありません。

野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型  
該当事項はありません。

野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）年2回決算型  
該当事項はありません。

（参考）野村マネー マザーファンド  
該当事項はありません。

#### 【その他投資資産の主要なもの】

野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型  
該当事項はありません。

野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型  
該当事項はありません。

野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月分配型  
該当事項はありません。

野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）年2回決算型  
該当事項はありません。

野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）毎月分配型  
該当事項はありません。

野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）年2回決算型  
該当事項はありません。

野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型  
該当事項はありません。

野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型  
該当事項はありません。

野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）毎月分配型  
該当事項はありません。

野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）年2回決算型  
該当事項はありません。

野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）毎月分配型  
該当事項はありません。

野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）年2回決算型  
該当事項はありません。

野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型

該当事項はありません。

### 野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）年2回決算型

該当事項はありません。

（参考）野村マネー マザーファンド

該当事項はありません。

### （3）【運用実績】

#### 【純資産の推移】

### 野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型

2026年2月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額（円）	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第15特定期間	(2016年 7月25日)	33,979	34,243	0.8985	0.9055
第16特定期間	(2017年 1月25日)	53,487	53,785	0.8983	0.9033
第17特定期間	(2017年 7月25日)	52,036	52,327	0.8928	0.8978
第18特定期間	(2018年 1月25日)	45,875	46,033	0.8734	0.8764
第19特定期間	(2018年 7月25日)	34,886	34,969	0.8423	0.8443
第20特定期間	(2019年 1月25日)	27,158	27,224	0.8163	0.8183
第21特定期間	(2019年 7月25日)	24,251	24,309	0.8347	0.8367
第22特定期間	(2020年 1月27日)	21,448	21,499	0.8405	0.8425
第23特定期間	(2020年 7月27日)	21,532	21,586	0.7929	0.7949
第24特定期間	(2021年 1月25日)	21,505	21,557	0.8414	0.8434
第25特定期間	(2021年 7月26日)	19,402	19,448	0.8517	0.8537
第26特定期間	(2022年 1月25日)	17,637	17,680	0.8341	0.8361
第27特定期間	(2022年 7月25日)	15,902	15,945	0.7358	0.7378
第28特定期間	(2023年 1月25日)	19,561	19,614	0.7272	0.7292
第29特定期間	(2023年 7月25日)	19,333	19,387	0.7085	0.7105
第30特定期間	(2024年 1月25日)	17,491	17,541	0.7071	0.7091
第31特定期間	(2024年 7月25日)	15,089	15,132	0.7014	0.7034
第32特定期間	(2025年 1月27日)	13,280	13,318	0.6926	0.6946
第33特定期間	(2025年 7月25日)	11,626	11,660	0.6859	0.6879
第34特定期間	(2026年 1月26日)	10,406	10,436	0.6851	0.6871
	2025年 2月末日	12,974		0.6918	
	3月末日	12,498		0.6838	
	4月末日	12,196		0.6762	
	5月末日	12,056		0.6789	
	6月末日	11,881		0.6857	
	7月末日	11,639		0.6868	
	8月末日	11,406		0.6891	
	9月末日	11,248		0.6896	
	10月末日	11,044		0.6884	

11月末日	10,667		0.6831
12月末日	10,515		0.6841
2026年 1月末日	10,359		0.6842
2月末日	10,225		0.6827

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型

2026年2月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第15計算期間 (2016年 7月25日)	4,959	4,962	1.6346	1.6356
第16計算期間 (2017年 1月25日)	8,554	8,559	1.6929	1.6939
第17計算期間 (2017年 7月25日)	8,922	8,927	1.7387	1.7397
第18計算期間 (2018年 1月25日)	7,752	7,756	1.7469	1.7479
第19計算期間 (2018年 7月25日)	5,991	5,994	1.7177	1.7187
第20計算期間 (2019年 1月25日)	5,242	5,245	1.6887	1.6897
第21計算期間 (2019年 7月25日)	5,858	5,861	1.7507	1.7517
第22計算期間 (2020年 1月27日)	5,700	5,703	1.7876	1.7886
第23計算期間 (2020年 7月27日)	9,800	9,806	1.7088	1.7098
第24計算期間 (2021年 1月25日)	7,171	7,175	1.8391	1.8401
第25計算期間 (2021年 7月26日)	6,391	6,394	1.8875	1.8885
第26計算期間 (2022年 1月25日)	5,966	5,969	1.8734	1.8744
第27計算期間 (2022年 7月25日)	6,045	6,048	1.6782	1.6792
第28計算期間 (2023年 1月25日)	15,174	15,183	1.6837	1.6847
第29計算期間 (2023年 7月25日)	16,199	16,209	1.6673	1.6683
第30計算期間 (2024年 1月25日)	14,903	14,911	1.6926	1.6936
第31計算期間 (2024年 7月25日)	11,860	11,867	1.7072	1.7082
第32計算期間 (2025年 1月27日)	9,390	9,396	1.7142	1.7152
第33計算期間 (2025年 7月25日)	7,878	7,883	1.7269	1.7279
第34計算期間 (2026年 1月26日)	7,080	7,084	1.7544	1.7554
2025年 2月末日	9,038		1.7171	
3月末日	8,844		1.7021	
4月末日	8,542		1.6884	
5月末日	8,410		1.7002	
6月末日	8,182		1.7224	
7月末日	7,801		1.7292	
8月末日	7,694		1.7401	
9月末日	7,611		1.7463	
10月末日	7,398		1.7484	
11月末日	7,249		1.7400	
12月末日	7,107		1.7476	
2026年 1月末日	7,064		1.7520	
2月末日	6,896		1.7534	

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月分配型

2026年2月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第15特定期間 (2016年 7月25日)	15,413	15,512	1.0907	1.0977
第16特定期間 (2017年 1月25日)	20,486	20,610	1.1627	1.1697
第17特定期間 (2017年 7月25日)	22,374	22,511	1.1427	1.1497
第18特定期間 (2018年 1月25日)	20,341	20,470	1.1079	1.1149
第19特定期間 (2018年 7月25日)	19,177	19,302	1.0719	1.0789
第20特定期間 (2019年 1月25日)	22,362	22,517	1.0111	1.0181
第21特定期間 (2019年 7月25日)	31,716	31,936	1.0093	1.0163
第22特定期間 (2020年 1月27日)	41,504	41,790	1.0135	1.0205
第23特定期間 (2020年 7月27日)	49,927	50,311	0.9105	0.9175
第24特定期間 (2021年 1月25日)	49,359	49,738	0.9124	0.9194
第25特定期間 (2021年 7月26日)	46,455	46,798	0.9477	0.9547
第26特定期間 (2022年 1月25日)	48,088	48,447	0.9358	0.9428
第27特定期間 (2022年 7月25日)	51,951	52,322	0.9793	0.9863
第28特定期間 (2023年 1月25日)	70,838	71,382	0.9116	0.9186
第29特定期間 (2023年 7月25日)	96,787	97,491	0.9619	0.9689
第30特定期間 (2024年 1月25日)	118,749	119,574	1.0072	1.0142
第31特定期間 (2024年 7月25日)	131,098	131,973	1.0488	1.0558
第32特定期間 (2025年 1月27日)	130,739	131,620	1.0385	1.0455
第33特定期間 (2025年 7月25日)	120,075	120,946	0.9649	0.9719
第34特定期間 (2026年 1月26日)	129,582	130,455	1.0393	1.0463
2025年 2月末日	126,068		1.0000	
3月末日	125,603		0.9973	
4月末日	117,224		0.9404	
5月末日	119,181		0.9485	
6月末日	119,712		0.9571	
7月末日	122,017		0.9794	
8月末日	121,611		0.9757	
9月末日	122,477		0.9872	
10月末日	125,458		1.0111	
11月末日	127,002		1.0226	
12月末日	127,726		1.0253	
2026年 1月末日	125,302		1.0034	
2月末日	126,689		1.0179	

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）年2回決算型

2026年2月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）

第15計算期間	(2016年 7月25日)	4,227	4,230	1.9132	1.9142
第16計算期間	(2017年 1月25日)	4,765	4,767	2.1193	2.1203
第17計算期間	(2017年 7月25日)	5,200	5,202	2.1599	2.1609
第18計算期間	(2018年 1月25日)	4,492	4,494	2.1728	2.1738
第19計算期間	(2018年 7月25日)	4,162	4,164	2.1861	2.1871
第20計算期間	(2019年 1月25日)	4,506	4,508	2.1450	2.1460
第21計算期間	(2019年 7月25日)	5,655	5,658	2.2296	2.2306
第22計算期間	(2020年 1月27日)	6,954	6,957	2.3332	2.3342
第23計算期間	(2020年 7月27日)	10,781	10,786	2.1961	2.1971
第24計算期間	(2021年 1月25日)	10,987	10,992	2.3039	2.3049
第25計算期間	(2021年 7月26日)	10,148	10,152	2.5003	2.5013
第26計算期間	(2022年 1月25日)	9,128	9,131	2.5795	2.5805
第27計算期間	(2022年 7月25日)	11,730	11,734	2.8154	2.8164
第28計算期間	(2023年 1月25日)	20,204	20,211	2.7366	2.7376
第29計算期間	(2023年 7月25日)	26,807	26,816	3.0222	3.0232
第30計算期間	(2024年 1月25日)	32,123	32,133	3.3026	3.3036
第31計算期間	(2024年 7月25日)	34,234	34,243	3.5827	3.5837
第32計算期間	(2025年 1月27日)	33,558	33,567	3.6947	3.6957
第33計算期間	(2025年 7月25日)	29,767	29,775	3.5838	3.5848
第34計算期間	(2026年 1月26日)	35,141	35,150	4.0266	4.0276
	2025年 2月末日	31,857		3.5814	
	3月末日	31,525		3.5969	
	4月末日	28,994		3.4175	
	5月末日	29,466		3.4724	
	6月末日	29,388		3.5300	
	7月末日	30,259		3.6375	
	8月末日	30,774		3.6500	
	9月末日	31,408		3.7201	
	10月末日	31,648		3.8380	
	11月末日	31,693		3.9088	
	12月末日	34,604		3.9465	
	2026年 1月末日	33,842		3.8870	
	2月末日	33,930		3.9719	

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）毎月分配型

2026年2月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額（円）	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第15特定期間	(2016年 7月25日)	76,630	77,481	0.6306	0.6376
第16特定期間	(2017年 1月25日)	79,055	79,640	0.6757	0.6807
第17特定期間	(2017年 7月25日)	76,193	76,746	0.6893	0.6943
第18特定期間	(2018年 1月25日)	68,122	68,527	0.6739	0.6779
第19特定期間	(2018年 7月25日)	55,881	56,066	0.6059	0.6079

第20特定期間	(2019年 1月25日)	44,429	44,587	0.5622	0.5642
第21特定期間	(2019年 7月25日)	39,346	39,487	0.5592	0.5612
第22特定期間	(2020年 1月27日)	34,020	34,141	0.5592	0.5612
第23特定期間	(2020年 7月27日)	28,855	28,965	0.5231	0.5251
第24特定期間	(2021年 1月25日)	29,036	29,136	0.5788	0.5808
第25特定期間	(2021年 7月26日)	26,558	26,649	0.5829	0.5849
第26特定期間	(2022年 1月25日)	24,549	24,634	0.5779	0.5799
第27特定期間	(2022年 7月25日)	23,932	24,013	0.5921	0.5941
第28特定期間	(2023年 1月25日)	22,026	22,103	0.5691	0.5711
第29特定期間	(2023年 7月25日)	21,925	22,000	0.5843	0.5863
第30特定期間	(2024年 1月25日)	21,232	21,302	0.6065	0.6085
第31特定期間	(2024年 7月25日)	21,404	21,471	0.6432	0.6452
第32特定期間	(2025年 1月27日)	19,746	19,809	0.6213	0.6233
第33特定期間	(2025年 7月25日)	18,874	18,935	0.6154	0.6174
第34特定期間	(2026年 1月26日)	20,323	20,381	0.6973	0.6993
	2025年 2月末日	18,855		0.5975	
	3月末日	18,751		0.5975	
	4月末日	17,935		0.5747	
	5月末日	18,201		0.5849	
	6月末日	18,627		0.6022	
	7月末日	18,823		0.6153	
	8月末日	18,708		0.6152	
	9月末日	18,969		0.6294	
	10月末日	19,373		0.6487	
	11月末日	19,296		0.6506	
	12月末日	19,886		0.6739	
	2026年 1月末日	20,238		0.6947	
	2月末日	20,640		0.7111	

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）年2回決算型

2026年2月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第15計算期間	(2016年 7月25日)	1,833	1,833	2.6174	2.6184
第16計算期間	(2017年 1月25日)	2,304	2,305	2.9463	2.9473
第17計算期間	(2017年 7月25日)	2,108	2,109	3.1428	3.1438
第18計算期間	(2018年 1月25日)	1,776	1,776	3.1963	3.1973
第19計算期間	(2018年 7月25日)	1,420	1,420	2.9775	2.9785
第20計算期間	(2019年 1月25日)	1,228	1,228	2.8185	2.8195
第21計算期間	(2019年 7月25日)	1,205	1,205	2.8631	2.8641
第22計算期間	(2020年 1月27日)	1,066	1,067	2.9257	2.9267
第23計算期間	(2020年 7月27日)	1,020	1,020	2.8053	2.8063
第24計算期間	(2021年 1月25日)	911	911	3.1740	3.1750

第25計算期間	(2021年 7月26日)	915	915	3.2577	3.2587
第26計算期間	(2022年 1月25日)	873	873	3.2924	3.2934
第27計算期間	(2022年 7月25日)	2,328	2,328	3.3990	3.4000
第28計算期間	(2023年 1月25日)	2,407	2,407	3.3341	3.3351
第29計算期間	(2023年 7月25日)	1,112	1,113	3.5076	3.5086
第30計算期間	(2024年 1月25日)	1,159	1,160	3.7122	3.7132
第31計算期間	(2024年 7月25日)	1,175	1,176	4.0130	4.0140
第32計算期間	(2025年 1月27日)	1,115	1,115	3.9491	3.9501
第33計算期間	(2025年 7月25日)	1,034	1,034	3.9908	3.9918
第34計算期間	(2026年 1月26日)	1,245	1,245	4.6049	4.6059
	2025年 2月末日	1,074		3.8107	
	3月末日	1,049		3.8244	
	4月末日	999		3.6920	
	5月末日	1,011		3.7699	
	6月末日	1,008		3.8938	
	7月末日	1,027		3.9903	
	8月末日	1,022		4.0028	
	9月末日	1,122		4.1074	
	10月末日	1,173		4.2465	
	11月末日	1,168		4.2733	
	12月末日	1,227		4.4394	
	2026年 1月末日	1,240		4.5876	
	2月末日	1,273		4.7093	

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型

2026年2月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額（円）	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第15特定期間	(2016年 7月25日)	105,233	106,924	0.4356	0.4426
第16特定期間	(2017年 1月25日)	169,437	171,182	0.4854	0.4904
第17特定期間	(2017年 7月25日)	181,789	183,653	0.4874	0.4924
第18特定期間	(2018年 1月25日)	165,898	167,706	0.4588	0.4638
第19特定期間	(2018年 7月25日)	122,427	123,395	0.3792	0.3822
第20特定期間	(2019年 1月25日)	100,575	101,404	0.3638	0.3668
第21特定期間	(2019年 7月25日)	92,901	93,669	0.3630	0.3660
第22特定期間	(2020年 1月27日)	72,698	73,358	0.3308	0.3338
第23特定期間	(2020年 7月27日)	42,504	42,595	0.2338	0.2343
第24特定期間	(2021年 1月25日)	34,693	34,767	0.2365	0.2370
第25特定期間	(2021年 7月26日)	33,435	33,499	0.2604	0.2609
第26特定期間	(2022年 1月25日)	29,061	29,116	0.2624	0.2629
第27特定期間	(2022年 7月25日)	29,861	29,911	0.2946	0.2951
第28特定期間	(2023年 1月25日)	29,411	29,459	0.3101	0.3106
第29特定期間	(2023年 7月25日)	33,227	33,271	0.3810	0.3815

第30特定期間	(2024年 1月25日)	32,954	32,994	0.4095	0.4100
第31特定期間	(2024年 7月25日)	30,009	30,047	0.4016	0.4021
第32特定期間	(2025年 1月27日)	27,384	27,419	0.3952	0.3957
第33特定期間	(2025年 7月25日)	27,249	27,281	0.4197	0.4202
第34特定期間	(2026年 1月26日)	31,122	31,153	0.5078	0.5083
	2025年 2月末日	26,867		0.3927	
	3月末日	27,106		0.3989	
	4月末日	25,672		0.3839	
	5月末日	26,260		0.3952	
	6月末日	27,135		0.4138	
	7月末日	27,340		0.4222	
	8月末日	28,041		0.4378	
	9月末日	28,808		0.4544	
	10月末日	29,539		0.4712	
	11月末日	29,823		0.4794	
	12月末日	29,232		0.4744	
	2026年 1月末日	30,517		0.4982	
	2月末日	31,498		0.5176	

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型

2026年2月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第15計算期間	(2016年 7月25日)	6,338	6,341	2.3221	2.3231
第16計算期間	(2017年 1月25日)	14,587	14,593	2.7752	2.7762
第17計算期間	(2017年 7月25日)	17,292	17,298	2.9628	2.9638
第18計算期間	(2018年 1月25日)	14,253	14,258	2.9709	2.9719
第19計算期間	(2018年 7月25日)	10,160	10,164	2.6286	2.6296
第20計算期間	(2019年 1月25日)	8,498	8,501	2.6481	2.6491
第21計算期間	(2019年 7月25日)	7,892	7,895	2.7769	2.7779
第22計算期間	(2020年 1月27日)	6,513	6,515	2.6705	2.6715
第23計算期間	(2020年 7月27日)	4,690	4,692	1.9898	1.9908
第24計算期間	(2021年 1月25日)	3,398	3,399	2.0397	2.0407
第25計算期間	(2021年 7月26日)	2,752	2,753	2.2780	2.2790
第26計算期間	(2022年 1月25日)	2,291	2,292	2.3211	2.3221
第27計算期間	(2022年 7月25日)	2,214	2,215	2.6335	2.6345
第28計算期間	(2023年 1月25日)	2,225	2,225	2.7960	2.7970
第29計算期間	(2023年 7月25日)	2,473	2,474	3.4656	3.4666
第30計算期間	(2024年 1月25日)	2,553	2,554	3.7519	3.7529
第31計算期間	(2024年 7月25日)	2,411	2,411	3.7038	3.7048
第32計算期間	(2025年 1月27日)	2,242	2,243	3.6723	3.6733
第33計算期間	(2025年 7月25日)	2,288	2,289	3.9282	3.9292
第34計算期間	(2026年 1月26日)	2,572	2,573	4.7831	4.7841

2025年 2月末日	2,213		3.6545
3月末日	2,244		3.7163
4月末日	2,153		3.5810
5月末日	2,211		3.6906
6月末日	2,274		3.8695
7月末日	2,302		3.9512
8月末日	2,377		4.1019
9月末日	2,472		4.2632
10月末日	2,536		4.4254
11月末日	2,493		4.5078
12月末日	2,410		4.4643
2026年 1月末日	2,723		4.6900
2月末日	2,828		4.8773

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）毎月分配型

2026年2月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額（円）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第15特定期間 (2016年 7月25日)	5,697	5,792	0.4752	0.4832
第16特定期間 (2017年 1月25日)	4,662	4,718	0.4163	0.4213
第17特定期間 (2017年 7月25日)	18,533	18,745	0.4380	0.4430
第18特定期間 (2018年 1月25日)	34,037	34,458	0.4044	0.4094
第19特定期間 (2018年 7月25日)	25,539	25,617	0.3285	0.3295
第20特定期間 (2019年 1月25日)	17,552	17,609	0.3110	0.3120
第21特定期間 (2019年 7月25日)	14,831	14,876	0.3255	0.3265
第22特定期間 (2020年 1月27日)	11,723	11,757	0.3452	0.3462
第23特定期間 (2020年 7月27日)	7,598	7,624	0.2914	0.2924
第24特定期間 (2021年 1月25日)	5,453	5,471	0.2989	0.2999
第25特定期間 (2021年 7月26日)	4,624	4,640	0.2984	0.2994
第26特定期間 (2022年 1月25日)	2,518	2,523	0.2228	0.2233
第27特定期間 (2022年 7月25日)	2,226	2,231	0.2162	0.2167
第28特定期間 (2023年 1月25日)	2,124	2,128	0.2271	0.2276
第29特定期間 (2023年 7月25日)	1,725	1,729	0.2142	0.2147
第30特定期間 (2024年 1月25日)	1,758	1,762	0.2380	0.2385
第31特定期間 (2024年 7月25日)	1,949	1,952	0.2841	0.2846
第32特定期間 (2025年 1月27日)	2,073	2,076	0.3227	0.3232
第33特定期間 (2025年 7月25日)	1,994	1,997	0.3253	0.3258
第34特定期間 (2026年 1月26日)	2,057	2,060	0.3913	0.3918
2025年 2月末日	2,015		0.3153	
3月末日	1,969		0.3083	
4月末日	1,913		0.2993	
5月末日	1,972		0.3092	
6月末日	1,957		0.3172	

7月末日	2,026		0.3309
8月末日	2,042		0.3354
9月末日	2,041		0.3465
10月末日	2,091		0.3627
11月末日	2,100		0.3718
12月末日	2,028		0.3806
2026年 1月末日	1,997		0.3790
2月末日	2,050		0.3897

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）年2回決算型

2026年2月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第15計算期間 (2016年 7月25日)	355	355	1.7718	1.7728
第16計算期間 (2017年 1月25日)	430	430	1.6712	1.6722
第17計算期間 (2017年 7月25日)	3,722	3,724	1.8831	1.8841
第18計算期間 (2018年 1月25日)	6,588	6,592	1.8655	1.8665
第19計算期間 (2018年 7月25日)	4,809	4,812	1.5919	1.5929
第20計算期間 (2019年 1月25日)	3,917	3,919	1.5381	1.5391
第21計算期間 (2019年 7月25日)	4,099	4,102	1.6396	1.6406
第22計算期間 (2020年 1月27日)	3,158	3,160	1.7692	1.7702
第23計算期間 (2020年 7月27日)	2,301	2,302	1.5253	1.5263
第24計算期間 (2021年 1月25日)	1,409	1,410	1.5987	1.5997
第25計算期間 (2021年 7月26日)	1,230	1,231	1.6284	1.6294
第26計算期間 (2022年 1月25日)	636	637	1.2334	1.2344
第27計算期間 (2022年 7月25日)	554	555	1.2121	1.2131
第28計算期間 (2023年 1月25日)	558	559	1.2896	1.2906
第29計算期間 (2023年 7月25日)	509	509	1.2309	1.2319
第30計算期間 (2024年 1月25日)	518	518	1.3851	1.3861
第31計算期間 (2024年 7月25日)	740	741	1.6708	1.6718
第32計算期間 (2025年 1月27日)	694	694	1.9149	1.9159
第33計算期間 (2025年 7月25日)	670	670	1.9478	1.9488
第34計算期間 (2026年 1月26日)	797	797	2.3584	2.3594
2025年 2月末日	687		1.8738	
3月末日	664		1.8350	
4月末日	640		1.7849	
5月末日	657		1.8464	
6月末日	661		1.8967	
7月末日	759		1.9788	
8月末日	725		2.0084	
9月末日	752		2.0781	
10月末日	780		2.1788	
11月末日	798		2.2364	

12月末日	782		2.2919
2026年 1月末日	768		2.2844
2月末日	762		2.3517

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）毎月分配型

2026年2月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第10特定期間 (2016年 7月25日)	8,192	8,313	0.6796	0.6896
第11特定期間 (2017年 1月25日)	8,832	8,921	0.7010	0.7080
第12特定期間 (2017年 7月25日)	10,412	10,510	0.7469	0.7539
第13特定期間 (2018年 1月25日)	11,461	11,572	0.7192	0.7262
第14特定期間 (2018年 7月25日)	10,693	10,779	0.6264	0.6314
第15特定期間 (2019年 1月25日)	8,798	8,876	0.5691	0.5741
第16特定期間 (2019年 7月25日)	9,519	9,602	0.5756	0.5806
第17特定期間 (2020年 1月27日)	9,741	9,826	0.5732	0.5782
第18特定期間 (2020年 7月27日)	6,786	6,802	0.4461	0.4471
第19特定期間 (2021年 1月25日)	6,041	6,053	0.4928	0.4938
第20特定期間 (2021年 7月26日)	5,606	5,616	0.5356	0.5366
第21特定期間 (2022年 1月25日)	4,452	4,460	0.5531	0.5541
第22特定期間 (2022年 7月25日)	4,286	4,293	0.5808	0.5818
第23特定期間 (2023年 1月25日)	4,050	4,057	0.5962	0.5972
第24特定期間 (2023年 7月25日)	4,523	4,530	0.6978	0.6988
第25特定期間 (2024年 1月25日)	4,550	4,556	0.7494	0.7504
第26特定期間 (2024年 7月25日)	4,595	4,600	0.7949	0.7959
第27特定期間 (2025年 1月27日)	4,279	4,284	0.7933	0.7943
第28特定期間 (2025年 7月25日)	4,027	4,032	0.8087	0.8097
第29特定期間 (2026年 1月26日)	4,463	4,467	0.9406	0.9416
2025年 2月末日	4,087		0.7684	
3月末日	4,040		0.7784	
4月末日	3,796		0.7421	
5月末日	3,889		0.7692	
6月末日	3,991		0.7927	
7月末日	4,031		0.8120	
8月末日	4,067		0.8233	
9月末日	4,138		0.8444	
10月末日	4,167		0.8739	
11月末日	4,227		0.8894	
12月末日	4,311		0.9017	
2026年 1月末日	4,367		0.9207	
2月末日	4,470		0.9448	

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）年2回決算型

2026年2月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第10計算期間 (2016年 7月25日)	995	996	1.3573	1.3583
第11計算期間 (2017年 1月25日)	1,221	1,221	1.4955	1.4965
第12計算期間 (2017年 7月25日)	2,603	2,605	1.6826	1.6836
第13計算期間 (2018年 1月25日)	1,553	1,554	1.7169	1.7179
第14計算期間 (2018年 7月25日)	1,186	1,186	1.5888	1.5898
第15計算期間 (2019年 1月25日)	1,124	1,125	1.5209	1.5219
第16計算期間 (2019年 7月25日)	1,482	1,483	1.6197	1.6207
第17計算期間 (2020年 1月27日)	1,385	1,386	1.7020	1.7030
第18計算期間 (2020年 7月27日)	975	976	1.3933	1.3943
第19計算期間 (2021年 1月25日)	879	880	1.5580	1.5590
第20計算期間 (2021年 7月26日)	888	889	1.7122	1.7132
第21計算期間 (2022年 1月25日)	844	845	1.7853	1.7863
第22計算期間 (2022年 7月25日)	805	805	1.8944	1.8954
第23計算期間 (2023年 1月25日)	865	865	1.9595	1.9605
第24計算期間 (2023年 7月25日)	1,165	1,166	2.3111	2.3121
第25計算期間 (2024年 1月25日)	1,468	1,469	2.5048	2.5058
第26計算期間 (2024年 7月25日)	1,680	1,680	2.6730	2.6740
第27計算期間 (2025年 1月27日)	1,563	1,563	2.6911	2.6921
第28計算期間 (2025年 7月25日)	1,510	1,511	2.7644	2.7654
第29計算期間 (2026年 1月26日)	1,499	1,499	3.2332	3.2342
2025年 2月末日	1,472		2.6099	
3月末日	1,493		2.6472	
4月末日	1,428		2.5285	
5月末日	1,472		2.6237	
6月末日	1,479		2.7073	
7月末日	1,517		2.7757	
8月末日	1,439		2.8175	
9月末日	1,489		2.8931	
10月末日	1,507		2.9961	
11月末日	1,514		3.0530	
12月末日	1,534		3.0988	
2026年 1月末日	1,442		3.1664	
2月末日	1,459		3.2524	

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型

2026年2月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第5特定期間 (2016年 7月25日)	201	203	0.6364	0.6424
第6特定期間 (2017年 1月25日)	1,238	1,246	0.6152	0.6192

第7特定期間	(2017年 7月25日)	2,513	2,527	0.7416	0.7456
第8特定期間	(2018年 1月25日)	2,046	2,057	0.7024	0.7064
第9特定期間	(2018年 7月25日)	1,954	1,965	0.6903	0.6943
第10特定期間	(2019年 1月25日)	1,686	1,696	0.6676	0.6716
第11特定期間	(2019年 7月25日)	1,896	1,908	0.6848	0.6888
第12特定期間	(2020年 1月27日)	2,066	2,077	0.7278	0.7318
第13特定期間	(2020年 7月27日)	1,684	1,690	0.5464	0.5484
第14特定期間	(2021年 1月25日)	1,479	1,484	0.6405	0.6425
第15特定期間	(2021年 7月26日)	1,230	1,233	0.6819	0.6839
第16特定期間	(2022年 1月25日)	1,151	1,154	0.7012	0.7032
第17特定期間	(2022年 7月25日)	1,114	1,117	0.7678	0.7698
第18特定期間	(2023年 1月25日)	1,094	1,096	0.8277	0.8297
第19特定期間	(2023年 7月25日)	1,346	1,349	1.0253	1.0273
第20特定期間	(2024年 1月25日)	1,354	1,357	1.1193	1.1213
第21特定期間	(2024年 7月25日)	1,311	1,313	1.1761	1.1781
第22特定期間	(2025年 1月27日)	1,168	1,170	1.1130	1.1150
第23特定期間	(2025年 7月25日)	1,124	1,126	1.1871	1.1891
第24特定期間	(2026年 1月26日)	1,235	1,237	1.4208	1.4228
	2025年 2月末日	1,044		1.0759	
	3月末日	1,068		1.0884	
	4月末日	1,034		1.0748	
	5月末日	1,056		1.1059	
	6月末日	1,063		1.1486	
	7月末日	1,142		1.1932	
	8月末日	1,136		1.2044	
	9月末日	1,173		1.2478	
	10月末日	1,140		1.2805	
	11月末日	1,151		1.3121	
	12月末日	1,187		1.3582	
	2026年 1月末日	1,220		1.3954	
	2月末日	1,248		1.4241	

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）年2回決算型

2026年2月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額（円）	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第5計算期間	(2016年 7月25日)	108	108	0.7677	0.7677
第6計算期間	(2017年 1月25日)	308	308	0.7710	0.7710
第7計算期間	(2017年 7月25日)	1,166	1,166	0.9581	0.9581
第8計算期間	(2018年 1月25日)	1,210	1,210	0.9388	0.9388
第9計算期間	(2018年 7月25日)	858	858	0.9564	0.9564
第10計算期間	(2019年 1月25日)	701	701	0.9592	0.9592
第11計算期間	(2019年 7月25日)	859	860	1.0162	1.0172

第12計算期間	(2020年 1月27日)	630	630	1.1182	1.1192
第13計算期間	(2020年 7月27日)	1,039	1,039	0.8659	0.8659
第14計算期間	(2021年 1月25日)	621	622	1.0348	1.0358
第15計算期間	(2021年 7月26日)	542	542	1.1216	1.1226
第16計算期間	(2022年 1月25日)	536	536	1.1709	1.1719
第17計算期間	(2022年 7月25日)	545	545	1.3073	1.3083
第18計算期間	(2023年 1月25日)	638	639	1.4335	1.4345
第19計算期間	(2023年 7月25日)	795	796	1.8017	1.8027
第20計算期間	(2024年 1月25日)	928	928	1.9813	1.9823
第21計算期間	(2024年 7月25日)	735	735	2.0992	2.1002
第22計算期間	(2025年 1月27日)	612	612	2.0048	2.0058
第23計算期間	(2025年 7月25日)	583	584	2.1637	2.1647
第24計算期間	(2026年 1月26日)	689	689	2.6153	2.6163
	2025年 2月末日	559		1.9406	
	3月末日	559		1.9671	
	4月末日	552		1.9482	
	5月末日	614		2.0085	
	6月末日	567		2.0902	
	7月末日	586		2.1752	
	8月末日	593		2.1992	
	9月末日	628		2.2827	
	10月末日	644		2.3467	
	11月末日	660		2.4089	
	12月末日	671		2.4974	
	2026年 1月末日	677		2.5688	
	2月末日	680		2.6252	

## 【分配の推移】

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型

	計算期間	1口当たりの分配金
第15特定期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	0.0420円
第16特定期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	0.0320円
第17特定期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	0.0300円
第18特定期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	0.0240円
第19特定期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	0.0170円
第20特定期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	0.0120円
第21特定期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	0.0120円
第22特定期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	0.0120円
第23特定期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	0.0120円
第24特定期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	0.0120円
第25特定期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	0.0120円
第26特定期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	0.0120円

第27特定期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	0.0120円
第28特定期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	0.0120円
第29特定期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	0.0120円
第30特定期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	0.0120円
第31特定期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	0.0120円
第32特定期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	0.0120円
第33特定期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	0.0120円
第34特定期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	0.0120円

各特定期間中の分配金単価の合計を表示しております。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型

	計算期間	1口当たりの分配金
第15計算期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	0.0010円
第16計算期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	0.0010円
第17計算期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	0.0010円
第18計算期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	0.0010円
第19計算期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	0.0010円
第20計算期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	0.0010円
第21計算期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	0.0010円
第22計算期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	0.0010円
第23計算期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	0.0010円
第24計算期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	0.0010円
第25計算期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	0.0010円
第26計算期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	0.0010円
第27計算期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	0.0010円
第28計算期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	0.0010円
第29計算期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	0.0010円
第30計算期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	0.0010円
第31計算期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	0.0010円
第32計算期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	0.0010円
第33計算期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	0.0010円
第34計算期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	0.0010円

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月分配型

	計算期間	1口当たりの分配金
第15特定期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	0.0420円
第16特定期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	0.0420円
第17特定期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	0.0420円
第18特定期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	0.0420円
第19特定期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	0.0420円
第20特定期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	0.0420円
第21特定期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	0.0420円
第22特定期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	0.0420円

第23特定期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	0.0420円
第24特定期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	0.0420円
第25特定期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	0.0420円
第26特定期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	0.0420円
第27特定期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	0.0420円
第28特定期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	0.0420円
第29特定期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	0.0420円
第30特定期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	0.0420円
第31特定期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	0.0420円
第32特定期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	0.0420円
第33特定期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	0.0420円
第34特定期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	0.0420円

各特定期間中の分配金単価の合計を表示しております。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）年2回決算型

	計算期間	1口当たりの分配金
第15計算期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	0.0010円
第16計算期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	0.0010円
第17計算期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	0.0010円
第18計算期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	0.0010円
第19計算期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	0.0010円
第20計算期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	0.0010円
第21計算期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	0.0010円
第22計算期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	0.0010円
第23計算期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	0.0010円
第24計算期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	0.0010円
第25計算期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	0.0010円
第26計算期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	0.0010円
第27計算期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	0.0010円
第28計算期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	0.0010円
第29計算期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	0.0010円
第30計算期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	0.0010円
第31計算期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	0.0010円
第32計算期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	0.0010円
第33計算期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	0.0010円
第34計算期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	0.0010円

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）毎月分配型

	計算期間	1口当たりの分配金
第15特定期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	0.0510円
第16特定期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	0.0320円
第17特定期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	0.0300円
第18特定期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	0.0270円

第19特定期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	0.0220円
第20特定期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	0.0120円
第21特定期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	0.0120円
第22特定期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	0.0120円
第23特定期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	0.0120円
第24特定期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	0.0120円
第25特定期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	0.0120円
第26特定期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	0.0120円
第27特定期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	0.0120円
第28特定期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	0.0120円
第29特定期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	0.0120円
第30特定期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	0.0120円
第31特定期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	0.0120円
第32特定期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	0.0120円
第33特定期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	0.0120円
第34特定期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	0.0120円

各特定期間中の分配金単価の合計を表示しております。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）年2回決算型

	計算期間	1口当たりの分配金
第15計算期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	0.0010円
第16計算期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	0.0010円
第17計算期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	0.0010円
第18計算期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	0.0010円
第19計算期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	0.0010円
第20計算期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	0.0010円
第21計算期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	0.0010円
第22計算期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	0.0010円
第23計算期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	0.0010円
第24計算期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	0.0010円
第25計算期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	0.0010円
第26計算期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	0.0010円
第27計算期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	0.0010円
第28計算期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	0.0010円
第29計算期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	0.0010円
第30計算期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	0.0010円
第31計算期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	0.0010円
第32計算期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	0.0010円
第33計算期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	0.0010円
第34計算期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	0.0010円

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型

	計算期間	1口当たりの分配金
--	------	-----------

第15特定期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	0.0510円
第16特定期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	0.0320円
第17特定期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	0.0300円
第18特定期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	0.0300円
第19特定期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	0.0280円
第20特定期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	0.0180円
第21特定期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	0.0180円
第22特定期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	0.0180円
第23特定期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	0.0130円
第24特定期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	0.0030円
第25特定期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	0.0030円
第26特定期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	0.0030円
第27特定期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	0.0030円
第28特定期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	0.0030円
第29特定期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	0.0030円
第30特定期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	0.0030円
第31特定期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	0.0030円
第32特定期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	0.0030円
第33特定期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	0.0030円
第34特定期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	0.0030円

各特定期間中の分配金単価の合計を表示しております。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型

	計算期間	1口当たりの分配金
第15計算期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	0.0010円
第16計算期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	0.0010円
第17計算期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	0.0010円
第18計算期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	0.0010円
第19計算期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	0.0010円
第20計算期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	0.0010円
第21計算期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	0.0010円
第22計算期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	0.0010円
第23計算期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	0.0010円
第24計算期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	0.0010円
第25計算期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	0.0010円
第26計算期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	0.0010円
第27計算期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	0.0010円
第28計算期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	0.0010円
第29計算期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	0.0010円
第30計算期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	0.0010円
第31計算期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	0.0010円
第32計算期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	0.0010円
第33計算期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	0.0010円

第34計算期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	0.0010円
---------	-------------------------	---------

## 野村米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース)毎月分配型

	計算期間	1口当たりの分配金
第15特定期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	0.0480円
第16特定期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	0.0330円
第17特定期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	0.0300円
第18特定期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	0.0300円
第19特定期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	0.0180円
第20特定期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	0.0060円
第21特定期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	0.0060円
第22特定期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	0.0060円
第23特定期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	0.0060円
第24特定期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	0.0060円
第25特定期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	0.0060円
第26特定期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	0.0055円
第27特定期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	0.0030円
第28特定期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	0.0030円
第29特定期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	0.0030円
第30特定期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	0.0030円
第31特定期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	0.0030円
第32特定期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	0.0030円
第33特定期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	0.0030円
第34特定期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	0.0030円

各特定期間中の分配金単価の合計を表示しております。

## 野村米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース)年2回決算型

	計算期間	1口当たりの分配金
第15計算期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	0.0010円
第16計算期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	0.0010円
第17計算期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	0.0010円
第18計算期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	0.0010円
第19計算期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	0.0010円
第20計算期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	0.0010円
第21計算期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	0.0010円
第22計算期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	0.0010円
第23計算期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	0.0010円
第24計算期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	0.0010円
第25計算期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	0.0010円
第26計算期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	0.0010円
第27計算期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	0.0010円
第28計算期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	0.0010円
第29計算期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	0.0010円

第30計算期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	0.0010円
第31計算期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	0.0010円
第32計算期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	0.0010円
第33計算期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	0.0010円
第34計算期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	0.0010円

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）毎月分配型

	計算期間	1口当たりの分配金
第10特定期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	0.0660円
第11特定期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	0.0450円
第12特定期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	0.0420円
第13特定期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	0.0420円
第14特定期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	0.0400円
第15特定期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	0.0300円
第16特定期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	0.0300円
第17特定期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	0.0300円
第18特定期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	0.0220円
第19特定期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	0.0060円
第20特定期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	0.0060円
第21特定期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	0.0060円
第22特定期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	0.0060円
第23特定期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	0.0060円
第24特定期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	0.0060円
第25特定期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	0.0060円
第26特定期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	0.0060円
第27特定期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	0.0060円
第28特定期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	0.0060円
第29特定期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	0.0060円

各特定期間中の分配金単価の合計を表示しております。

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）年2回決算型

	計算期間	1口当たりの分配金
第10計算期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	0.0010円
第11計算期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	0.0010円
第12計算期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	0.0010円
第13計算期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	0.0010円
第14計算期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	0.0010円
第15計算期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	0.0010円
第16計算期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	0.0010円
第17計算期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	0.0010円
第18計算期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	0.0010円
第19計算期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	0.0010円
第20計算期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	0.0010円

第21計算期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	0.0010円
第22計算期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	0.0010円
第23計算期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	0.0010円
第24計算期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	0.0010円
第25計算期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	0.0010円
第26計算期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	0.0010円
第27計算期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	0.0010円
第28計算期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	0.0010円
第29計算期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	0.0010円

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコベソコース）毎月分配型

	計算期間	1口当たりの分配金
第5特定期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	0.0360円
第6特定期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	0.0260円
第7特定期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	0.0240円
第8特定期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	0.0240円
第9特定期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	0.0240円
第10特定期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	0.0240円
第11特定期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	0.0240円
第12特定期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	0.0240円
第13特定期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	0.0200円
第14特定期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	0.0120円
第15特定期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	0.0120円
第16特定期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	0.0120円
第17特定期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	0.0120円
第18特定期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	0.0120円
第19特定期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	0.0120円
第20特定期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	0.0120円
第21特定期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	0.0120円
第22特定期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	0.0120円
第23特定期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	0.0120円
第24特定期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	0.0120円

各特定期間中の分配金単価の合計を表示しております。

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコベソコース）年2回決算型

	計算期間	1口当たりの分配金
第5計算期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	0.0000円
第6計算期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	0.0000円
第7計算期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	0.0000円
第8計算期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	0.0000円
第9計算期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	0.0000円
第10計算期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	0.0000円
第11計算期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	0.0010円

第12計算期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	0.0010円
第13計算期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	0.0000円
第14計算期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	0.0010円
第15計算期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	0.0010円
第16計算期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	0.0010円
第17計算期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	0.0010円
第18計算期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	0.0010円
第19計算期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	0.0010円
第20計算期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	0.0010円
第21計算期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	0.0010円
第22計算期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	0.0010円
第23計算期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	0.0010円
第24計算期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	0.0010円

## 【収益率の推移】

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型

	計算期間	収益率
第15特定期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	12.8%
第16特定期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	3.5%
第17特定期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	2.7%
第18特定期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	0.5%
第19特定期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	1.6%
第20特定期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	1.7%
第21特定期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	3.7%
第22特定期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	2.1%
第23特定期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	4.2%
第24特定期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	7.6%
第25特定期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	2.7%
第26特定期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	0.7%
第27特定期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	10.3%
第28特定期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	0.5%
第29特定期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	0.9%
第30特定期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	1.5%
第31特定期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	0.9%
第32特定期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	0.5%
第33特定期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	0.8%
第34特定期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	1.6%

各特定期間中の分配金単価の合計を加算して算出しております。

各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額（期間中の分配金を加算した額）から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額（分配前の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型

	計算期間	収益率
第15計算期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	13.0%
第16計算期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	3.6%
第17計算期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	2.8%
第18計算期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	0.5%
第19計算期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	1.6%
第20計算期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	1.6%
第21計算期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	3.7%
第22計算期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	2.2%
第23計算期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	4.4%
第24計算期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	7.7%
第25計算期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	2.7%
第26計算期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	0.7%
第27計算期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	10.4%
第28計算期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	0.4%
第29計算期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	0.9%
第30計算期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	1.6%
第31計算期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	0.9%
第32計算期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	0.5%
第33計算期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	0.8%
第34計算期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	1.7%

各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月分配型

	計算期間	収益率
第15特定期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	2.4%
第16特定期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	10.5%
第17特定期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	1.9%
第18特定期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	0.6%
第19特定期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	0.5%
第20特定期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	1.8%
第21特定期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	4.0%
第22特定期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	4.6%
第23特定期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	6.0%
第24特定期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	4.8%
第25特定期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	8.5%
第26特定期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	3.2%
第27特定期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	9.1%
第28特定期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	2.6%
第29特定期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	10.1%
第30特定期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	9.1%
第31特定期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	8.3%

第32特定期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	3.0%
第33特定期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	3.0%
第34特定期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	12.1%

各特定期間中の分配金単価の合計を加算して算出しております。

各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額（期間中の分配金を加算した額）から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）年2回決算型

	計算期間	収益率
第15計算期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	2.5%
第16計算期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	10.8%
第17計算期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	2.0%
第18計算期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	0.6%
第19計算期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	0.7%
第20計算期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	1.8%
第21計算期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	4.0%
第22計算期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	4.7%
第23計算期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	5.8%
第24計算期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	5.0%
第25計算期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	8.6%
第26計算期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	3.2%
第27計算期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	9.2%
第28計算期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	2.8%
第29計算期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	10.5%
第30計算期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	9.3%
第31計算期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	8.5%
第32計算期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	3.2%
第33計算期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	3.0%
第34計算期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	12.4%

各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）毎月分配型

	計算期間	収益率
第15特定期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	8.9%
第16特定期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	12.2%
第17特定期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	6.5%
第18特定期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	1.7%
第19特定期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	6.8%
第20特定期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	5.2%
第21特定期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	1.6%
第22特定期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	2.1%
第23特定期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	4.3%

第24特定期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	12.9%
第25特定期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	2.8%
第26特定期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	1.2%
第27特定期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	4.5%
第28特定期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	1.9%
第29特定期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	4.8%
第30特定期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	5.9%
第31特定期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	8.0%
第32特定期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	1.5%
第33特定期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	1.0%
第34特定期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	15.3%

各特定期間中の分配金単価の合計を加算して算出しております。

各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額（期間中の分配金を加算した額）から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）年2回決算型

	計算期間	収益率
第15計算期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	9.0%
第16計算期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	12.6%
第17計算期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	6.7%
第18計算期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	1.7%
第19計算期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	6.8%
第20計算期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	5.3%
第21計算期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	1.6%
第22計算期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	2.2%
第23計算期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	4.1%
第24計算期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	13.2%
第25計算期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	2.7%
第26計算期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	1.1%
第27計算期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	3.3%
第28計算期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	1.9%
第29計算期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	5.2%
第30計算期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	5.9%
第31計算期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	8.1%
第32計算期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	1.6%
第33計算期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	1.1%
第34計算期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	15.4%

各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型

	計算期間	収益率
第15特定期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	32.8%

第16特定期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	18.8%
第17特定期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	6.6%
第18特定期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	0.3%
第19特定期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	11.2%
第20特定期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	0.7%
第21特定期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	4.7%
第22特定期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	3.9%
第23特定期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	25.4%
第24特定期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	2.4%
第25特定期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	11.4%
第26特定期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	1.9%
第27特定期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	13.4%
第28特定期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	6.3%
第29特定期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	23.8%
第30特定期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	8.3%
第31特定期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	1.2%
第32特定期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	0.8%
第33特定期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	7.0%
第34特定期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	21.7%

各特定期間中の分配金単価の合計を加算して算出しております。

各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額（期間中の分配金を加算した額）から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型

	計算期間	収益率
第15計算期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	34.2%
第16計算期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	19.6%
第17計算期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	6.8%
第18計算期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	0.3%
第19計算期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	11.5%
第20計算期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	0.8%
第21計算期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	4.9%
第22計算期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	3.8%
第23計算期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	25.5%
第24計算期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	2.6%
第25計算期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	11.7%
第26計算期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	1.9%
第27計算期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	13.5%
第28計算期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	6.2%
第29計算期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	24.0%
第30計算期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	8.3%
第31計算期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	1.3%
第32計算期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	0.8%

第33計算期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	7.0%
第34計算期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	21.8%

各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）毎月分配型

	計算期間	収益率
第15特定期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	6.1%
第16特定期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	5.5%
第17特定期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	12.4%
第18特定期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	0.8%
第19特定期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	14.3%
第20特定期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	3.5%
第21特定期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	6.6%
第22特定期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	7.9%
第23特定期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	13.8%
第24特定期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	4.6%
第25特定期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	1.8%
第26特定期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	23.5%
第27特定期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	1.6%
第28特定期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	6.4%
第29特定期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	4.4%
第30特定期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	12.5%
第31特定期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	20.6%
第32特定期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	14.6%
第33特定期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	1.7%
第34特定期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	21.2%

各特定期間中の分配金単価の合計を加算して算出してあります。

各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額（期間中の分配金を加算した額）から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）年2回決算型

	計算期間	収益率
第15計算期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	5.6%
第16計算期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	5.6%
第17計算期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	12.7%
第18計算期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	0.9%
第19計算期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	14.6%
第20計算期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	3.3%
第21計算期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	6.7%
第22計算期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	8.0%
第23計算期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	13.7%
第24計算期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	4.9%

第25計算期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	1.9%
第26計算期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	24.2%
第27計算期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	1.6%
第28計算期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	6.5%
第29計算期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	4.5%
第30計算期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	12.6%
第31計算期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	20.7%
第32計算期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	14.7%
第33計算期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	1.8%
第34計算期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	21.1%

各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）毎月分配型

	計算期間	収益率
第10特定期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	12.9%
第11特定期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	9.8%
第12特定期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	12.5%
第13特定期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	1.9%
第14特定期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	7.3%
第15特定期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	4.4%
第16特定期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	6.4%
第17特定期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	4.8%
第18特定期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	18.3%
第19特定期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	11.8%
第20特定期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	9.9%
第21特定期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	4.4%
第22特定期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	6.1%
第23特定期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	3.7%
第24特定期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	18.0%
第25特定期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	8.3%
第26特定期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	6.9%
第27特定期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	0.6%
第28特定期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	2.7%
第29特定期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	17.1%

各特定期間中の分配金単価の合計を加算して算出しております。

各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額（期間中の分配金を加算した額）から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）年2回決算型

	計算期間	収益率
第10計算期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	13.4%
第11計算期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	10.3%

第12計算期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	12.6%
第13計算期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	2.1%
第14計算期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	7.4%
第15計算期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	4.2%
第16計算期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	6.6%
第17計算期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	5.1%
第18計算期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	18.1%
第19計算期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	11.9%
第20計算期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	10.0%
第21計算期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	4.3%
第22計算期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	6.2%
第23計算期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	3.5%
第24計算期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	18.0%
第25計算期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	8.4%
第26計算期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	6.8%
第27計算期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	0.7%
第28計算期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	2.8%
第29計算期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	17.0%

各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型

	計算期間	収益率
第5特定期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	3.5%
第6特定期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	0.8%
第7特定期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	24.4%
第8特定期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	2.0%
第9特定期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	1.7%
第10特定期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	0.2%
第11特定期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	6.2%
第12特定期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	9.8%
第13特定期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	22.2%
第14特定期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	19.4%
第15特定期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	8.3%
第16特定期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	4.6%
第17特定期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	11.2%
第18特定期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	9.4%
第19特定期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	25.3%
第20特定期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	10.3%
第21特定期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	6.1%
第22特定期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	4.3%
第23特定期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	7.7%
第24特定期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	20.7%

各特定期間中の分配金単価の合計を加算して算出しております。

各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額（期間中の分配金を加算した額）から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）年2回決算型

	計算期間	収益率
第5計算期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	3.4%
第6計算期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	0.4%
第7計算期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	24.3%
第8計算期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	2.0%
第9計算期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	1.9%
第10計算期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	0.3%
第11計算期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	6.0%
第12計算期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	10.1%
第13計算期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	22.6%
第14計算期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	19.6%
第15計算期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	8.5%
第16計算期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	4.5%
第17計算期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	11.7%
第18計算期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	9.7%
第19計算期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	25.8%
第20計算期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	10.0%
第21計算期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	6.0%
第22計算期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	4.4%
第23計算期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	8.0%
第24計算期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	20.9%

各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

#### （４）【設定及び解約の実績】

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第15特定期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	22,079,431,769	1,293,898,134	37,816,587,921
第16特定期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	26,816,326,562	5,087,475,426	59,545,439,057
第17特定期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	10,349,266,445	11,612,864,566	58,281,840,936
第18特定期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	4,518,401,433	10,274,913,250	52,525,329,119
第19特定期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	539,264,717	11,647,460,123	41,417,133,713
第20特定期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	614,871,348	8,760,406,116	33,271,598,945
第21特定期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	1,306,557,166	5,524,653,581	29,053,502,530
第22特定期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	1,144,370,527	4,678,288,453	25,519,584,604
第23特定期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	4,650,225,533	3,011,612,350	27,158,197,787
第24特定期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	1,924,925,393	3,524,916,588	25,558,206,592
第25特定期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	599,638,828	3,378,216,649	22,779,628,771

第26特定期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	125,054,498	1,757,674,705	21,147,008,564
第27特定期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	1,798,708,924	1,333,836,068	21,611,881,420
第28特定期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	6,827,891,045	1,538,948,994	26,900,823,471
第29特定期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	2,383,245,555	1,997,247,614	27,286,821,412
第30特定期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	797,939,100	3,346,347,882	24,738,412,630
第31特定期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	764,682,819	3,988,403,320	21,514,692,129
第32特定期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	320,501,602	2,661,091,643	19,174,102,088
第33特定期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	198,642,605	2,421,848,263	16,950,896,430
第34特定期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	92,695,643	1,854,729,144	15,188,862,929

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第15計算期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	2,337,303,727	177,477,743	3,033,740,939
第16計算期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	2,898,180,457	878,887,936	5,053,033,460
第17計算期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	1,312,616,997	1,233,903,329	5,131,747,128
第18計算期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	277,803,194	971,613,619	4,437,936,703
第19計算期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	20,051,517	970,117,499	3,487,870,721
第20計算期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	262,932,668	646,359,195	3,104,444,194
第21計算期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	723,166,370	481,218,131	3,346,392,433
第22計算期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	488,026,350	645,599,593	3,188,819,190
第23計算期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	2,867,963,216	321,314,445	5,735,467,961
第24計算期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	220,989,402	2,057,006,588	3,899,450,775
第25計算期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	134,493,171	647,866,420	3,386,077,526
第26計算期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	77,633,773	278,838,697	3,184,872,602
第27計算期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	678,896,150	261,550,925	3,602,217,827
第28計算期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	5,770,005,897	359,999,831	9,012,223,893
第29計算期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	1,802,138,319	1,098,545,509	9,715,816,703
第30計算期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	403,900,891	1,314,810,063	8,804,907,531
第31計算期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	125,024,307	1,982,565,943	6,947,365,895
第32計算期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	67,960,402	1,536,976,470	5,478,349,827
第33計算期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	38,894,347	954,908,314	4,562,335,860
第34計算期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	147,961,408	674,319,460	4,035,977,808

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月分配型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第15特定期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	3,583,407,395	1,386,917,831	14,132,270,839
第16特定期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	6,736,475,965	3,249,160,953	17,619,585,851
第17特定期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	4,590,320,889	2,630,420,146	19,579,486,594
第18特定期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	2,436,809,320	3,656,228,946	18,360,066,968
第19特定期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	2,674,657,483	3,144,265,166	17,890,459,285
第20特定期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	6,435,985,087	2,208,889,682	22,117,554,690

第21特定期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	11,969,155,868	2,662,994,180	31,423,716,378
第22特定期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	13,453,525,872	3,925,904,902	40,951,337,348
第23特定期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	18,721,888,716	4,837,237,814	54,835,988,250
第24特定期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	5,858,261,271	6,594,187,685	54,100,061,836
第25特定期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	3,517,159,974	8,596,095,924	49,021,125,886
第26特定期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	6,223,152,327	3,856,043,848	51,388,234,365
第27特定期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	4,368,187,040	2,707,072,572	53,049,348,833
第28特定期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	26,892,875,108	2,235,600,572	77,706,623,369
第29特定期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	25,783,742,182	2,867,292,471	100,623,073,080
第30特定期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	22,616,583,180	5,337,269,775	117,902,386,485
第31特定期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	15,259,668,091	8,164,362,678	124,997,691,898
第32特定期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	9,403,433,682	8,513,970,696	125,887,154,884
第33特定期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	8,496,099,550	9,945,577,684	124,437,676,750
第34特定期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	8,374,519,748	8,128,846,710	124,683,349,788

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）年2回決算型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第15計算期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	641,216,442	398,518,462	2,209,849,073
第16計算期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	792,184,682	753,538,120	2,248,495,635
第17計算期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	561,875,048	402,661,862	2,407,708,821
第18計算期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	262,473,979	602,778,379	2,067,404,421
第19計算期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	160,513,698	323,860,940	1,904,057,179
第20計算期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	523,419,085	326,646,261	2,100,830,003
第21計算期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	722,339,218	286,472,533	2,536,696,688
第22計算期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	833,661,273	389,712,389	2,980,645,572
第23計算期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	2,561,754,215	633,139,933	4,909,259,854
第24計算期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	640,439,789	780,731,352	4,768,968,291
第25計算期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	180,901,183	890,898,015	4,058,971,459
第26計算期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	112,671,034	632,807,867	3,538,834,626
第27計算期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	1,116,413,940	488,647,376	4,166,601,190
第28計算期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	3,600,126,704	383,714,427	7,383,013,467
第29計算期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	2,764,445,162	1,277,171,686	8,870,286,943
第30計算期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	1,673,714,028	817,206,360	9,726,794,611
第31計算期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	1,212,101,578	1,383,380,028	9,555,516,161
第32計算期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	633,460,581	1,106,000,627	9,082,976,115
第33計算期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	417,478,735	1,194,361,486	8,306,093,364
第34計算期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	1,433,524,058	1,012,161,024	8,727,456,398

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）毎月分配型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第15特定期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	11,708,713,385	12,054,747,045	121,513,795,264

第16特定期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	9,985,555,905	14,492,998,153	117,006,353,016
第17特定期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	5,196,490,668	11,668,889,775	110,533,953,909
第18特定期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	2,940,020,220	12,389,609,289	101,084,364,840
第19特定期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	1,711,701,381	10,571,615,068	92,224,451,153
第20特定期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	533,737,179	13,734,978,993	79,023,209,339
第21特定期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	899,627,377	9,554,908,155	70,367,928,561
第22特定期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	347,167,879	9,878,233,061	60,836,863,379
第23特定期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	429,079,095	6,099,070,221	55,166,872,253
第24特定期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	554,248,701	5,552,484,429	50,168,636,525
第25特定期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	174,992,355	4,779,985,726	45,563,643,154
第26特定期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	252,026,863	3,331,334,542	42,484,335,475
第27特定期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	329,740,911	2,393,695,350	40,420,381,036
第28特定期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	552,073,694	2,268,891,269	38,703,563,461
第29特定期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	420,863,189	1,601,158,913	37,523,267,737
第30特定期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	330,468,957	2,843,745,009	35,009,991,685
第31特定期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	293,663,311	2,026,357,129	33,277,297,867
第32特定期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	181,922,418	1,677,379,237	31,781,841,048
第33特定期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	207,024,440	1,317,801,851	30,671,063,637
第34特定期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	144,928,146	1,670,167,563	29,145,824,220

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）年2回決算型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第15計算期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	179,043,440	31,410,745	700,330,798
第16計算期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	163,971,142	82,132,186	782,169,754
第17計算期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	94,267,886	205,580,903	670,856,737
第18計算期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	25,165,354	140,313,526	555,708,565
第19計算期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	16,230,552	94,905,233	477,033,884
第20計算期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	4,887,081	46,073,506	435,847,459
第21計算期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	30,924,425	45,714,417	421,057,467
第22計算期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	20,182,979	76,621,452	364,618,994
第23計算期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	15,687,437	16,699,628	363,606,803
第24計算期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	4,700,905	81,220,707	287,087,001
第25計算期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	23,846,098	29,979,252	280,953,847
第26計算期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	692,463	16,315,928	265,330,382
第27計算期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	457,170,609	37,502,926	684,998,065
第28計算期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	40,918,296	3,978,017	721,938,344
第29計算期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	30,102,613	434,740,966	317,299,991
第30計算期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	12,169,012	16,991,102	312,477,901
第31計算期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	9,726,742	29,155,265	293,049,378
第32計算期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	7,353,896	17,885,765	282,517,509
第33計算期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	2,565,035	25,821,438	259,261,106
第34計算期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	27,261,091	16,115,765	270,406,432

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第15特定期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	64,266,424,727	19,180,362,771	241,596,935,601
第16特定期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	144,362,988,316	36,924,333,338	349,035,590,579
第17特定期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	70,653,543,816	46,749,554,739	372,939,579,656
第18特定期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	27,763,218,850	39,121,761,285	361,581,037,221
第19特定期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	12,635,076,719	51,347,838,628	322,868,275,312
第20特定期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	4,902,139,910	51,277,236,121	276,493,179,101
第21特定期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	12,008,635,782	32,594,044,610	255,907,770,273
第22特定期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	6,130,898,168	42,277,670,221	219,760,998,220
第23特定期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	4,642,877,530	42,612,464,658	181,791,411,092
第24特定期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	510,758,049	35,584,880,095	146,717,289,046
第25特定期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	1,261,633,469	19,590,472,739	128,388,449,776
第26特定期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	802,625,280	18,420,286,493	110,770,788,563
第27特定期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	898,405,908	10,315,888,417	101,353,306,054
第28特定期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	800,802,655	7,301,496,170	94,852,612,539
第29特定期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	251,380,936	7,901,607,916	87,202,385,559
第30特定期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	293,059,625	7,012,545,559	80,482,899,625
第31特定期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	181,472,346	5,929,223,797	74,735,148,174
第32特定期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	142,392,610	5,578,608,374	69,298,932,410
第33特定期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	165,368,701	4,539,139,627	64,925,161,484
第34特定期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	340,745,507	3,970,979,205	61,294,927,786

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第15計算期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	1,547,667,107	76,857,706	2,729,653,127
第16計算期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	3,942,116,647	1,415,277,726	5,256,492,048
第17計算期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	1,810,954,110	1,230,983,653	5,836,462,505
第18計算期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	451,195,315	1,489,903,931	4,797,753,889
第19計算期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	115,005,724	1,047,540,827	3,865,218,786
第20計算期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	34,469,284	690,491,100	3,209,196,970
第21計算期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	41,982,583	409,111,288	2,842,068,265
第22計算期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	124,504,076	527,559,616	2,439,012,725
第23計算期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	303,357,924	385,048,629	2,357,322,020
第24計算期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	4,593,725	695,929,718	1,665,986,027
第25計算期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	3,101,602	460,988,897	1,208,098,732
第26計算期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	6,852,675	227,753,132	987,198,275
第27計算期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	4,470,929	150,751,813	840,917,391
第28計算期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	42,321,809	87,431,507	795,807,693
第29計算期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	5,855,536	87,804,361	713,858,868

第30計算期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	30,518,857	63,741,072	680,636,653
第31計算期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	38,884,691	68,559,351	650,961,993
第32計算期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	1,182,364	41,403,399	610,740,958
第33計算期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	13,712,800	41,859,442	582,594,316
第34計算期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	8,650,836	53,411,219	537,833,933

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）毎月分配型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第15特定期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	1,067,886,232	1,207,781,495	11,989,749,326
第16特定期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	1,795,397,457	2,583,357,675	11,201,789,108
第17特定期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	32,376,930,370	1,262,384,336	42,316,335,142
第18特定期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	46,037,375,388	4,193,409,993	84,160,300,537
第19特定期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	8,115,428,393	14,541,110,257	77,734,618,673
第20特定期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	1,031,984,082	22,326,339,483	56,440,263,272
第21特定期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	1,412,711,312	12,292,942,661	45,560,031,923
第22特定期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	500,507,805	12,098,122,823	33,962,416,905
第23特定期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	333,788,853	8,221,549,837	26,074,655,921
第24特定期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	153,290,266	7,980,084,233	18,247,861,954
第25特定期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	219,553,567	2,967,509,928	15,499,905,593
第26特定期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	165,626,179	4,366,072,436	11,299,459,336
第27特定期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	71,464,830	1,076,579,010	10,294,345,156
第28特定期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	67,321,501	1,009,816,317	9,351,850,340
第29特定期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	71,796,971	1,370,805,967	8,052,841,344
第30特定期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	48,836,706	713,519,518	7,388,158,532
第31特定期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	233,688,825	760,748,921	6,861,098,436
第32特定期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	193,098,077	628,882,031	6,425,314,482
第33特定期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	110,263,622	404,875,378	6,130,702,726
第34特定期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	21,776,161	893,409,120	5,259,069,767

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）年2回決算型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第15計算期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	57,836,233	20,546,822	200,593,317
第16計算期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	107,817,111	51,030,319	257,380,109
第17計算期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	1,802,383,954	82,878,346	1,976,885,717
第18計算期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	1,837,961,033	282,997,274	3,531,849,476
第19計算期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	126,723,192	637,414,974	3,021,157,694
第20計算期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	147,996,123	622,562,332	2,546,591,485
第21計算期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	381,367,532	427,438,300	2,500,520,717
第22計算期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	152,605,326	867,700,917	1,785,425,126
第23計算期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	95,036,150	371,807,510	1,508,653,766
第24計算期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	3,243,572	629,940,858	881,956,480

第25計算期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	1,796,292	128,021,119	755,731,653
第26計算期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	1,468,853	240,879,836	516,320,670
第27計算期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	1,769,655	60,467,921	457,622,404
第28計算期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	25,679,679	50,115,294	433,186,789
第29計算期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	23,019,203	42,470,485	413,735,507
第30計算期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	3,858,549	43,409,099	374,184,957
第31計算期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	108,998,831	39,750,316	443,433,472
第32計算期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	27,385,259	108,186,343	362,632,388
第33計算期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	22,506,462	41,007,948	344,130,902
第34計算期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	45,698,074	51,743,263	338,085,713

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）毎月分配型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第10特定期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	2,479,479,445	1,639,801,284	12,054,565,524
第11特定期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	2,429,127,128	1,882,986,889	12,600,705,763
第12特定期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	3,944,002,901	2,604,235,332	13,940,473,332
第13特定期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	4,119,317,836	2,124,155,477	15,935,635,691
第14特定期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	2,720,515,884	1,584,332,390	17,071,819,185
第15特定期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	818,335,273	2,429,900,779	15,460,253,679
第16特定期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	2,657,776,505	1,578,766,274	16,539,263,910
第17特定期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	3,092,823,463	2,635,378,432	16,996,708,941
第18特定期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	949,672,280	2,731,955,097	15,214,426,124
第19特定期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	45,136,840	2,999,126,331	12,260,436,633
第20特定期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	34,558,632	1,827,509,123	10,467,486,142
第21特定期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	24,419,869	2,441,928,205	8,049,977,806
第22特定期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	25,643,520	695,650,502	7,379,970,824
第23特定期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	65,928,997	652,209,979	6,793,689,842
第24特定期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	55,357,091	365,717,854	6,483,329,079
第25特定期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	34,222,200	445,657,763	6,071,893,516
第26特定期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	72,556,118	363,849,155	5,780,600,479
第27特定期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	77,256,774	463,222,224	5,394,635,029
第28特定期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	11,899,848	426,320,914	4,980,213,963
第29特定期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	85,309,059	320,585,700	4,744,937,322

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）年2回決算型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第10計算期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	149,269,615	272,444,406	733,777,064
第11計算期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	169,340,343	86,639,473	816,477,934
第12計算期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	861,479,234	130,471,467	1,547,485,701
第13計算期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	373,255,132	1,015,818,933	904,921,900
第14計算期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	19,075,830	177,461,416	746,536,314

第15計算期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	70,512,318	77,626,948	739,421,684
第16計算期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	337,823,092	161,701,379	915,543,397
第17計算期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	116,154,957	217,409,038	814,289,316
第18計算期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	94,983,638	209,105,752	700,167,202
第19計算期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	1,920,121	137,470,643	564,616,680
第20計算期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	1,202,580	46,805,007	519,014,253
第21計算期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	1,059,504	46,835,573	473,238,184
第22計算期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	19,523,049	67,723,365	425,037,868
第23計算期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	57,491,331	41,038,417	441,490,782
第24計算期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	130,668,173	67,758,584	504,400,371
第25計算期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	134,002,571	52,124,612	586,278,330
第26計算期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	121,045,298	78,787,539	628,536,089
第27計算期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	81,263,015	128,887,869	580,911,235
第28計算期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	8,317,548	42,817,697	546,411,086
第29計算期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	31,292,869	114,069,347	463,634,608

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第5特定期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	184,099,522	22,684,233	317,271,355
第6特定期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	2,066,449,652	370,790,840	2,012,930,167
第7特定期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	2,432,982,074	1,056,161,834	3,389,750,407
第8特定期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	627,045,255	1,103,718,303	2,913,077,359
第9特定期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	381,262,380	463,711,446	2,830,628,293
第10特定期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	149,687,239	454,720,726	2,525,594,806
第11特定期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	979,718,604	734,986,694	2,770,326,716
第12特定期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	597,073,660	527,979,490	2,839,420,886
第13特定期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	995,873,934	752,834,431	3,082,460,389
第14特定期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	55,938,101	827,617,848	2,310,780,642
第15特定期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	8,323,536	514,961,383	1,804,142,795
第16特定期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	10,599,057	172,621,030	1,642,120,822
第17特定期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	5,696,879	196,841,417	1,450,976,284
第18特定期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	80,511,823	209,741,584	1,321,746,523
第19特定期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	113,008,418	121,576,553	1,313,178,388
第20特定期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	36,202,953	139,010,912	1,210,370,429
第21特定期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	23,728,754	119,139,512	1,114,959,671
第22特定期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	55,693,262	121,034,485	1,049,618,448
第23特定期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	55,417,581	157,717,128	947,318,901
第24特定期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	51,831,993	129,240,785	869,910,109

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

#### 野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）年2回決算型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
--	------	------	------	--------

第5計算期間	2016年 1月26日～2016年 7月25日	52,130,765	6,630,609	141,650,639
第6計算期間	2016年 7月26日～2017年 1月25日	280,589,036	22,718,713	399,520,962
第7計算期間	2017年 1月26日～2017年 7月25日	996,930,695	178,406,500	1,218,045,157
第8計算期間	2017年 7月26日～2018年 1月25日	401,297,728	329,864,937	1,289,477,948
第9計算期間	2018年 1月26日～2018年 7月25日	50,948,371	442,452,350	897,973,969
第10計算期間	2018年 7月26日～2019年 1月25日	19,961,273	186,894,457	731,040,785
第11計算期間	2019年 1月26日～2019年 7月25日	264,534,438	150,025,275	845,549,948
第12計算期間	2019年 7月26日～2020年 1月27日	63,471,166	345,286,096	563,735,018
第13計算期間	2020年 1月28日～2020年 7月27日	1,063,067,944	425,882,957	1,200,920,005
第14計算期間	2020年 7月28日～2021年 1月25日	57,351,559	657,660,942	600,610,622
第15計算期間	2021年 1月26日～2021年 7月26日	53,182,466	170,480,693	483,312,395
第16計算期間	2021年 7月27日～2022年 1月25日	11,946,081	37,239,448	458,019,028
第17計算期間	2022年 1月26日～2022年 7月25日	22,684,410	63,604,719	417,098,719
第18計算期間	2022年 7月26日～2023年 1月25日	82,320,778	53,695,313	445,724,184
第19計算期間	2023年 1月26日～2023年 7月25日	77,424,183	81,520,613	441,627,754
第20計算期間	2023年 7月26日～2024年 1月25日	68,487,781	41,480,812	468,634,723
第21計算期間	2024年 1月26日～2024年 7月25日	7,295,864	125,747,682	350,182,905
第22計算期間	2024年 7月26日～2025年 1月27日	13,147,417	57,840,029	305,490,293
第23計算期間	2025年 1月28日～2025年 7月25日	30,272,741	65,886,631	269,876,403
第24計算期間	2025年 7月26日～2026年 1月26日	7,073,838	13,363,672	263,586,569

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

#### 参考情報

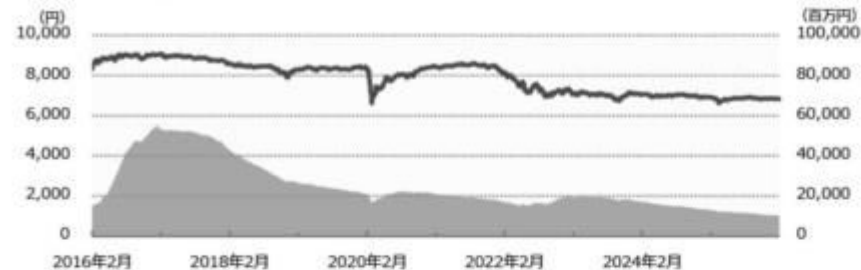


# 運用実績 (2026年2月27日現在)

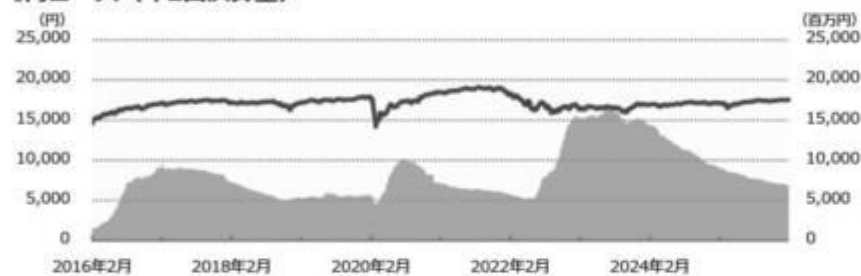
## ■ 基準価額・純資産の推移 (日次)

— 基準価額（分配後、1万円あたり）（左軸） — 純資産総額（右軸）

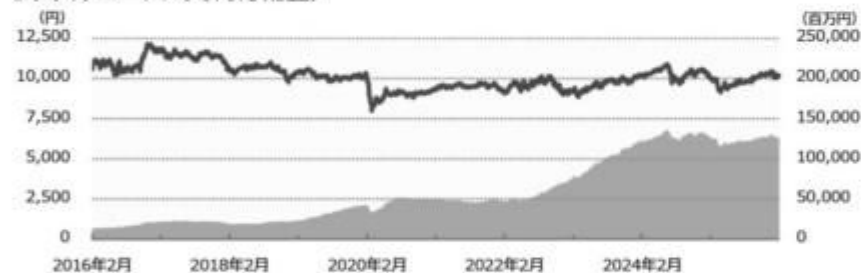
### ■円コース（毎月分配型）



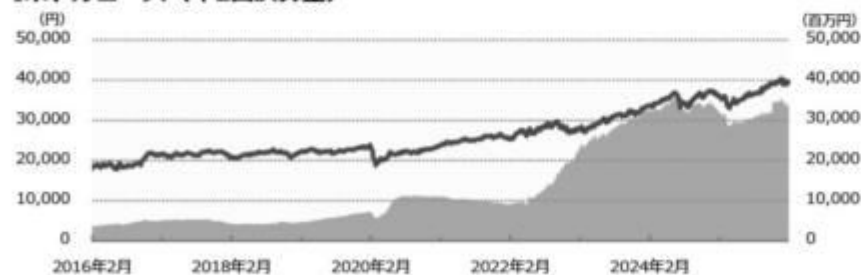
### ■円コース（年2回決算型）



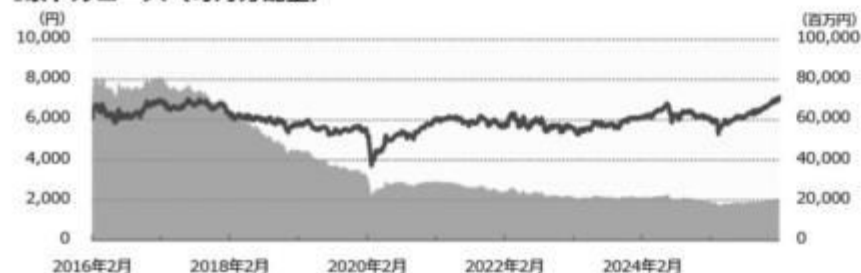
### ■米ドルコース（毎月分配型）



### ■米ドルコース（年2回決算型）



### ■豪ドルコース（毎月分配型）



## ■ 分配の推移

（1万円あたり、課税前）

### ■円コース（毎月分配型）

2026年2月	20 円
2026年1月	20 円
2025年12月	20 円
2025年11月	20 円
2025年10月	20 円
直近1年間累計	240 円
設定来累計	9,160 円

### ■円コース（年2回決算型）

2026年1月	10 円
2025年7月	10 円
2025年1月	10 円
2024年7月	10 円
2024年1月	10 円
設定来累計	340 円

### ■米ドルコース（毎月分配型）

2026年2月	70 円
2026年1月	70 円
2025年12月	70 円
2025年11月	70 円
2025年10月	70 円
直近1年間累計	840 円
設定来累計	14,360 円

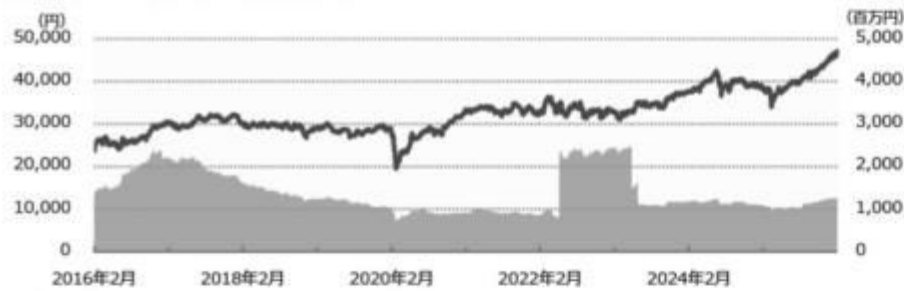
### ■米ドルコース（年2回決算型）

2026年1月	10 円
2025年7月	10 円
2025年1月	10 円
2024年7月	10 円
2024年1月	10 円
設定来累計	340 円

### ■豪ドルコース（毎月分配型）

2026年2月	20 円
2026年1月	20 円
2025年12月	20 円
2025年11月	20 円
2025年10月	20 円
直近1年間累計	240 円
設定来累計	19,010 円

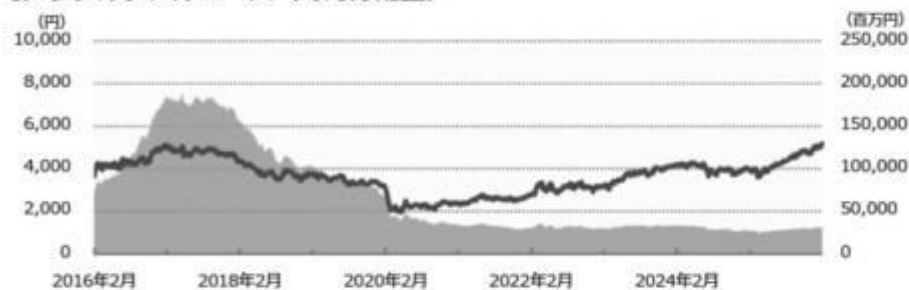
## ■豪ドルコース（年2回決算型）



## ■豪ドルコース（年2回決算型）

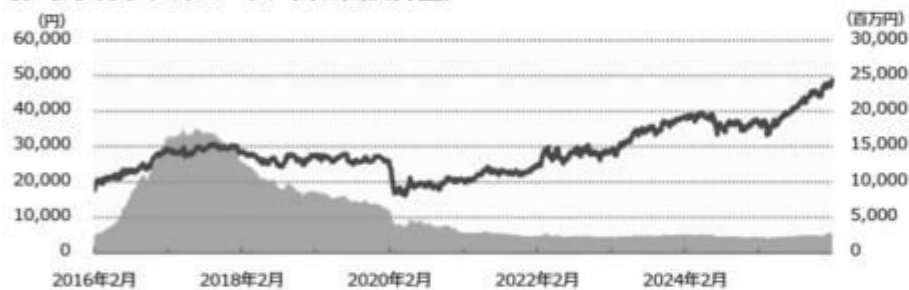
2026年1月	10 円
2025年7月	10 円
2025年1月	10 円
2024年7月	10 円
2024年1月	10 円
設定来累計	340 円

## ■ブラジルリアルコース（毎月分配型）

■ブラジルリアルコース  
（毎月分配型）

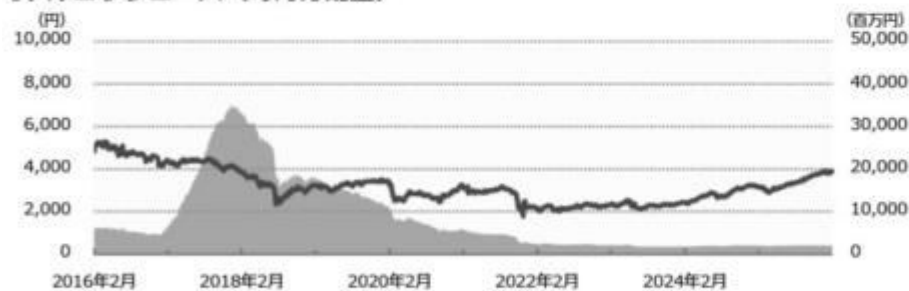
2026年2月	5 円
2026年1月	5 円
2025年12月	5 円
2025年11月	5 円
2025年10月	5 円
直近1年間累計	60 円
設定来累計	16,985 円

## ■ブラジルリアルコース（年2回決算型）

■ブラジルリアルコース  
（年2回決算型）

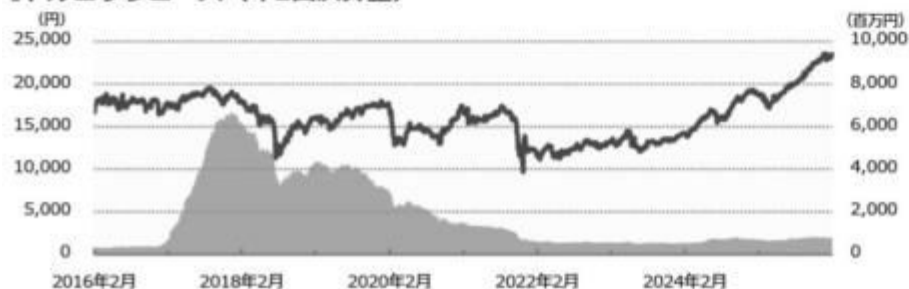
2026年1月	10 円
2025年7月	10 円
2025年1月	10 円
2024年7月	10 円
2024年1月	10 円
設定来累計	340 円

## ■トルコリラコース（毎月分配型）

■トルコリラコース  
（毎月分配型）

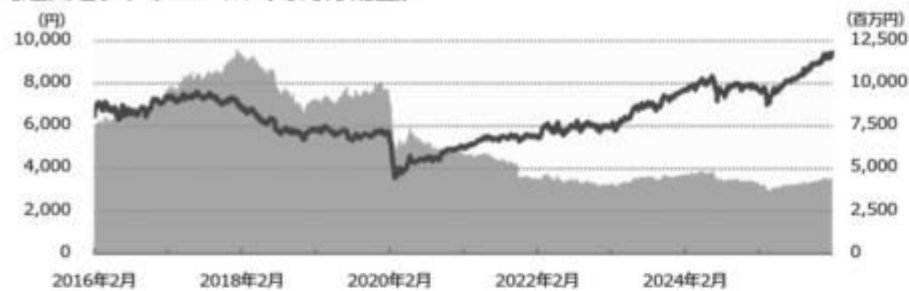
2026年2月	5 円
2026年1月	5 円
2025年12月	5 円
2025年11月	5 円
2025年10月	5 円
直近1年間累計	60 円
設定来累計	12,750 円

## ■トルコリラコース（年2回決算型）

■トルコリラコース  
（年2回決算型）

2026年1月	10 円
2025年7月	10 円
2025年1月	10 円
2024年7月	10 円
2024年1月	10 円
設定来累計	340 円

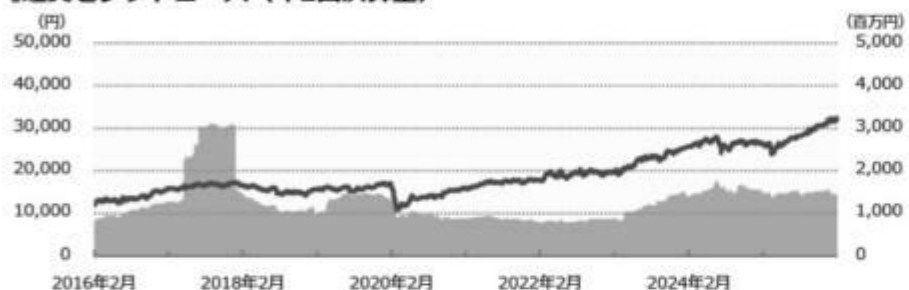
### 通貨セレクトコース（毎月分配型）



### 通貨セレクトコース （毎月分配型）

2026年2月	10 円
2026年1月	10 円
2025年12月	10 円
2025年11月	10 円
2025年10月	10 円
直近1年間累計	120 円
設定来累計	10,140 円

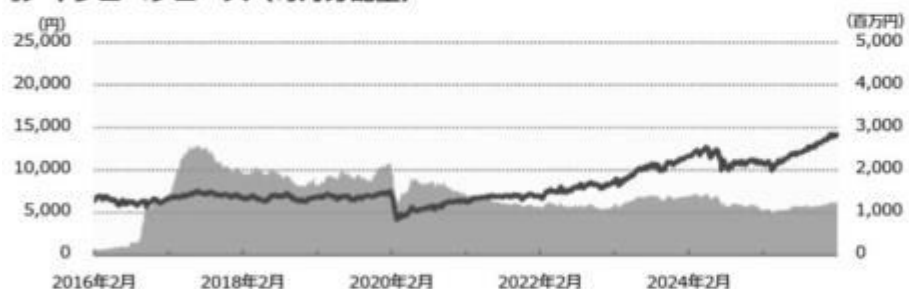
### 通貨セレクトコース（年2回決算型）



### 通貨セレクトコース （年2回決算型）

2026年1月	10 円
2025年7月	10 円
2025年1月	10 円
2024年7月	10 円
2024年1月	10 円
設定来累計	290 円

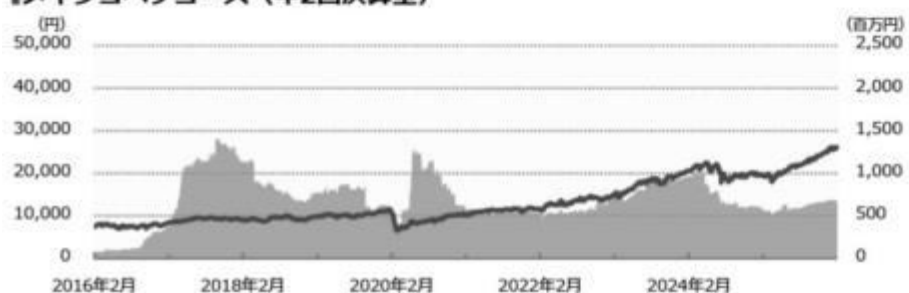
### メキシコペソコース（毎月分配型）



### メキシコペソコース （毎月分配型）

2026年2月	20 円
2026年1月	20 円
2025年12月	20 円
2025年11月	20 円
2025年10月	20 円
直近1年間累計	240 円
設定来累計	4,800 円

### メキシコペソコース（年2回決算型）



### メキシコペソコース （年2回決算型）

2026年1月	10 円
2025年7月	10 円
2025年1月	10 円
2024年7月	10 円
2024年1月	10 円
設定来累計	160 円

## ■ 主要な資産の状況

実質的な銘柄別投資比率（上位）

### ■ 毎月分配型

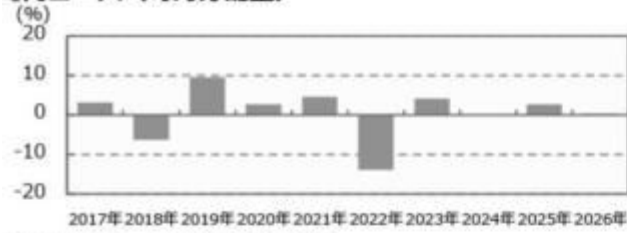
順位	銘柄	業種	投資比率（%）						
			円 コース	米ドル コース	豪ドル コース	アフリカ レバコース	インド コース	通貨 以外の コース	その他 コース
1	CLOUD SOFTWARE GRP INC	電機	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
2	MEDLINE BORROWER LP	ヘルスケア	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
3	TRANSDIGM INC 6.3750% 31/05/33 144A	航空・防衛関連	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
4	101178 BC / NEW RED FIN	食品サービス	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
5	CAESARS ENTERTAIN INC	レジャー	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
6	CLD SFTWR GRP 8.2500% 30/06/32 144A	電機	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
7	CCO HOLDINGS LL 4.5000% 01/05/32 WI	放送	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
8	CCO HLDGS LLC/CAP CORP	放送	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3
9	CCO HLDGS LLC/CAP CORP	放送	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
10	ALLIED UNIVER 7.8750% 15/02/31 144A	ビジネス・サービス	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3

### ■ 年2回決算型

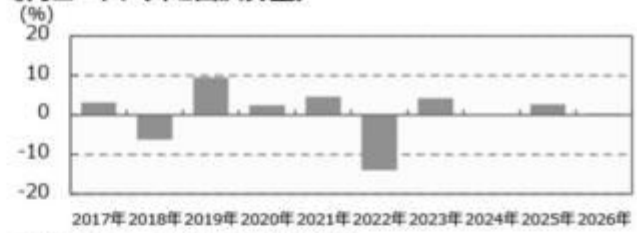
順位	銘柄	業種	投資比率（%）						
			円 コース	米ドル コース	豪ドル コース	アフリカ レバコース	インド コース	通貨 以外の コース	その他 コース
1	CLOUD SOFTWARE GRP INC	電機	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
2	MEDLINE BORROWER LP	ヘルスケア	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
3	TRANSDIGM INC 6.3750% 31/05/33 144A	航空・防衛関連	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
4	101178 BC / NEW RED FIN	食品サービス	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
5	CAESARS ENTERTAIN INC	レジャー	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
6	CLD SFTWR GRP 8.2500% 30/06/32 144A	電機	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
7	CCO HOLDINGS LL 4.5000% 01/05/32 WI	放送	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
8	CCO HLDGS LLC/CAP CORP	放送	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
9	CCO HLDGS LLC/CAP CORP	放送	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
10	ALLIED UNIVER 7.8750% 15/02/31 144A	ビジネス・サービス	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3

## ■ 年間収益率の推移 (暦年ベース)

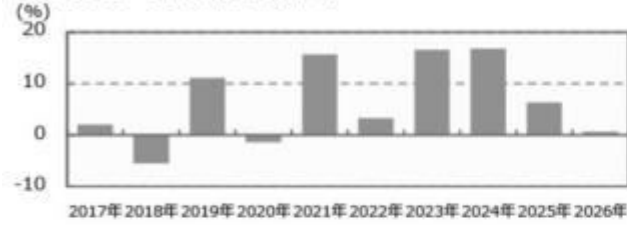
### ■ 円コース（毎月分配型）



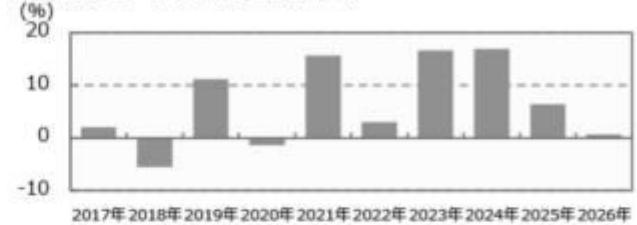
### ■ 円コース（年2回決算型）



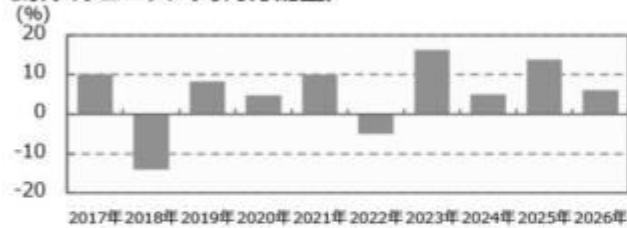
### ■ 米ドルコース（毎月分配型）



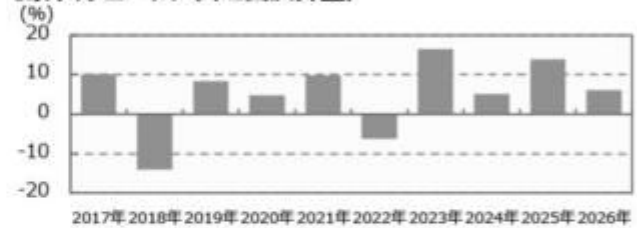
### ■ 米ドルコース（年2回決算型）



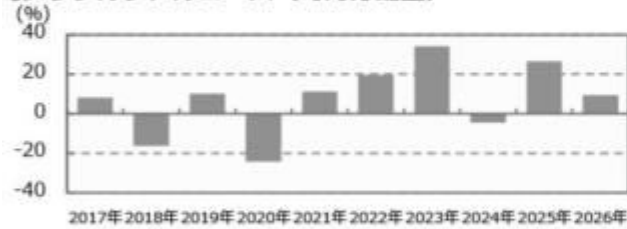
### ■ 豪ドルコース（毎月分配型）



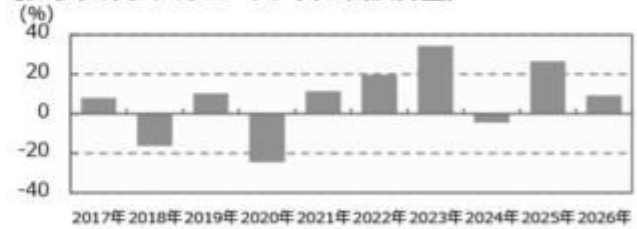
### ■ 豪ドルコース（年2回決算型）



### ■ ブラジルリアルコース（毎月分配型）



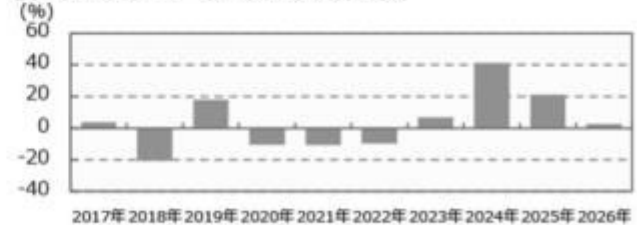
### ■ ブラジルリアルコース（年2回決算型）



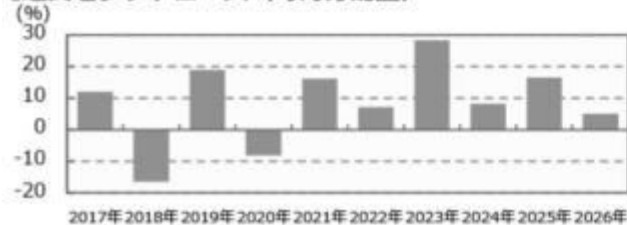
### ■ トルコリラコース（毎月分配型）



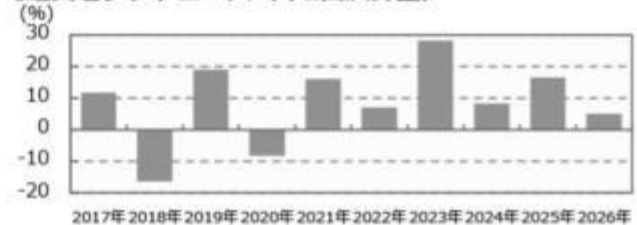
### ■ トルコリラコース（年2回決算型）



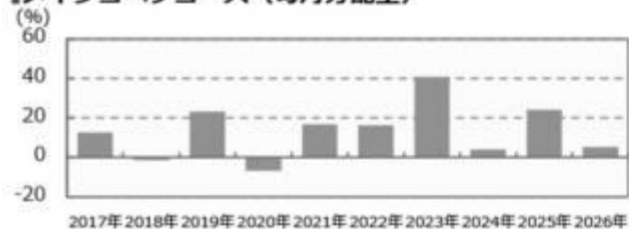
### ■ 通貨セレクトコース（毎月分配型）



### ■ 通貨セレクトコース（年2回決算型）



■メキシコペソコース（毎月分配型）



■メキシコペソコース（年2回決算型）



- ・ファンドの年間収益率は税引前分配金を再投資して算出。
- ・ファンドにベンチマークはありません。
- ・2026年は年初から運用実績作成基準日までの収益率。

●ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。●ファンドの運用状況は、別途、委託会社ホームページで開示している場合があります。●グラフの縦軸の目盛りはファンドごとに異なる場合があります。

## 第2【管理及び運営】

### 1【申込（販売）手続等】

#### (1)受益権の募集

申込期間中の各営業日に受益権の募集が行なわれます。

販売会社によっては、一部のファンドのみのお取扱いとなる場合があります。

## (2) 申込締切時間

原則、午後3時30分までに取得申込みが行なわれかつ当該取得申込みの受け付けにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の申込み分とします。

（販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。）

## (3) 申込不可日

販売会社の営業日であっても、下記の条件に該当する日（「申込不可日」といいます。）には、原則として取得およびスイッチングの申込みができません。（申込不可日については、「サポートダイヤル」でもご確認いただけます。）

申込日当日または申込日の翌営業日が、以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合

- ・ニューヨーク証券取引所
- ・ニューヨークの銀行
- ・ロンドンの銀行
- ・ルクセンブルグの銀行

## (4) 販売単位

1万口以上1万口単位（当初元本1口＝1円）または1万円以上1円単位とします。

## (5) 販売価額

取得申込日の翌々営業日の基準価額とします。

## (6) 申込代金の支払い

取得申込日から起算して7営業日目までに申込代金を販売会社に支払うものとします。なお、販売会社が別に定める所定の方法により、上記の期日以前に申込代金をお支払いいただく場合があります。

## (7) スイッチング

「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。スイッチングの方法等は、購入、換金の場合と同様です。

（販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行なわない場合があります。）

## (8) 積立方式

販売会社によっては、「定時定額購入サービス」等に関する契約を締結した場合、当該契約で規定する取得申込の単位でお申込みいただけます。

当該契約または規定については、同様の権利義務関係を規定する名称の異なる契約または規定を使用することがあります。

## (9) 申込受け付けの中止および取り消し

金融商品取引所（金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号口に規定する外国金融商品市場をいいます。以下同じ。なお、金融商品取引所を単に「取引所」という場合があり、取引所のうち、有価証券の売買または金融商品取引法第28条第8項第3号もしくは同項第5号の取引を行なう市場ないしは当該市場を開設するものを「証券取引所」という場合があります。）等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があると

きは、受益権の取得申込の受け付けを中止することおよびすでに受け付けた取得申込の受け付けを取り消す場合があります。

#### (10) 申込手続等に関する照会先

ファンドの申込（販売）手続等についてご不明な点がある場合には、下記の照会先までお問い合わせ下さい。

野村アセットマネジメント株式会社

サポートダイヤル 0120-753104(フリーダイヤル)

< 受付時間 > 営業日の午前9時～午後5時

インターネットホームページ <https://www.nomura-am.co.jp/>

購入およびスイッチングのお申込みの方法ならびに単位等について、販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 2 【換金（解約）手続等】

### (1) 解約の請求

受益者が一部解約の実行の請求をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行なうものとします。

### (2) 解約請求の締切時間

一部解約の実行の請求の受け付けについては、原則、午後3時30分までに解約請求の申込みが行われ、かつ、その解約請求の申込みの受け付けにかかる販売会社所定の事務手続が完了したものを当日の申込み分とします。

（販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。）

### (3) 申込不可日

販売会社の営業日であっても、申込不可日には原則として受益権の一部解約の実行の請求ができません。（申込不可日については、「サポートダイヤル」でもご確認いただけます。）

### (4) 換金単位

1万口単位、1口単位または1円単位で換金できます。

### (5) 換金価額

換金申込日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額となります。

### (6) 換金制限

信託財産の資金管理を円滑に行なうため、大口換金について、ファンドの残高、市場の流動性の状況等によっては、委託者の判断により換金の金額に制限を設ける場合や換金の受付時間に制限を設ける場合があります。

### (7) 換金代金の支払い

原則として一部解約の実行の請求日から起算して7営業日目から販売会社において支払います。

#### (8)解約請求の受け付けの中止および取り消し

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、信託約款の規定に従い、委託者の判断で一部解約の実行の請求の受け付けを中止すること、およびすでに受け付けた一部解約の実行の請求の受け付けを取り消す場合があります。

また、一部解約の実行の請求の受け付けが中止された場合には、受益者は当該受け付け中止以前に行なった当日の一部解約の実行の請求を撤回できます。ただし、受益者がその一部解約の実行の請求を撤回しない場合には、当該受け付け中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に一部解約の実行の請求を受け付けたものとしします。

#### (9)換金手続等に関する照会先

ファンドの換金（解約）手続等についてご不明な点がある場合には、下記の照会先までお問い合わせ下さい。

野村アセットマネジメント株式会社

サポートダイヤル 0120-753104(フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

インターネットホームページ <https://www.nomura-am.co.jp/>

換金のお申込みの方法ならびに単位等について、販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

### 3【資産管理等の概要】

#### (1)【資産の評価】

##### <基準価額の計算方法>

基準価額とは、計算日において、信託財産に属する資産(受入担保金代用有価証券および借入有価証券を除きます。)を法令および一般社団法人資産運用業協会規則にしたがって時価または一部償却原価法により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額(「純資産総額」といいます。)を、計算日における受益権口数で除して得た額をいいます。なお、ファンドにおいては1万口当りの価額で表示されます。

ファンドの主な投資対象の評価方法は以下の通りです。

対象	評価方法
外国投資信託	原則、基準価額計算日の前日(前日が外国ファンドの営業日でない場合はとりうる直近)の純資産価格で評価します。
公社債等	原則として、基準価額計算日 <sup>1</sup> における以下のいずれかの価額で評価します。 <sup>2</sup> 日本証券業協会が発表する売買参考統計値(平均値) 金融商品取引業者、銀行等の提示する価額(売気配相場を除く) 価格情報会社の提供する価額

1 外国で取引されているものについては、原則として、基準価額計算日の前日とします。

2 残存期間1年以内の公社債等については、一部償却原価法(アキュムレーションまたはアモチゼーション)による評価を適用することができます。

ファンドの基準価額については下記の照会先までお問い合わせ下さい。

野村アセットマネジメント株式会社

サポートダイヤル 0120-753104(フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

インターネットホームページ <https://www.nomura-am.co.jp/>

## (2)【保管】

ファンドの受益権の帰属は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されることにより定まり、受益証券を発行しませんので、受益証券の保管に関する該当事項はありません。

## (3)【信託期間】

2029年1月25日までとします。

円コース、米ドルコース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、トルコリラコース

: 2009年1月28日設定

通貨セレクトコース: 2011年10月27日設定

メキシコペソコース: 2014年4月22日設定

なお、委託者は、信託期間満了前に、信託期間の延長が受益者に有利であると認めたときは、受託者と協議のうえ、信託期間を延長することができます。

## (4)【計算期間】

<毎月分配型>

原則として、毎月26日から翌月25日までとします。

<年2回決算型>

原則として、毎年1月26日から7月25日までおよび7月26日から翌年1月25日までとします。

なお、各計算期間終了日に該当する日(以下「該当日」といいます。)が休業日のとき、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。

ただし、最終計算期間の終了日は、信託期間の終了日とします。

## (5)【その他】

(a) ファンドの繰上償還条項

( ) 委託者は、各ファンドにつき、この信託が主要投資対象とする外国投資信託受益証券が存続しないこととなる場合には、この信託契約を解約し、信託を終了させます。この場合において、委託者は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。

( ) 委託者は、信託終了前に、この信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託者は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。

## (b) 信託期間の終了

- ( ) 委託者は、上記「(a)ファンドの繰上償還条項( )」に従い信託期間を終了させるには、書面による決議（以下「書面決議」といいます。）を行ないます。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに信託契約の解約の理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託契約に係る知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を発送します。
- ( ) 上記( )の書面決議において、受益者（委託者およびこの信託の信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権に係る受益者としての受託者を除きます。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、知れている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
- ( ) 上記( )の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行ないます。
- ( ) 上記( )から( )までの規定は、委託者が信託契約の解約について提案をした場合において、当該提案につき、この信託契約に係るすべての受益者が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときおよび上記「(a)ファンドの繰上償還条項( )」に従い信託契約を解約する場合には適用しません。また、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、上記( )から( )までに規定するこの信託契約の解約の手続を行なうことが困難な場合には適用しません。
- ( ) 委託者は、監督官庁よりこの信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し信託を終了させます。
- ( ) 委託者が監督官庁より登録の取消を受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託者は、この信託契約を解約し、信託を終了させます。ただし、監督官庁がこの信託契約に関する委託者の業務を他の投資信託委託会社に引き継ぐことを命じたときは、この信託は、下記「(e)信託約款の変更等」の書面決議が否決となる場合を除き、当該投資信託委託会社と受託者との間において存続します。

## (c) 運用報告書

委託者は、各ファンドにつき、毎年1月、7月に終了する計算期間の末日および償還時に交付運用報告書を作成し、知れている受益者に対して交付します。

## (d) 有価証券報告書

委託者は、有価証券報告書を原則毎年1月、7月の決算日を基準に作成し3ヵ月以内に関東財務局長に提出します。

## (e) 信託約款の変更等

- ( ) 委託者は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この信託約款を変更することまたはこの信託と他の信託との併合（投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。）を行なうことができるものとし、あらかじめ、変更または併合しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。なお、この信託約款は本条に定める以外の方法によって変更することができないものとします。
- ( ) 委託者は、上記( )の事項（上記( )の変更事項にあつてはその変更の内容が重大なものに該当する場合に限り、併合事項にあつてはその併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものに該当する場合を除き、以下、合わせて「重大な約款の変更等」といいます。）について、書面決議を行ないます。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに重大な約款の変更等の内容

およびその理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託約款に係る知っている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。

- ( ) 上記( )の書面決議において、受益者（委託者およびこの信託の信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権に係る受益者としての受託者を除きます。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使することができます。なお、知っている受益者が議決権を行使しないときは、当該知っている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
- ( ) 上記( )の書面決議は議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行ないます。
- ( ) 書面決議の効力は、この信託のすべての受益者に対してその効力を生じます。
- ( ) 上記( )から( )までの規定は、委託者が重大な約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、この信託約款に係るすべての受益者が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。
- ( ) 上記( )から( )の規定にかかわらず、この投資信託において併合の書面決議が可決された場合にあっても、当該併合にかかる一又は複数の他の投資信託において当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他の投資信託との併合を行なうことはできません。

(f) 公告

委託者が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行ない、次のアドレスに掲載します。

<https://www.nomura-am.co.jp/>

なお、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

(g) 受託者の辞任および解任に伴う取扱い

- ( ) 受託者は、委託者の承諾を受けてその任務を辞任することができます。受託者がその任務に違反して信託財産に著しい損害を与えたことその他重要な事由があるときは、委託者または受益者は、裁判所に受託者の解任を申立てることができます。受託者が辞任した場合、または裁判所が受託者を解任した場合、委託者は、上記「(e)信託約款の変更等」に従い、新受託者を選任します。なお、受益者は、上記によって行なう場合を除き、受託者を解任することはできないものとします。
- ( ) 委託者が新受託者を選任できないときは、委託者はこの信託契約を解約し、信託を終了させます。

(h) 反対受益者の受益権買取請求の不適用

この信託は、受益者が一部解約の実行の請求を行なったときは、委託者が信託契約の一部の解約をすることにより当該請求に応じ、当該受益権の公正な価格が当該受益者に一部解約金として支払われることとなる委託者指図型投資信託に該当するため、信託契約の解約または重大な約款の変更等を行なう場合において、投資信託及び投資法人に関する法律第18条第1項に定める反対受益者による受益権の買取請求の規定の適用を受けません。

(i) 他の受益者の氏名等の開示の請求の制限

受益者は、委託者または受託者に対し、次に掲げる事項の開示請求を行なうことはできません。

- 1.他の受益者の氏名または名称および住所
- 2.他の受益者が有する受益権の内容

(j) 関係法人との契約の更新に関する手続

委託者と販売会社との間で締結する「募集・販売等に関する契約」は、契約終了の3ヵ月前までに当事者の一方から別段の意思表示のないときは、原則1年毎に自動的に更新されるものとします。

#### 4【受益者の権利等】

受益者の有する主な権利は次の通りです。

収益分配金に対する請求権

収益分配金の支払い開始日

< 累積投資契約を結んでいない場合 >

収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。）に、原則として決算日から起算して5営業日までに支払いを開始します。販売会社でお受取りください。

< 累積投資契約を結んでいる場合 >

税金を差引いた後、自動的に無手数料で再投資されます。この場合の受益権の価額は、各計算期間終了日(決算日)の基準価額とします。

なお、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

収益分配金請求権の失効

受益者は、収益分配金を支払開始日から5年間支払請求しないと権利を失います。

償還金に対する請求権

償還金の支払い開始日

償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。）に、原則として償還日(償還日が休業日の場合は翌営業日)から起算して5営業日までに支払いを開始します。

償還金請求権の失効

受益者は、償還金を支払開始日から10年間支払請求しないと権利を失います。

換金(解約)請求権

受益者は、一部解約の実行を請求することができます。詳しくは、前述の「2 換金(解約)手続等」をご参照下さい。

### 第3【ファンドの経理状況】

野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型  
野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月分配型  
野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）毎月分配型  
野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型  
野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）毎月分配型  
野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）毎月分配型  
野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型

(1)当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2)当ファンドの計算期間は6ヶ月未満であるため、財務諸表は原則として6ヶ月毎に作成しております。

(3)当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当期(2025年7月26日から2026年1月26日まで)の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型  
野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）年2回決算型  
野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）年2回決算型  
野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型  
野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）年2回決算型

(1)当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2)当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第34期計算期間(2025年7月26日から2026年1月26日まで)の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）年2回決算型

(1)当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2)当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第29期計算期間(2025年7月26日から2026年1月26日まで)の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）年2回決算型

(1)当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2)当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第24期計算期間(2025年7月26日から2026年1月26日まで)の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

#### 1【財務諸表】

## 【野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型】

## （１）【貸借対照表】

（単位：円）

	前期 (2025年 7月25日現在)	当期 (2026年 1月26日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	183,522,112	199,039,332
投資信託受益証券	11,490,088,894	10,287,608,475
親投資信託受益証券	1,005,404	1,008,155
未収利息	2,461	4,033
流動資産合計	11,674,618,871	10,487,659,995
資産合計	11,674,618,871	10,487,659,995
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払収益分配金	33,901,792	30,377,725
未払解約金	4,591,343	42,106,028
未払受託者報酬	318,890	303,632
未払委託者報酬	9,035,211	8,602,920
その他未払費用	21,251	30,356
流動負債合計	47,868,487	81,420,661
負債合計	47,868,487	81,420,661
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	16,950,896,430	15,188,862,929
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	5,324,146,046	4,782,623,595
（分配準備積立金）	1,060,668,828	1,121,895,448
元本等合計	11,626,750,384	10,406,239,334
純資産合計	11,626,750,384	10,406,239,334
負債純資産合計	11,674,618,871	10,487,659,995

## （２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前期		当期	
	自 至	2025年 1月28日 2025年 7月25日	自 至	2025年 7月26日 2026年 1月26日
営業収益				
受取配当金		466,888,170		422,841,270
受取利息		446,008		410,645
有価証券売買等損益		330,101,102		192,046,226
営業収益合計		137,233,076		231,205,689
営業費用				
受託者報酬		1,998,079		1,844,130
委託者報酬		56,612,119		52,250,345
その他費用		133,147		149,467
営業費用合計		58,743,345		54,243,942
営業利益又は営業損失（ ）		78,489,731		176,961,747
経常利益又は経常損失（ ）		78,489,731		176,961,747
当期純利益又は当期純損失（ ）		78,489,731		176,961,747
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）		1,557,785		2,419,443
期首剰余金又は期首欠損金（ ）		5,893,879,946		5,324,146,046
剰余金増加額又は欠損金減少額		770,954,441		586,666,097
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		770,954,441		586,666,097
剰余金減少額又は欠損金増加額		63,777,745		29,144,967
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		63,777,745		29,144,967
分配金		214,374,742		190,540,983
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		5,324,146,046		4,782,623,595

## （３）【注記表】

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場（計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場）で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。 受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4. その他	当該財務諸表の特定期間は、2025年7月26日から2026年1月26日までとなっております。

## （重要な会計上の見積りに関する注記）

該当事項はありません。

## （貸借対照表に関する注記）

前期 2025年7月25日現在	当期 2026年1月26日現在
1. 特定期間の末日における受益権の総数 16,950,896,430口	1. 特定期間の末日における受益権の総数 15,188,862,929口
2. 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 5,324,146,046円	2. 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 4,782,623,595円
3. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.6859円 (10,000口当たり純資産額) (6,859円)	3. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.6851円 (10,000口当たり純資産額) (6,851円)

## （損益及び剰余金計算書に関する注記）

前期 自 2025年1月28日 至 2025年7月25日	当期 自 2025年7月26日 至 2026年1月26日																																																												
1. 分配金の計算過程 2025年1月28日から2025年2月25日まで	1. 分配金の計算過程 2025年7月26日から2025年8月25日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>70,620,750円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>7,171,384,951円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>972,222,067円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>8,214,227,768円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>18,777,174,051口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F × 10,000</td><td>4,374円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>20円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F × H/10,000</td><td>37,554,348円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	70,620,750円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	7,171,384,951円	分配準備積立金額	D	972,222,067円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	8,214,227,768円	当ファンドの期末残存口数	F	18,777,174,051口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,374円	10,000口当たり分配金額	H	20円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	37,554,348円	<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>63,441,368円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>6,381,001,399円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>1,042,226,079円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>7,486,668,846円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>16,676,630,751口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F × 10,000</td><td>4,489円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>20円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F × H/10,000</td><td>33,353,261円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	63,441,368円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	6,381,001,399円	分配準備積立金額	D	1,042,226,079円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,486,668,846円	当ファンドの期末残存口数	F	16,676,630,751口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,489円	10,000口当たり分配金額	H	20円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	33,353,261円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	70,620,750円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	7,171,384,951円																																																											
分配準備積立金額	D	972,222,067円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	8,214,227,768円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	18,777,174,051口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,374円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	20円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	37,554,348円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	63,441,368円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	6,381,001,399円																																																											
分配準備積立金額	D	1,042,226,079円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,486,668,846円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	16,676,630,751口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,489円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	20円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	33,353,261円																																																											
2025年2月26日から2025年3月25日まで	2025年8月26日から2025年9月25日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>69,583,726円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>6,998,041,359円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>981,078,687円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>8,048,703,772円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>18,321,473,122口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F × 10,000</td><td>4,393円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>20円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F × H/10,000</td><td>36,642,946円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	69,583,726円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	6,998,041,359円	分配準備積立金額	D	981,078,687円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	8,048,703,772円	当ファンドの期末残存口数	F	18,321,473,122口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,393円	10,000口当たり分配金額	H	20円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	36,642,946円	<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>66,909,457円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>6,243,911,198円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>1,049,086,807円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>7,359,907,462円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>16,316,386,037口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F × 10,000</td><td>4,510円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>20円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F × H/10,000</td><td>32,632,772円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	66,909,457円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	6,243,911,198円	分配準備積立金額	D	1,049,086,807円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,359,907,462円	当ファンドの期末残存口数	F	16,316,386,037口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,510円	10,000口当たり分配金額	H	20円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	32,632,772円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	69,583,726円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	6,998,041,359円																																																											
分配準備積立金額	D	981,078,687円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	8,048,703,772円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	18,321,473,122口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,393円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	20円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	36,642,946円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	66,909,457円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	6,243,911,198円																																																											
分配準備積立金額	D	1,049,086,807円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,359,907,462円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	16,316,386,037口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,510円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	20円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	32,632,772円																																																											
2025年3月26日から2025年4月25日まで	2025年9月26日から2025年10月27日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>68,082,989円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>6,909,883,654円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>999,388,405円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	68,082,989円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	6,909,883,654円	分配準備積立金額	D	999,388,405円	<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>61,262,110円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>6,159,829,148円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>1,068,334,530円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	61,262,110円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	6,159,829,148円	分配準備積立金額	D	1,068,334,530円																														
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	68,082,989円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	6,909,883,654円																																																											
分配準備積立金額	D	999,388,405円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	61,262,110円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	6,159,829,148円																																																											
分配準備積立金額	D	1,068,334,530円																																																											

当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,977,355,048円
当ファンドの期末残存口数	F	18,085,198,600口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	4,410円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金額	I=F×H/10,000	36,170,397円

2025年 4月26日から2025年 5月26日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	68,749,074円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	6,762,717,228円
分配準備積立金額	D	1,009,137,255円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,840,603,557円
当ファンドの期末残存口数	F	17,697,926,504口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	4,430円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金額	I=F×H/10,000	35,395,853円

2025年 5月27日から2025年 6月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	70,421,286円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	6,637,689,654円
分配準備積立金額	D	1,016,966,242円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,725,077,182円
当ファンドの期末残存口数	F	17,354,703,394口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	4,451円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金額	I=F×H/10,000	34,709,406円

2025年 6月26日から2025年 7月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	66,402,278円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	6,484,039,689円
分配準備積立金額	D	1,028,168,342円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,578,610,309円
当ファンドの期末残存口数	F	16,950,896,430口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	4,470円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金額	I=F×H/10,000	33,901,792円

当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,289,425,788円
当ファンドの期末残存口数	F	16,094,681,203口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	4,529円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金額	I=F×H/10,000	32,189,362円

2025年10月28日から2025年11月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	60,689,404円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	5,984,125,420円
分配準備積立金額	D	1,065,809,648円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,110,624,472円
当ファンドの期末残存口数	F	15,632,931,170口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	4,548円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金額	I=F×H/10,000	31,265,862円

2025年11月26日から2025年12月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	61,361,709円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	5,880,865,911円
分配準備積立金額	D	1,075,878,743円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,018,106,363円
当ファンドの期末残存口数	F	15,361,000,803口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	4,568円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金額	I=F×H/10,000	30,722,001円

2025年12月26日から2026年 1月26日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	58,612,821円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	5,815,774,939円
分配準備積立金額	D	1,093,660,352円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	6,968,048,112円
当ファンドの期末残存口数	F	15,188,862,929口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	4,587円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金額	I=F×H/10,000	30,377,725円

## (金融商品に関する注記)

## (1)金融商品の状況に関する事項

前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
<p>1. 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p>	<p>1. 金融商品に対する取組方針 同左</p> <p>2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左</p> <p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p>

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの審査及び運用リスクの管理を行なっております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。	同左
---	----

## (2)金融商品の時価等に関する事項

前期 2025年 7月25日現在	当期 2026年 1月26日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2. 時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左 2. 時価の算定方法 同左

## (関連当事者との取引に関する注記)

前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

## (その他の注記)

## 1 元本の移動

前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
期首元本額 19,174,102,088円	期首元本額 16,950,896,430円
期中追加設定元本額 198,642,605円	期中追加設定元本額 92,695,643円
期中一部解約元本額 2,421,848,263円	期中一部解約元本額 1,854,729,144円

## 2 有価証券関係

## 売買目的有価証券

種類	前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
	損益に含まれた評価差額（円）	
投資信託受益証券	19,733,944	6,743,025
親投資信託受益証券	393	589
合計	19,734,337	6,742,436

## 3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

## (4)【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1)株式(2026年1月26日現在)

該当事項はありません。

## (2)株式以外の有価証券(2026年1月26日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	日本円	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(JPY Class)	2,247,675	10,287,608,475	

	小計	銘柄数：1 組入時価比率：98.9%	2,247,675	10,287,608,475 100.0%	
	合計			10,287,608,475	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー マザーファンド	982,608	1,008,155	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.0%	982,608	1,008,155 0.0%	
	合計			1,008,155	
	合計			10,288,616,630	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

## 第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 【野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型】

## （1）【貸借対照表】

（単位：円）

	第33期 (2025年 7月25日現在)	第34期 (2026年 1月26日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	223,313,915	191,730,314
投資信託受益証券	7,736,285,880	6,958,394,792
親投資信託受益証券	100,540	100,815
未収入金	52,700,112	-
未収利息	2,994	3,885
流動資産合計	8,012,403,441	7,150,229,806
資産合計	8,012,403,441	7,150,229,806
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払収益分配金	4,562,335	4,035,977
未払解約金	88,268,301	28,914,457
未払受託者報酬	1,394,198	1,242,934
未払委託者報酬	39,502,307	35,216,404
その他未払費用	92,884	100,749
流動負債合計	133,820,025	69,510,521
負債合計	133,820,025	69,510,521
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	4,562,335,860	4,035,977,808
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	3,316,247,556	3,044,741,477
（分配準備積立金）	1,336,838,851	1,368,972,231
元本等合計	7,878,583,416	7,080,719,285
純資産合計	7,878,583,416	7,080,719,285
負債純資産合計	8,012,403,441	7,150,229,806

## （２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第33期		第34期	
	自 至	2025年 1月28日 2025年 7月25日	自 至	2025年 7月26日 2026年 1月26日
営業収益				
受取配当金		326,148,780		284,442,420
受取利息		319,332		305,039
有価証券売買等損益		235,747,331		129,663,705
営業収益合計		90,720,781		155,083,754
営業費用				
受託者報酬		1,394,198		1,242,934
委託者報酬		39,502,307		35,216,404
その他費用		92,884		100,749
営業費用合計		40,989,389		36,560,087
営業利益又は営業損失（ ）		49,731,392		118,523,667
経常利益又は経常損失（ ）		49,731,392		118,523,667
当期純利益又は当期純損失（ ）		49,731,392		118,523,667
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）		9,379,261		9,753,804
期首剰余金又は期首欠損金（ ）		3,912,557,144		3,316,247,556
剰余金増加額又は欠損金減少額		27,181,860		111,050,772
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		27,181,860		111,050,772
剰余金減少額又は欠損金増加額		678,039,766		487,290,737
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		678,039,766		487,290,737
分配金		4,562,335		4,035,977
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		3,316,247,556		3,044,741,477

## (3)【注記表】

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。
2.費用・収益の計上基準	親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。 受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。
3.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4.その他	当ファンドの計算期間は、信託約款の規定により、2025年7月26日から2026年1月26日までとなっております。

## (重要な会計上の見積りに関する注記)

該当事項はありません。

## (貸借対照表に関する注記)

第33期 2025年7月25日現在	第34期 2026年1月26日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数 4,562,335,860口	1. 計算期間の末日における受益権の総数 4,035,977,808口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.7269円 (10,000口当たり純資産額) (17,269円)	2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.7544円 (10,000口当たり純資産額) (17,544円)

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

第33期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第34期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日																																																												
1.分配金の計算過程	1.分配金の計算過程																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>257,827,201円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>8,011,682,366円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>1,083,573,985円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>9,353,083,552円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>4,562,335,860口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F×10,000</td> <td>20,500円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F×H/10,000</td> <td>4,562,335円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	257,827,201円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	8,011,682,366円	分配準備積立金額	D	1,083,573,985円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	9,353,083,552円	当ファンドの期末残存口数	F	4,562,335,860口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	20,500円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F×H/10,000	4,562,335円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>229,435,279円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>7,136,349,380円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>1,143,572,929円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>8,509,357,588円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>4,035,977,808口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F×10,000</td> <td>21,083円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F×H/10,000</td> <td>4,035,977円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	229,435,279円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	7,136,349,380円	分配準備積立金額	D	1,143,572,929円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	8,509,357,588円	当ファンドの期末残存口数	F	4,035,977,808口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	21,083円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F×H/10,000	4,035,977円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	257,827,201円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	8,011,682,366円																																																											
分配準備積立金額	D	1,083,573,985円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	9,353,083,552円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	4,562,335,860口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	20,500円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I=F×H/10,000	4,562,335円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	229,435,279円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	7,136,349,380円																																																											
分配準備積立金額	D	1,143,572,929円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	8,509,357,588円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	4,035,977,808口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	21,083円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I=F×H/10,000	4,035,977円																																																											

## (金融商品に関する注記)

## (1)金融商品の状況に関する事項

第33期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第34期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
1.金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1.金融商品に対する取組方針 同左
2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左
3.金融商品に係るリスク管理体制	3.金融商品に係るリスク管理体制

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの審査及び運用リスクの管理を行なっております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。	同左
---	----

## (2)金融商品の時価等に関する事項

第33期 2025年 7月25日現在	第34期 2026年 1月26日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2. 時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左 2. 時価の算定方法 同左

## (関連当事者との取引に関する注記)

第33期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第34期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

## (その他の注記)

## 1 元本の移動

第33期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第34期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
期首元本額 5,478,349,827円	期首元本額 4,562,335,860円
期中追加設定元本額 38,894,347円	期中追加設定元本額 147,961,408円
期中一部解約元本額 954,908,314円	期中一部解約元本額 674,319,460円

## 2 有価証券関係

## 売買目的有価証券

種類	第33期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第34期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
	損益に含まれた評価差額（円）	
投資信託受益証券	201,877,533	120,355,294
親投資信託受益証券	236	275
合計	201,877,297	120,355,019

## 3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

## (4)【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1)株式(2026年1月26日現在)

該当事項はありません。

## (2)株式以外の有価証券(2026年1月26日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	日本円	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(JPY Class)	1,520,296	6,958,394,792	

	小計	銘柄数：1 組入時価比率：98.3%	1,520,296	6,958,394,792 100.0%	
	合計			6,958,394,792	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー マザーファンド	98,261	100,815	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.0%	98,261	100,815 0.0%	
	合計			100,815	
合計				6,958,495,607	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

## 第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 【野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月分配型】

## （１）【貸借対照表】

（単位：円）

	前期 (2025年 7月25日現在)	当期 (2026年 1月26日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	2,898,992,911	3,514,447,241
投資信託受益証券	118,310,641,855	127,490,282,625
親投資信託受益証券	100,540	100,815
未収利息	38,876	71,216
流動資産合計	121,209,774,182	131,004,901,897
資産合計	121,209,774,182	131,004,901,897
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払収益分配金	871,063,737	872,783,448
未払解約金	166,550,685	439,452,458
未払受託者報酬	3,277,322	3,726,079
未払委託者報酬	92,857,409	105,572,221
その他未払費用	218,479	372,599
流動負債合計	1,133,967,632	1,421,906,805
負債合計	1,133,967,632	1,421,906,805
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	124,437,676,750	124,683,349,788
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	4,361,870,200	4,899,645,304
（分配準備積立金）	13,364,235,008	14,349,353,193
元本等合計	120,075,806,550	129,582,995,092
純資産合計	120,075,806,550	129,582,995,092
負債純資産合計	121,209,774,182	131,004,901,897

## （２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前期		当期	
	自 至	2025年 1月28日 2025年 7月25日	自 至	2025年 7月26日 2026年 1月26日
<b>営業収益</b>				
受取配当金		7,421,345,050		7,442,266,160
受取利息		5,554,916		6,735,865
有価証券売買等損益		10,897,680,257		7,588,435,893
<b>営業収益合計</b>		<b>3,470,780,291</b>		<b>15,037,437,918</b>
<b>営業費用</b>				
受託者報酬		19,754,617		20,873,940
委託者報酬		559,714,062		591,428,383
その他費用		1,316,917		1,710,447
<b>営業費用合計</b>		<b>580,785,596</b>		<b>614,012,770</b>
<b>営業利益又は営業損失（ ）</b>		<b>4,051,565,887</b>		<b>14,423,425,148</b>
<b>経常利益又は経常損失（ ）</b>		<b>4,051,565,887</b>		<b>14,423,425,148</b>
<b>当期純利益又は当期純損失（ ）</b>		<b>4,051,565,887</b>		<b>14,423,425,148</b>
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）		94,210,970		60,520,758
<b>期首剰余金又は期首欠損金（ ）</b>		<b>4,851,997,394</b>		<b>4,361,870,200</b>
剰余金増加額又は欠損金減少額		232,333,204		117,671,152
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		232,333,204		70,800,947
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		-		46,870,205
剰余金減少額又は欠損金増加額		232,624,064		-
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		232,624,064		-
<b>分配金</b>		<b>5,256,221,817</b>		<b>5,219,060,038</b>
<b>期末剰余金又は期末欠損金（ ）</b>		<b>4,361,870,200</b>		<b>4,899,645,304</b>

## （３）【注記表】

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場（計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場）で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。 受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4. その他	当該財務諸表の特定期間は、2025年7月26日から2026年1月26日までとなっております。

## （重要な会計上の見積りに関する注記）

該当事項はありません。

## （貸借対照表に関する注記）

前期 2025年7月25日現在	当期 2026年1月26日現在
1. 特定期間の末日における受益権の総数 124,437,676,750口	1. 特定期間の末日における受益権の総数 124,683,349,788口
2. 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 4,361,870,200円	2. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.0393円 (10,000口当たり純資産額) (10,393円)
3. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.9649円 (10,000口当たり純資産額) (9,649円)	

## （損益及び剰余金計算書に関する注記）

前期 自 2025年1月28日 至 2025年7月25日	当期 自 2025年7月26日 至 2026年1月26日																																																												
1. 分配金の計算過程 2025年1月28日から2025年2月25日まで	1. 分配金の計算過程 2025年7月26日から2025年8月25日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>1,132,217,813円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>96,496,734,368円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>12,526,247,506円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>110,155,199,687円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>125,904,371,282口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F×10,000</td><td>8,749円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>70円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F×H/10,000</td><td>881,330,598円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	1,132,217,813円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	96,496,734,368円	分配準備積立金額	D	12,526,247,506円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	110,155,199,687円	当ファンドの期末残存口数	F	125,904,371,282口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,749円	10,000口当たり分配金額	H	70円	収益分配金金額	I=F×H/10,000	881,330,598円	<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>1,189,068,480円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>96,461,766,611円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>13,250,474,791円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>110,901,309,882円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>124,710,552,806口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F×10,000</td><td>8,892円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>70円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F×H/10,000</td><td>872,973,869円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	1,189,068,480円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	96,461,766,611円	分配準備積立金額	D	13,250,474,791円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	110,901,309,882円	当ファンドの期末残存口数	F	124,710,552,806口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,892円	10,000口当たり分配金額	H	70円	収益分配金金額	I=F×H/10,000	872,973,869円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	1,132,217,813円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	96,496,734,368円																																																											
分配準備積立金額	D	12,526,247,506円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	110,155,199,687円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	125,904,371,282口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,749円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	70円																																																											
収益分配金金額	I=F×H/10,000	881,330,598円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	1,189,068,480円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	96,461,766,611円																																																											
分配準備積立金額	D	13,250,474,791円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	110,901,309,882円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	124,710,552,806口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,892円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	70円																																																											
収益分配金金額	I=F×H/10,000	872,973,869円																																																											
2025年2月26日から2025年3月25日まで	2025年8月26日から2025年9月25日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>1,137,466,726円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>96,455,538,615円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>12,677,748,771円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>110,270,754,112円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>125,735,600,779口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F×10,000</td><td>8,770円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>70円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F×H/10,000</td><td>880,149,205円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	1,137,466,726円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	96,455,538,615円	分配準備積立金額	D	12,677,748,771円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	110,270,754,112円	当ファンドの期末残存口数	F	125,735,600,779口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,770円	10,000口当たり分配金額	H	70円	収益分配金金額	I=F×H/10,000	880,149,205円	<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>1,145,410,962円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>95,990,432,581円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>13,353,781,510円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>110,489,625,053円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>123,925,107,320口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F×10,000</td><td>8,915円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>70円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F×H/10,000</td><td>867,475,751円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	1,145,410,962円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	95,990,432,581円	分配準備積立金額	D	13,353,781,510円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	110,489,625,053円	当ファンドの期末残存口数	F	123,925,107,320口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,915円	10,000口当たり分配金額	H	70円	収益分配金金額	I=F×H/10,000	867,475,751円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	1,137,466,726円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	96,455,538,615円																																																											
分配準備積立金額	D	12,677,748,771円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	110,270,754,112円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	125,735,600,779口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,770円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	70円																																																											
収益分配金金額	I=F×H/10,000	880,149,205円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	1,145,410,962円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	95,990,432,581円																																																											
分配準備積立金額	D	13,353,781,510円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	110,489,625,053円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	123,925,107,320口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,915円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	70円																																																											
収益分配金金額	I=F×H/10,000	867,475,751円																																																											
2025年3月26日から2025年4月25日まで	2025年9月26日から2025年10月27日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>1,123,921,838円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>95,584,235,902円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>12,660,080,570円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	1,123,921,838円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	95,584,235,902円	分配準備積立金額	D	12,660,080,570円	<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>1,197,388,355円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>96,088,945,891円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>13,460,548,236円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	1,197,388,355円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	96,088,945,891円	分配準備積立金額	D	13,460,548,236円																														
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	1,123,921,838円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	95,584,235,902円																																																											
分配準備積立金額	D	12,660,080,570円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	1,197,388,355円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	96,088,945,891円																																																											
分配準備積立金額	D	13,460,548,236円																																																											

当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	109,368,238,310円
当ファンドの期末残存口数	F	124,403,464,790口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,791円
10,000口当たり分配金額	H	70円
収益分配金額	I=F×H/10,000	870,824,253円

2025年 4月26日から2025年 5月26日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	1,167,390,952円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	96,670,319,461円
分配準備積立金額	D	12,796,154,151円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	110,633,864,564円
当ファンドの期末残存口数	F	125,500,852,595口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,815円
10,000口当たり分配金額	H	70円
収益分配金額	I=F×H/10,000	878,505,968円

2025年 5月27日から2025年 6月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	1,203,847,010円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	96,324,075,663円
分配準備積立金額	D	12,918,742,664円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	110,446,665,337円
当ファンドの期末残存口数	F	124,906,865,165口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,842円
10,000口当たり分配金額	H	70円
収益分配金額	I=F×H/10,000	874,348,056円

2025年 6月26日から2025年 7月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	1,165,530,174円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	96,098,972,068円
分配準備積立金額	D	13,069,768,571円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	110,334,270,813円
当ファンドの期末残存口数	F	124,437,676,750口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,866円
10,000口当たり分配金額	H	70円
収益分配金額	I=F×H/10,000	871,063,737円

当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	110,746,882,482円
当ファンドの期末残存口数	F	123,831,040,295口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,943円
10,000口当たり分配金額	H	70円
収益分配金額	I=F×H/10,000	866,817,282円

2025年10月28日から2025年11月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	1,197,015,203円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	96,377,050,326円
分配準備積立金額	D	13,644,637,599円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	111,218,703,128円
当ファンドの期末残存口数	F	123,977,857,950口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,970円
10,000口当たり分配金額	H	70円
収益分配金額	I=F×H/10,000	867,845,005円

2025年11月26日から2025年12月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	1,139,917,755円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	96,930,506,593円
分配準備積立金額	D	13,852,478,769円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	111,922,903,117円
当ファンドの期末残存口数	F	124,452,097,651口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,993円
10,000口当たり分配金額	H	70円
収益分配金額	I=F×H/10,000	871,164,683円

2025年12月26日から2026年 1月26日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	1,205,682,940円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	97,249,279,747円
分配準備積立金額	D	14,016,453,701円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	112,471,416,388円
当ファンドの期末残存口数	F	124,683,349,788口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	9,020円
10,000口当たり分配金額	H	70円
収益分配金額	I=F×H/10,000	872,783,448円

## (金融商品に関する注記)

## (1)金融商品の状況に関する事項

<p>前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日</p>	<p>当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日</p>
<p>1. 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p>	<p>1. 金融商品に対する取組方針 同左</p> <p>2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左</p> <p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p>

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの審査及び運用リスクの管理を行なっております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。	同左
---	----

## (2)金融商品の時価等に関する事項

前期 2025年 7月25日現在	当期 2026年 1月26日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2. 時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左 2. 時価の算定方法 同左

## (関連当事者との取引に関する注記)

前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

## (その他の注記)

## 1 元本の移動

前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
期首元本額 125,887,154,884円	期首元本額 124,437,676,750円
期中追加設定元本額 8,496,099,550円	期中追加設定元本額 8,374,519,748円
期中一部解約元本額 9,945,577,684円	期中一部解約元本額 8,128,846,710円

## 2 有価証券関係

## 売買目的有価証券

種類	前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
	損益に含まれた評価差額（円）	
投資信託受益証券	529,986,450	1,946,639,153
親投資信託受益証券	39	59
合計	529,986,489	1,946,639,212

## 3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

## (4)【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1)株式(2026年1月26日現在)

該当事項はありません。

## (2)株式以外の有価証券(2026年1月26日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	日本円	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(USD Class)	17,893,373	127,490,282,625	

	小計	銘柄数：1 組入時価比率：98.4%	17,893,373	127,490,282,625 100.0%	
	合計			127,490,282,625	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー マザーファンド	98,261	100,815	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.0%	98,261	100,815 0.0%	
	合計			100,815	
	合計			127,490,383,440	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

## 第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 【野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）年2回決算型】

## （1）【貸借対照表】

（単位：円）

	第33期 (2025年 7月25日現在)	第34期 (2026年 1月26日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	673,668,772	785,298,978
投資信託受益証券	29,308,449,435	34,621,678,875
親投資信託受益証券	100,540	100,815
未収利息	9,034	15,913
流動資産合計	29,982,227,781	35,407,094,581
資産合計	29,982,227,781	35,407,094,581
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払収益分配金	8,306,093	8,727,456
未払解約金	61,601,284	98,353,766
未払受託者報酬	4,920,255	5,377,299
未払委託者報酬	139,407,228	152,356,871
その他未払費用	327,955	442,612
流動負債合計	214,562,815	265,258,004
負債合計	214,562,815	265,258,004
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	8,306,093,364	8,727,456,398
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	21,461,571,602	26,414,380,179
（分配準備積立金）	8,687,468,739	9,459,957,068
元本等合計	29,767,664,966	35,141,836,577
純資産合計	29,767,664,966	35,141,836,577
負債純資産合計	29,982,227,781	35,407,094,581

## （２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第33期		第34期	
	自 至	2025年 1月28日 2025年 7月25日	自 至	2025年 7月26日 2026年 1月26日
営業収益				
受取配当金		1,849,550,850		1,928,704,610
受取利息		1,207,890		1,699,739
有価証券売買等損益		2,766,792,976		1,959,824,723
営業収益合計		916,034,236		3,890,229,072
営業費用				
受託者報酬		4,920,255		5,377,299
委託者報酬		139,407,228		152,356,871
その他費用		327,955		442,612
営業費用合計		144,655,438		158,176,782
営業利益又は営業損失（ ）		1,060,689,674		3,732,052,290
経常利益又は経常損失（ ）		1,060,689,674		3,732,052,290
当期純利益又は当期純損失（ ）		1,060,689,674		3,732,052,290
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）		213,757,686		199,820,263
期首剰余金又は期首欠損金（ ）		24,475,882,262		21,461,571,602
剰余金増加額又は欠損金減少額		1,045,068,766		4,046,398,754
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		1,045,068,766		4,046,398,754
剰余金減少額又は欠損金増加額		3,204,141,345		2,617,094,748
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		3,204,141,345		2,617,094,748
分配金		8,306,093		8,727,456
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		21,461,571,602		26,414,380,179

## (3)【注記表】

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。 受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。
4. その他	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 当ファンドの計算期間は、信託約款の規定により、2025年7月26日から2026年1月26日までとなっております。

## (重要な会計上の見積りに関する注記)

該当事項はありません。

## (貸借対照表に関する注記)

第33期 2025年7月25日現在	第34期 2026年1月26日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数 8,306,093,364口	1. 計算期間の末日における受益権の総数 8,727,456,398口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 3.5838円 (10,000口当たり純資産額) (35,838円)	2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 4.0266円 (10,000口当たり純資産額) (40,266円)

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

第33期 自 2025年1月28日 至 2025年7月25日	第34期 自 2025年7月26日 至 2026年1月26日																																																												
1. 分配金の計算過程	1. 分配金の計算過程																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>1,599,932,727円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>23,895,233,847円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>7,095,842,105円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>32,591,008,679円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>8,306,093,364口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F×10,000</td> <td>39,237円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F×H/10,000</td> <td>8,306,093円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	1,599,932,727円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	23,895,233,847円	分配準備積立金額	D	7,095,842,105円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	32,591,008,679円	当ファンドの期末残存口数	F	8,306,093,364口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	39,237円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F×H/10,000	8,306,093円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>1,758,304,329円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>26,679,039,611円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>7,710,380,195円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>36,147,724,135円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>8,727,456,398口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F×10,000</td> <td>41,418円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F×H/10,000</td> <td>8,727,456円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	1,758,304,329円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	26,679,039,611円	分配準備積立金額	D	7,710,380,195円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	36,147,724,135円	当ファンドの期末残存口数	F	8,727,456,398口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	41,418円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F×H/10,000	8,727,456円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	1,599,932,727円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	23,895,233,847円																																																											
分配準備積立金額	D	7,095,842,105円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	32,591,008,679円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	8,306,093,364口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	39,237円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I=F×H/10,000	8,306,093円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	1,758,304,329円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	26,679,039,611円																																																											
分配準備積立金額	D	7,710,380,195円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	36,147,724,135円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	8,727,456,398口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	41,418円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I=F×H/10,000	8,727,456円																																																											

## (金融商品に関する注記)

## (1)金融商品の状況に関する事項

第33期 自 2025年1月28日 至 2025年7月25日	第34期 自 2025年7月26日 至 2026年1月26日
1. 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1. 金融商品に対する取組方針 同左
2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	3. 金融商品に係るリスク管理体制

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの審査及び運用リスクの管理を行なっております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。	同左
---	----

## (2)金融商品の時価等に関する事項

第33期 2025年 7月25日現在	第34期 2026年 1月26日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2. 時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左 2. 時価の算定方法 同左

## (関連当事者との取引に関する注記)

第33期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第34期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

## (その他の注記)

## 1 元本の移動

第33期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第34期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
期首元本額 9,082,976,115円	期首元本額 8,306,093,364円
期中追加設定元本額 417,478,735円	期中追加設定元本額 1,433,524,058円
期中一部解約元本額 1,194,361,486円	期中一部解約元本額 1,012,161,024円

## 2 有価証券関係

## 売買目的有価証券

種類	第33期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第34期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
	損益に含まれた評価差額（円）	
投資信託受益証券	2,569,970,710	1,901,544,721
親投資信託受益証券	236	275
合計	2,569,970,474	1,901,544,996

## 3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

## (4)【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1)株式(2026年1月26日現在)

該当事項はありません。

## (2)株式以外の有価証券(2026年1月26日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	日本円	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(USD Class)	4,859,183	34,621,678,875	

	小計	銘柄数：1 組入時価比率：98.5%	4,859,183	34,621,678,875 100.0%	
	合計			34,621,678,875	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー マザーファンド	98,261	100,815	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.0%	98,261	100,815 0.0%	
	合計			100,815	
	合計			34,621,779,690	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

## 第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 【野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）毎月分配型】

## （１）【貸借対照表】

（単位：円）

	前期 (2025年 7月25日現在)	当期 (2026年 1月26日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	298,400,114	308,550,025
投資信託受益証券	18,677,816,168	20,122,375,680
親投資信託受益証券	1,005,404	1,008,155
未収利息	4,001	6,252
流動資産合計	18,977,225,687	20,431,940,112
資産合計	18,977,225,687	20,431,940,112
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払収益分配金	61,342,127	58,291,648
未払解約金	26,433,407	33,314,105
未払受託者報酬	508,581	577,009
未払委託者報酬	14,409,808	16,348,651
その他未払費用	33,894	57,691
流動負債合計	102,727,817	108,589,104
負債合計	102,727,817	108,589,104
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	30,671,063,637	29,145,824,220
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	11,796,565,767	8,822,473,212
（分配準備積立金）	2,777,285,016	3,021,268,465
元本等合計	18,874,497,870	20,323,351,008
純資産合計	18,874,497,870	20,323,351,008
負債純資産合計	18,977,225,687	20,431,940,112

## （２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前期		当期	
	自 至	2025年 1月28日 2025年 7月25日	自 至	2025年 7月26日 2026年 1月26日
営業収益				
受取配当金		818,260,530		798,662,160
受取利息		613,958		690,277
有価証券売買等損益		569,633,950		2,083,277,872
営業収益合計		249,240,538		2,882,630,309
営業費用				
受託者報酬		2,997,964		3,217,425
委託者報酬		84,942,192		91,160,368
その他費用		199,804		263,493
営業費用合計		88,139,960		94,641,286
営業利益又は営業損失（ ）		161,100,578		2,787,989,023
経常利益又は経常損失（ ）		161,100,578		2,787,989,023
当期純利益又は当期純損失（ ）		161,100,578		2,787,989,023
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）		3,444,098		14,392,313
期首剰余金又は期首欠損金（ ）		12,035,762,483		11,796,565,767
剰余金増加額又は欠損金減少額		531,281,762		610,076,229
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		531,281,762		610,076,229
剰余金減少額又は欠損金増加額		82,828,276		51,947,964
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		82,828,276		51,947,964
分配金		373,801,446		357,632,420
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		11,796,565,767		8,822,473,212

## (3)【注記表】

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。 受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4. その他	当該財務諸表の特定期間は、2025年7月26日から2026年1月26日までとなっております。

## (重要な会計上の見積りに関する注記)

該当事項はありません。

## (貸借対照表に関する注記)

前期 2025年7月25日現在	当期 2026年1月26日現在
1. 特定期間の末日における受益権の総数 30,671,063,637口	1. 特定期間の末日における受益権の総数 29,145,824,220口
2. 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 11,796,565,767円	2. 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 8,822,473,212円
3. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.6154円 (10,000口当たり純資産額) (6,154円)	3. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.6973円 (10,000口当たり純資産額) (6,973円)

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

前期 自 2025年1月28日 至 2025年7月25日	当期 自 2025年7月26日 至 2026年1月26日																																																												
1. 分配金の計算過程 2025年1月28日から2025年2月25日まで	1. 分配金の計算過程 2025年7月26日から2025年8月25日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>121,876,870円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>29,141,737,893円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>2,474,989,557円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>31,738,604,320円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>31,572,117,569口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F × 10,000</td><td>10,052円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>20円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F × H/10,000</td><td>63,144,235円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	121,876,870円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	29,141,737,893円	分配準備積立金額	D	2,474,989,557円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	31,738,604,320円	当ファンドの期末残存口数	F	31,572,117,569口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	10,052円	10,000口当たり分配金額	H	20円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	63,144,235円	<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>119,017,169円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>28,088,342,710円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>2,752,760,668円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>30,960,120,547円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>30,416,175,231口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F × 10,000</td><td>10,178円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>20円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F × H/10,000</td><td>60,832,350円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	119,017,169円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	28,088,342,710円	分配準備積立金額	D	2,752,760,668円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	30,960,120,547円	当ファンドの期末残存口数	F	30,416,175,231口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	10,178円	10,000口当たり分配金額	H	20円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	60,832,350円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	121,876,870円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	29,141,737,893円																																																											
分配準備積立金額	D	2,474,989,557円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	31,738,604,320円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	31,572,117,569口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	10,052円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	20円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	63,144,235円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	119,017,169円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	28,088,342,710円																																																											
分配準備積立金額	D	2,752,760,668円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	30,960,120,547円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	30,416,175,231口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	10,178円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	20円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	60,832,350円																																																											
2025年2月26日から2025年3月25日まで	2025年8月26日から2025年9月25日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>122,818,093円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>28,983,534,796円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>2,518,333,963円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>31,624,686,852円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>31,398,762,864口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F × 10,000</td><td>10,071円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>20円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F × H/10,000</td><td>62,797,525円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	122,818,093円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	28,983,534,796円	分配準備積立金額	D	2,518,333,963円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	31,624,686,852円	当ファンドの期末残存口数	F	31,398,762,864口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	10,071円	10,000口当たり分配金額	H	20円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	62,797,525円	<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>130,962,618円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>27,867,447,159円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>2,787,164,397円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>30,785,574,174円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>30,174,925,122口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F × 10,000</td><td>10,202円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>20円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F × H/10,000</td><td>60,349,850円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	130,962,618円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	27,867,447,159円	分配準備積立金額	D	2,787,164,397円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	30,785,574,174円	当ファンドの期末残存口数	F	30,174,925,122口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	10,202円	10,000口当たり分配金額	H	20円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	60,349,850円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	122,818,093円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	28,983,534,796円																																																											
分配準備積立金額	D	2,518,333,963円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	31,624,686,852円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	31,398,762,864口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	10,071円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	20円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	62,797,525円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	130,962,618円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	27,867,447,159円																																																											
分配準備積立金額	D	2,787,164,397円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	30,785,574,174円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	30,174,925,122口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	10,202円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	20円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	60,349,850円																																																											
2025年3月26日から2025年4月25日まで	2025年9月26日から2025年10月27日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>121,370,291円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>28,802,147,635円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>2,560,593,870円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	121,370,291円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	28,802,147,635円	分配準備積立金額	D	2,560,593,870円	<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>125,071,368円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>27,594,766,720円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>2,828,308,122円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	125,071,368円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	27,594,766,720円	分配準備積立金額	D	2,828,308,122円																														
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	121,370,291円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	28,802,147,635円																																																											
分配準備積立金額	D	2,560,593,870円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	125,071,368円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	27,594,766,720円																																																											
分配準備積立金額	D	2,828,308,122円																																																											

当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	31,484,111,796円
当ファンドの期末残存口数	F	31,200,294,614口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	10,090円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金額	I=F×H/10,000	62,400,589円

2025年 4月26日から2025年 5月26日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	131,815,429円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	28,719,293,703円
分配準備積立金額	D	2,608,973,869円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	31,460,083,001円
当ファンドの期末残存口数	F	31,107,288,360口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	10,113円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金額	I=F×H/10,000	62,214,576円

2025年 5月27日から2025年 6月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	132,970,072円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	28,577,105,602円
分配準備積立金額	D	2,663,480,762円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	31,373,556,436円
当ファンドの期末残存口数	F	30,951,197,093口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	10,136円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金額	I=F×H/10,000	61,902,394円

2025年 6月26日から2025年 7月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	131,587,324円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	28,321,780,452円
分配準備積立金額	D	2,707,039,819円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	31,160,407,595円
当ファンドの期末残存口数	F	30,671,063,637口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	10,159円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金額	I=F×H/10,000	61,342,127円

当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	30,548,146,210円
当ファンドの期末残存口数	F	29,877,643,593口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	10,224円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金額	I=F×H/10,000	59,755,287円

2025年10月28日から2025年11月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	126,837,130円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	27,440,704,360円
分配準備積立金額	D	2,875,680,195円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	30,443,221,685円
当ファンドの期末残存口数	F	29,708,753,844口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	10,247円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金額	I=F×H/10,000	59,417,507円

2025年11月26日から2025年12月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	128,381,040円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	27,243,669,048円
分配準備積立金額	D	2,919,779,561円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	30,291,829,649円
当ファンドの期末残存口数	F	29,492,889,231口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	10,270円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金額	I=F×H/10,000	58,985,778円

2025年12月26日から2026年 1月26日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	128,822,529円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	26,927,055,575円
分配準備積立金額	D	2,950,737,584円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	30,006,615,688円
当ファンドの期末残存口数	F	29,145,824,220口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	10,295円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金額	I=F×H/10,000	58,291,648円

## (金融商品に関する注記)

## (1)金融商品の状況に関する事項

<p>前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日</p>	<p>当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日</p>
<p>1. 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p>	<p>1. 金融商品に対する取組方針 同左</p> <p>2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左</p> <p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p>

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの審査及び運用リスクの管理を行なっております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。	同左
---	----

## (2)金融商品の時価等に関する事項

前期 2025年 7月25日現在	当期 2026年 1月26日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2. 時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左 2. 時価の算定方法 同左

## (関連当事者との取引に関する注記)

前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

## (その他の注記)

## 1 元本の移動

前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
期首元本額 31,781,841,048円	期首元本額 30,671,063,637円
期中追加設定元本額 207,024,440円	期中追加設定元本額 144,928,146円
期中一部解約元本額 1,317,801,851円	期中一部解約元本額 1,670,167,563円

## 2 有価証券関係

## 売買目的有価証券

種類	前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
	損益に含まれた評価差額（円）	
投資信託受益証券	465,139,039	838,432,320
親投資信託受益証券	393	589
合計	465,139,432	838,432,909

## 3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

## (4)【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1)株式(2026年1月26日現在)

該当事項はありません。

## (2)株式以外の有価証券(2026年1月26日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	日本円	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(AUD Class)	4,366,835	20,122,375,680	

	小計	銘柄数：1 組入時価比率：99.0%	4,366,835	20,122,375,680 100.0%	
	合計			20,122,375,680	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー マザーファンド	982,608	1,008,155	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.0%	982,608	1,008,155 0.0%	
	合計			1,008,155	
	合計			20,123,383,835	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

## 第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 【野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）年2回決算型】

## （１）【貸借対照表】

（単位：円）

	第33期 (2025年 7月25日現在)	第34期 (2026年 1月26日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	17,909,314	20,385,375
投資信託受益証券	1,024,826,352	1,229,538,816
親投資信託受益証券	1,005,404	1,008,155
未収入金	-	24,600,848
未収利息	240	413
流動資産合計	1,043,741,310	1,275,533,607
資産合計	1,043,741,310	1,275,533,607
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払収益分配金	259,261	270,406
未払解約金	3,910,193	24,489,691
未払受託者報酬	166,945	189,889
未払委託者報酬	4,730,045	5,380,022
その他未払費用	11,067	15,605
流動負債合計	9,077,511	30,345,613
負債合計	9,077,511	30,345,613
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	259,261,106	270,406,432
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	775,402,693	974,781,562
（分配準備積立金）	263,642,627	335,114,822
元本等合計	1,034,663,799	1,245,187,994
純資産合計	1,034,663,799	1,245,187,994
負債純資産合計	1,043,741,310	1,275,533,607

## （２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第33期		第34期	
	自 至	2025年 1月28日 2025年 7月25日	自 至	2025年 7月26日 2026年 1月26日
営業収益				
受取配当金		45,567,090		47,398,830
受取利息		35,968		49,659
有価証券売買等損益		34,368,371		125,001,524
営業収益合計		11,234,687		172,450,013
営業費用				
受託者報酬		166,945		189,889
委託者報酬		4,730,045		5,380,022
その他費用		11,067		15,605
営業費用合計		4,908,057		5,585,516
営業利益又は営業損失（ ）		6,326,630		166,864,497
経常利益又は経常損失（ ）		6,326,630		166,864,497
当期純利益又は当期純損失（ ）		6,326,630		166,864,497
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）		4,567,126		4,476,415
期首剰余金又は期首欠損金（ ）		833,164,642		775,402,693
剰余金増加額又は欠損金減少額		7,498,205		85,435,468
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		7,498,205		85,435,468
剰余金減少額又は欠損金増加額		75,894,649		48,174,275
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		75,894,649		48,174,275
分配金		259,261		270,406
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		775,402,693		974,781,562

## (3)【注記表】

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。
2.費用・収益の計上基準	親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。 受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。
3.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4.その他	当ファンドの計算期間は、信託約款の規定により、2025年7月26日から2026年1月26日までとなっております。

## (重要な会計上の見積りに関する注記)

該当事項はありません。

## (貸借対照表に関する注記)

第33期 2025年7月25日現在	第34期 2026年1月26日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数 259,261,106口	1. 計算期間の末日における受益権の総数 270,406,432口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 3.9908円 (10,000口当たり純資産額) (39,908円)	2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 4.6049円 (10,000口当たり純資産額) (46,049円)

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

第33期 自 2025年1月28日 至 2025年7月25日	第34期 自 2025年7月26日 至 2026年1月26日																																																												
1.分配金の計算過程	1.分配金の計算過程																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>38,632,878円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>1,313,444,453円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>225,269,010円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>1,577,346,341円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>259,261,106口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F×10,000</td> <td>60,840円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F×H/10,000</td> <td>259,261円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	38,632,878円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	1,313,444,453円	分配準備積立金額	D	225,269,010円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,577,346,341円	当ファンドの期末残存口数	F	259,261,106口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	60,840円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F×H/10,000	259,261円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>44,496,075円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>42,407,530円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>1,397,733,072円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>248,481,623円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>1,733,118,300円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>270,406,432口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F×10,000</td> <td>64,093円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F×H/10,000</td> <td>270,406円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	44,496,075円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	42,407,530円	収益調整金額	C	1,397,733,072円	分配準備積立金額	D	248,481,623円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,733,118,300円	当ファンドの期末残存口数	F	270,406,432口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	64,093円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F×H/10,000	270,406円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	38,632,878円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	1,313,444,453円																																																											
分配準備積立金額	D	225,269,010円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,577,346,341円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	259,261,106口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	60,840円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I=F×H/10,000	259,261円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	44,496,075円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	42,407,530円																																																											
収益調整金額	C	1,397,733,072円																																																											
分配準備積立金額	D	248,481,623円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,733,118,300円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	270,406,432口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	64,093円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I=F×H/10,000	270,406円																																																											

## (金融商品に関する注記)

## (1)金融商品の状況に関する事項

第33期 自 2025年1月28日 至 2025年7月25日	第34期 自 2025年7月26日 至 2026年1月26日
1.金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1.金融商品に対する取組方針 同左
2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左
3.金融商品に係るリスク管理体制	3.金融商品に係るリスク管理体制

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの審査及び運用リスクの管理を行なっております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。	同左
---	----

## (2)金融商品の時価等に関する事項

第33期 2025年 7月25日現在	第34期 2026年 1月26日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2. 時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左 2. 時価の算定方法 同左

## (関連当事者との取引に関する注記)

第33期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第34期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

## (その他の注記)

## 1 元本の移動

第33期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第34期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
期首元本額 282,517,509円	期首元本額 259,261,106円
期中追加設定元本額 2,565,035円	期中追加設定元本額 27,261,091円
期中一部解約元本額 25,821,438円	期中一部解約元本額 16,115,765円

## 2 有価証券関係

## 売買目的有価証券

種類	第33期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第34期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
	損益に含まれた評価差額（円）	
投資信託受益証券	28,680,924	122,836,478
親投資信託受益証券	2,358	2,751
合計	28,678,566	122,839,229

## 3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

## (4)【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1)株式(2026年1月26日現在)

該当事項はありません。

## (2)株式以外の有価証券(2026年1月26日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	日本円	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(AUD Class)	266,827	1,229,538,816	

	小計	銘柄数：1 組入時価比率：98.7%	266,827	1,229,538,816 99.9%	
	合計			1,229,538,816	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー マザーファンド	982,608	1,008,155	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.1%	982,608	1,008,155 0.1%	
	合計			1,008,155	
合計				1,230,546,971	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

## 第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 【野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型】

## ( 1 ) 【貸借対照表】

( 単位：円 )

	前期 (2025年 7月25日現在)	当期 (2026年 1月26日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	404,472,002	494,488,645
投資信託受益証券	26,973,093,367	30,710,626,243
親投資信託受益証券	1,005,404	1,008,155
未収利息	5,424	10,020
流動資産合計	27,378,576,197	31,206,133,063
資産合計	27,378,576,197	31,206,133,063
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払収益分配金	32,462,580	30,647,463
未払解約金	75,151,045	27,474,109
未払受託者報酬	739,486	866,434
未払委託者報酬	20,952,068	24,548,910
その他未払費用	49,288	86,634
流動負債合計	129,354,467	83,623,550
負債合計	129,354,467	83,623,550
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	64,925,161,484	61,294,927,786
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金 ( )	37,675,939,754	30,172,418,273
( 分配準備積立金 )	3,926,145,456	4,139,509,555
元本等合計	27,249,221,730	31,122,509,513
純資産合計	27,249,221,730	31,122,509,513
負債純資産合計	27,378,576,197	31,206,133,063

## （２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前期		当期	
	自 至	2025年 1月28日 2025年 7月25日	自 至	2025年 7月26日 2026年 1月26日
営業収益				
受取配当金		720,140,760		684,163,140
受取利息		823,577		1,005,016
有価証券売買等損益		1,198,529,497		5,176,546,050
営業収益合計		1,919,493,834		5,861,714,206
営業費用				
受託者報酬		4,306,902		4,856,824
委託者報酬		122,028,954		137,609,936
その他費用		287,066		398,326
営業費用合計		126,622,922		142,865,086
営業利益又は営業損失（ ）		1,792,870,912		5,718,849,120
経常利益又は経常損失（ ）		1,792,870,912		5,718,849,120
当期純利益又は当期純損失（ ）		1,792,870,912		5,718,849,120
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）		11,025,418		22,457,033
期首剰余金又は期首欠損金（ ）		41,914,296,553		37,675,939,754
剰余金増加額又は欠損金減少額		2,734,997,867		2,179,529,328
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		2,734,997,867		2,179,529,328
剰余金減少額又は欠損金増加額		100,057,856		184,616,620
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		100,057,856		184,616,620
分配金		200,479,542		187,783,314
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		37,675,939,754		30,172,418,273

## （３）【注記表】

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場（計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場）で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。 受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4. その他	当該財務諸表の特定期間は、2025年 7月26日から2026年 1月26日までとなっております。

## （重要な会計上の見積りに関する注記）

該当事項はありません。

## （貸借対照表に関する注記）

前期 2025年 7月25日現在	当期 2026年 1月26日現在
1. 特定期間の末日における受益権の総数 64,925,161,484口	1. 特定期間の末日における受益権の総数 61,294,927,786口
2. 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 37,675,939,754円	2. 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 30,172,418,273円
3. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.4197円 (10,000口当たり純資産額) (4,197円)	3. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.5078円 (10,000口当たり純資産額) (5,078円)

## （損益及び剰余金計算書に関する注記）

前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日																																																												
1. 分配金の計算過程 2025年 1月28日から2025年 2月25日まで	1. 分配金の計算過程 2025年 7月26日から2025年 8月25日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>115,590,964円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>60,598,436,051円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>3,680,598,943円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>64,394,625,958円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>68,578,834,594口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F × 10,000</td><td>9,389円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>5円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F × H/10,000</td><td>34,289,417円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	115,590,964円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	60,598,436,051円	分配準備積立金額	D	3,680,598,943円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	64,394,625,958円	当ファンドの期末残存口数	F	68,578,834,594口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,389円	10,000口当たり分配金額	H	5円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	34,289,417円	<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>113,758,322円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>56,726,236,758円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>3,879,767,629円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>60,719,762,709円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>64,185,005,498口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F × 10,000</td><td>9,460円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>5円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F × H/10,000</td><td>32,092,502円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	113,758,322円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	56,726,236,758円	分配準備積立金額	D	3,879,767,629円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	60,719,762,709円	当ファンドの期末残存口数	F	64,185,005,498口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,460円	10,000口当たり分配金額	H	5円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	32,092,502円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	115,590,964円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	60,598,436,051円																																																											
分配準備積立金額	D	3,680,598,943円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	64,394,625,958円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	68,578,834,594口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,389円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	5円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	34,289,417円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	113,758,322円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	56,726,236,758円																																																											
分配準備積立金額	D	3,879,767,629円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	60,719,762,709円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	64,185,005,498口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,460円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	5円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	32,092,502円																																																											
2025年 2月26日から2025年 3月25日まで	2025年 8月26日から2025年 9月25日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>101,334,101円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>60,114,662,280円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>3,728,406,781円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>63,944,403,162円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>68,026,892,346口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F × 10,000</td><td>9,399円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>5円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F × H/10,000</td><td>34,013,446円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	101,334,101円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	60,114,662,280円	分配準備積立金額	D	3,728,406,781円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	63,944,403,162円	当ファンドの期末残存口数	F	68,026,892,346口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,399円	10,000口当たり分配金額	H	5円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	34,013,446円	<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>113,167,171円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>56,083,313,425円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>3,911,166,532円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>60,107,647,128円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>63,450,728,056口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F × 10,000</td><td>9,473円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>5円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F × H/10,000</td><td>31,725,364円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	113,167,171円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	56,083,313,425円	分配準備積立金額	D	3,911,166,532円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	60,107,647,128円	当ファンドの期末残存口数	F	63,450,728,056口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,473円	10,000口当たり分配金額	H	5円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	31,725,364円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	101,334,101円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	60,114,662,280円																																																											
分配準備積立金額	D	3,728,406,781円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	63,944,403,162円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	68,026,892,346口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,399円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	5円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	34,013,446円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	113,167,171円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	56,083,313,425円																																																											
分配準備積立金額	D	3,911,166,532円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	60,107,647,128円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	63,450,728,056口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,473円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	5円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	31,725,364円																																																											
2025年 3月26日から2025年 4月25日まで	2025年 9月26日から2025年10月27日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>98,473,821円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>59,094,186,515円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>3,731,452,001円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	98,473,821円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	59,094,186,515円	分配準備積立金額	D	3,731,452,001円	<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>108,981,354円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>55,480,572,681円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>3,945,272,651円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	108,981,354円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	55,480,572,681円	分配準備積立金額	D	3,945,272,651円																														
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	98,473,821円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	59,094,186,515円																																																											
分配準備積立金額	D	3,731,452,001円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	108,981,354円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	55,480,572,681円																																																											
分配準備積立金額	D	3,945,272,651円																																																											

当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	62,924,112,337円
当ファンドの期末残存口数	F	66,870,945,291口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	9,409円
10,000口当たり分配金額	H	5円
収益分配金額	I=F×H/10,000	33,435,472円

2025年 4月26日から2025年 5月26日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	114,109,334円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	58,795,616,850円
分配準備積立金額	D	3,776,489,584円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	62,686,215,768円
当ファンドの期末残存口数	F	66,531,872,636口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	9,421円
10,000口当たり分配金額	H	5円
収益分配金額	I=F×H/10,000	33,265,936円

2025年 5月27日から2025年 6月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	117,413,649円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	58,349,116,205円
分配準備積立金額	D	3,827,356,556円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	62,293,886,410円
当ファンドの期末残存口数	F	66,025,383,116口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	9,434円
10,000口当たり分配金額	H	5円
収益分配金額	I=F×H/10,000	33,012,691円

2025年 6月26日から2025年 7月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	111,851,860円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	57,377,898,231円
分配準備積立金額	D	3,846,756,176円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	61,336,506,267円
当ファンドの期末残存口数	F	64,925,161,484口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	9,447円
10,000口当たり分配金額	H	5円
収益分配金額	I=F×H/10,000	32,462,580円

当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	59,534,826,686円
当ファンドの期末残存口数	F	62,763,021,498口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	9,485円
10,000口当たり分配金額	H	5円
収益分配金額	I=F×H/10,000	31,381,510円

2025年10月28日から2025年11月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	111,034,859円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	55,040,893,467円
分配準備積立金額	D	3,987,320,783円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	59,139,249,109円
当ファンドの期末残存口数	F	62,260,943,172口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	9,498円
10,000口当たり分配金額	H	5円
収益分配金額	I=F×H/10,000	31,130,471円

2025年11月26日から2025年12月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	88,739,957円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	54,468,886,497円
分配準備積立金額	D	4,024,104,155円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	58,581,730,609円
当ファンドの期末残存口数	F	61,612,009,261口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	9,508円
10,000口当たり分配金額	H	5円
収益分配金額	I=F×H/10,000	30,806,004円

2025年12月26日から2026年 1月26日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	111,017,118円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	54,190,834,736円
分配準備積立金額	D	4,059,139,900円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	58,360,991,754円
当ファンドの期末残存口数	F	61,294,927,786口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	9,521円
10,000口当たり分配金額	H	5円
収益分配金額	I=F×H/10,000	30,647,463円

## (金融商品に関する注記)

## (1)金融商品の状況に関する事項

前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
<p>1. 金融商品に対する取組方針</p> <p>当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク</p> <p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。</p> <p>当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。</p> <p>これらは、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p>	<p>1. 金融商品に対する取組方針</p> <p>同左</p> <p>2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク</p> <p>同左</p> <p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p>

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの審査及び運用リスクの管理を行なっております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。	同左
---	----

## (2)金融商品の時価等に関する事項

前期 2025年 7月25日現在	当期 2026年 1月26日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2. 時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左 2. 時価の算定方法 同左

## (関連当事者との取引に関する注記)

前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

## (その他の注記)

## 1 元本の移動

前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
期首元本額 69,298,932,410円	期首元本額 64,925,161,484円
期中追加設定元本額 165,368,701円	期中追加設定元本額 340,745,507円
期中一部解約元本額 4,539,139,627円	期中一部解約元本額 3,970,979,205円

## 2 有価証券関係

## 売買目的有価証券

種類	前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	375,441,056	2,331,464,179
親投資信託受益証券	393	589
合計	375,441,449	2,331,464,768

## 3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

## (4)【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1)株式(2026年1月26日現在)

該当事項はありません。

## (2)株式以外の有価証券(2026年1月26日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	日本円	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(BRL Class)	11,155,331	30,710,626,243	

	小計	銘柄数：1 組入時価比率：98.7%	11,155,331	30,710,626,243 100.0%	
	合計			30,710,626,243	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー マザーファンド	982,608	1,008,155	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.0%	982,608	1,008,155 0.0%	
	合計			1,008,155	
	合計			30,711,634,398	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

## 第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 【野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型】

## （1）【貸借対照表】

（単位：円）

	第33期 (2025年 7月25日現在)	第34期 (2026年 1月26日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	39,156,786	43,808,311
投資信託受益証券	2,267,722,105	2,540,283,949
親投資信託受益証券	1,005,404	1,008,155
未収利息	525	887
流動資産合計	2,307,884,820	2,585,101,302
資産合計	2,307,884,820	2,585,101,302
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払収益分配金	582,594	537,833
未払解約金	8,247,930	-
未払受託者報酬	357,797	408,976
未払委託者報酬	10,137,310	11,587,663
その他未払費用	23,789	33,411
流動負債合計	19,349,420	12,567,883
負債合計	19,349,420	12,567,883
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	582,594,316	537,833,933
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	1,705,941,084	2,034,699,486
（分配準備積立金）	778,864,976	1,143,250,906
元本等合計	2,288,535,400	2,572,533,419
純資産合計	2,288,535,400	2,572,533,419
負債純資産合計	2,307,884,820	2,585,101,302

## （ 2 ） 【 損益及び剰余金計算書 】

（ 単位：円 ）

	第33期		第34期	
	自 至	2025年 1月28日 2025年 7月25日	自 至	2025年 7月26日 2026年 1月26日
営業収益				
受取配当金		59,807,880		57,555,070
受取利息		75,028		96,965
有価証券売買等損益		104,834,557		434,869,293
営業収益合計		164,717,465		492,521,328
営業費用				
受託者報酬		357,797		408,976
委託者報酬		10,137,310		11,587,663
その他費用		23,789		33,411
営業費用合計		10,518,896		12,030,050
営業利益又は営業損失（ ）		154,198,569		480,491,278
経常利益又は経常損失（ ）		154,198,569		480,491,278
当期純利益又は当期純損失（ ）		154,198,569		480,491,278
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）		3,329,283		24,413,133
期首剰余金又は期首欠損金（ ）		1,632,101,521		1,705,941,084
剰余金増加額又は欠損金減少額		34,941,244		29,230,045
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		34,941,244		29,230,045
剰余金減少額又は欠損金増加額		111,388,373		156,011,955
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		111,388,373		156,011,955
分配金		582,594		537,833
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		1,705,941,084		2,034,699,486

## （ 3 ）【注記表】

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1.運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。
2.費用・収益の計上基準	親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。 受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。
3.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4.その他	当ファンドの計算期間は、信託約款の規定により、2025年7月26日から2026年1月26日までとなっております。

## （重要な会計上の見積りに関する注記）

該当事項はありません。

## （貸借対照表に関する注記）

第33期 2025年7月25日現在	第34期 2026年1月26日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数 582,594,316口	1. 計算期間の末日における受益権の総数 537,833,933口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 3.9282円 (10,000口当たり純資産額) (39,282円)	2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 4.7831円 (10,000口当たり純資産額) (47,831円)

## （損益及び剰余金計算書に関する注記）

第33期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第34期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日																																																												
1. 分配金の計算過程	1. 分配金の計算過程																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>54,458,665円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>2,948,546,336円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>724,988,905円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>3,727,993,906円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>582,594,316口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>63,989円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F × H/10,000</td> <td>582,594円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	54,458,665円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	2,948,546,336円	分配準備積立金額	D	724,988,905円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	3,727,993,906円	当ファンドの期末残存口数	F	582,594,316口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	63,989円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	582,594円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>53,720,625円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>381,659,093円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>2,733,567,095円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>708,409,021円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>3,877,355,834円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>537,833,933口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>72,092円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F × H/10,000</td> <td>537,833円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	53,720,625円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	381,659,093円	収益調整金額	C	2,733,567,095円	分配準備積立金額	D	708,409,021円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	3,877,355,834円	当ファンドの期末残存口数	F	537,833,933口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	72,092円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	537,833円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	54,458,665円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	2,948,546,336円																																																											
分配準備積立金額	D	724,988,905円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	3,727,993,906円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	582,594,316口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	63,989円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	582,594円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	53,720,625円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	381,659,093円																																																											
収益調整金額	C	2,733,567,095円																																																											
分配準備積立金額	D	708,409,021円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	3,877,355,834円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	537,833,933口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	72,092円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	537,833円																																																											

## （金融商品に関する注記）

## (1)金融商品の状況に関する事項

第33期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第34期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
1. 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1. 金融商品に対する取組方針 同左
2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	3. 金融商品に係るリスク管理体制

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの審査及び運用リスクの管理を行なっております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。	同左
---	----

## (2)金融商品の時価等に関する事項

第33期 2025年 7月25日現在	第34期 2026年 1月26日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2. 時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左 2. 時価の算定方法 同左

## (関連当事者との取引に関する注記)

第33期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第34期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

## (その他の注記)

## 1 元本の移動

第33期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第34期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
期首元本額 610,740,958円	期首元本額 582,594,316円
期中追加設定元本額 13,712,800円	期中追加設定元本額 8,650,836円
期中一部解約元本額 41,859,442円	期中一部解約元本額 53,411,219円

## 2 有価証券関係

## 売買目的有価証券

種類	第33期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第34期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
	損益に含まれた評価差額（円）	
投資信託受益証券	103,660,251	416,752,360
親投資信託受益証券	2,358	2,751
合計	103,662,609	416,755,111

## 3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

## (4)【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1)株式(2026年1月26日現在)

該当事項はありません。

## (2)株式以外の有価証券(2026年1月26日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	日本円	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(BRL Class)	922,733	2,540,283,949	

	小計	銘柄数：1 組入時価比率：98.7%	922,733	2,540,283,949 100.0%	
	合計			2,540,283,949	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー マザーファンド	982,608	1,008,155	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.0%	982,608	1,008,155 0.0%	
	合計			1,008,155	
	合計			2,541,292,104	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

## 第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 【野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）毎月分配型】

## （１）【貸借対照表】

（単位：円）

	前期 (2025年 7月25日現在)	当期 (2026年 1月26日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	36,746,155	33,192,766
投資信託受益証券	1,963,245,405	2,030,658,564
親投資信託受益証券	1,005,404	1,008,155
未収利息	492	672
流動資産合計	2,000,997,456	2,064,860,157
資産合計	2,000,997,456	2,064,860,157
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払収益分配金	3,065,351	2,629,534
未払解約金	1,801,927	2,785,628
未払受託者報酬	53,995	58,953
未払委託者報酬	1,529,877	1,670,307
その他未払費用	3,590	5,889
流動負債合計	6,454,740	7,150,311
負債合計	6,454,740	7,150,311
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	6,130,702,726	5,259,069,767
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	4,136,160,010	3,201,359,921
（分配準備積立金）	246,873,888	256,124,270
元本等合計	1,994,542,716	2,057,709,846
純資産合計	1,994,542,716	2,057,709,846
負債純資産合計	2,000,997,456	2,064,860,157

## （２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前期		当期	
	自 至	2025年 1月28日 2025年 7月25日	自 至	2025年 7月26日 2026年 1月26日
営業収益				
受取配当金		72,980,910		67,106,640
受取利息		67,128		83,825
有価証券売買等損益		30,097,022		337,026,308
営業収益合計		42,951,016		404,216,773
営業費用				
受託者報酬		320,352		342,685
委託者報酬		9,076,450		9,709,316
その他費用		21,295		27,933
営業費用合計		9,418,097		10,079,934
営業利益又は営業損失（ ）		33,532,919		394,136,839
経常利益又は経常損失（ ）		33,532,919		394,136,839
当期純利益又は当期純損失（ ）		33,532,919		394,136,839
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）		253,418		3,108,732
期首剰余金又は期首欠損金（ ）		4,351,787,899		4,136,160,010
剰余金増加額又は欠損金減少額		277,945,366		574,933,338
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		277,945,366		574,933,338
剰余金減少額又は欠損金増加額		76,573,385		14,122,370
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		76,573,385		14,122,370
分配金		19,023,593		17,038,986
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		4,136,160,010		3,201,359,921

## （３）【注記表】

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場（計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場）で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。 受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4. その他	当該財務諸表の特定期間は、2025年 7月26日から2026年 1月26日までとなっております。

## （重要な会計上の見積りに関する注記）

該当事項はありません。

## （貸借対照表に関する注記）

前期 2025年 7月25日現在	当期 2026年 1月26日現在
1. 特定期間の末日における受益権の総数 6,130,702,726口	1. 特定期間の末日における受益権の総数 5,259,069,767口
2. 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 4,136,160,010円	2. 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 3,201,359,921円
3. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.3253円 (10,000口当たり純資産額) (3,253円)	3. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.3913円 (10,000口当たり純資産額) (3,913円)

## （損益及び剰余金計算書に関する注記）

前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日																																																												
1. 分配金の計算過程 2025年 1月28日から2025年 2月25日まで	1. 分配金の計算過程 2025年 7月26日から2025年 8月25日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>10,584,888円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>3,940,723,356円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>212,289,407円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>4,163,597,651円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>6,397,623,551口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F × 10,000</td><td>6,508円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>5円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F × H/10,000</td><td>3,198,811円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	10,584,888円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	3,940,723,356円	分配準備積立金額	D	212,289,407円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	4,163,597,651円	当ファンドの期末残存口数	F	6,397,623,551口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,508円	10,000口当たり分配金額	H	5円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	3,198,811円	<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>11,573,670円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>3,769,137,853円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>246,052,575円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>4,026,764,098円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>6,112,788,697口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F × 10,000</td><td>6,587円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>5円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F × H/10,000</td><td>3,056,394円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	11,573,670円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	3,769,137,853円	分配準備積立金額	D	246,052,575円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	4,026,764,098円	当ファンドの期末残存口数	F	6,112,788,697口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,587円	10,000口当たり分配金額	H	5円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	3,056,394円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	10,584,888円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	3,940,723,356円																																																											
分配準備積立金額	D	212,289,407円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	4,163,597,651円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	6,397,623,551口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,508円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	5円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	3,198,811円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	11,573,670円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	3,769,137,853円																																																											
分配準備積立金額	D	246,052,575円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	4,026,764,098円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	6,112,788,697口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,587円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	5円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	3,056,394円																																																											
2025年 2月26日から2025年 3月25日まで	2025年 8月26日から2025年 9月25日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>10,601,902円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>3,939,121,711円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>217,836,089円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>4,167,559,702円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>6,392,151,564口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F × 10,000</td><td>6,519円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>5円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F × H/10,000</td><td>3,196,075円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	10,601,902円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	3,939,121,711円	分配準備積立金額	D	217,836,089円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	4,167,559,702円	当ファンドの期末残存口数	F	6,392,151,564口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,519円	10,000口当たり分配金額	H	5円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	3,196,075円	<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>11,165,383円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>3,635,148,631円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>245,552,277円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>3,891,866,291円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>5,895,224,073口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F × 10,000</td><td>6,601円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>5円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F × H/10,000</td><td>2,947,612円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	11,165,383円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	3,635,148,631円	分配準備積立金額	D	245,552,277円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	3,891,866,291円	当ファンドの期末残存口数	F	5,895,224,073口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,601円	10,000口当たり分配金額	H	5円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	2,947,612円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	10,601,902円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	3,939,121,711円																																																											
分配準備積立金額	D	217,836,089円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	4,167,559,702円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	6,392,151,564口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,519円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	5円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	3,196,075円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	11,165,383円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	3,635,148,631円																																																											
分配準備積立金額	D	245,552,277円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	3,891,866,291円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	5,895,224,073口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,601円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	5円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	2,947,612円																																																											
2025年 3月26日から2025年 4月25日まで	2025年 9月26日から2025年10月27日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>10,625,864円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>3,941,392,670円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>223,815,575円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	10,625,864円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	3,941,392,670円	分配準備積立金額	D	223,815,575円	<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>11,069,530円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>3,559,106,219円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>248,278,676円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	11,069,530円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	3,559,106,219円	分配準備積立金額	D	248,278,676円																														
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	10,625,864円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	3,941,392,670円																																																											
分配準備積立金額	D	223,815,575円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	11,069,530円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	3,559,106,219円																																																											
分配準備積立金額	D	248,278,676円																																																											

当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	4,175,834,109円
当ファンドの期末残存口数	F	6,393,307,776口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	6,531円
10,000口当たり分配金額	H	5円
収益分配金額	I=F×H/10,000	3,196,653円

2025年 4月26日から2025年 5月26日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	11,981,915円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	3,931,952,245円
分配準備積立金額	D	230,546,060円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	4,174,480,220円
当ファンドの期末残存口数	F	6,377,747,812口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	6,545円
10,000口当たり分配金額	H	5円
収益分配金額	I=F×H/10,000	3,188,873円

2025年 5月27日から2025年 6月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	12,083,292円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	3,918,582,297円
分配準備積立金額	D	238,291,568円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	4,168,957,157円
当ファンドの期末残存口数	F	6,355,660,899口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	6,559円
10,000口当たり分配金額	H	5円
収益分配金額	I=F×H/10,000	3,177,830円

2025年 6月26日から2025年 7月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	11,471,091円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	3,780,065,305円
分配準備積立金額	D	238,468,148円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	4,030,004,544円
当ファンドの期末残存口数	F	6,130,702,726口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	6,573円
10,000口当たり分配金額	H	5円
収益分配金額	I=F×H/10,000	3,065,351円

当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	3,818,454,425円
当ファンドの期末残存口数	F	5,771,454,520口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	6,616円
10,000口当たり分配金額	H	5円
収益分配金額	I=F×H/10,000	2,885,727円

2025年10月28日から2025年11月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	10,990,148円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	3,522,572,550円
分配準備積立金額	D	253,710,368円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	3,787,273,066円
当ファンドの期末残存口数	F	5,711,944,369口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	6,630円
10,000口当たり分配金額	H	5円
収益分配金額	I=F×H/10,000	2,855,972円

2025年11月26日から2025年12月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	10,036,989円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	3,285,597,597円
分配準備積立金額	D	244,508,292円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	3,540,142,878円
当ファンドの期末残存口数	F	5,327,494,378口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	6,645円
10,000口当たり分配金額	H	5円
収益分配金額	I=F×H/10,000	2,663,747円

2025年12月26日から2026年 1月26日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	10,134,827円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	3,243,493,163円
分配準備積立金額	D	248,618,977円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	3,502,246,967円
当ファンドの期末残存口数	F	5,259,069,767口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	6,659円
10,000口当たり分配金額	H	5円
収益分配金額	I=F×H/10,000	2,629,534円

## (金融商品に関する注記)

## (1)金融商品の状況に関する事項

前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
1. 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1. 金融商品に対する取組方針 同左
2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。	2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左
当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。	
これらは、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	
3. 金融商品に係るリスク管理体制	3. 金融商品に係るリスク管理体制

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの審査及び運用リスクの管理を行なっております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。	同左
---	----

## (2)金融商品の時価等に関する事項

前期 2025年 7月25日現在	当期 2026年 1月26日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2. 時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左 2. 時価の算定方法 同左

## (関連当事者との取引に関する注記)

前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

## (その他の注記)

## 1 元本の移動

前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
期首元本額 6,425,314,482円	期首元本額 6,130,702,726円
期中追加設定元本額 110,263,622円	期中追加設定元本額 21,776,161円
期中一部解約元本額 404,875,378円	期中一部解約元本額 893,409,120円

## 2 有価証券関係

## 売買目的有価証券

種類	前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	37,960,032	64,366,478
親投資信託受益証券	393	589
合計	37,960,425	64,367,067

## 3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

## (4)【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1)株式(2026年1月26日現在)

該当事項はありません。

## (2)株式以外の有価証券(2026年1月26日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	日本円	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(TRY Class)	1,038,169	2,030,658,564	

	小計	銘柄数：1 組入時価比率：98.7%	1,038,169	2,030,658,564 100.0%	
	合計			2,030,658,564	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー マザーファンド	982,608	1,008,155	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.0%	982,608	1,008,155 0.0%	
	合計			1,008,155	
	合計			2,031,666,719	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

## 第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 【野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）年2回決算型】

## （1）【貸借対照表】

（単位：円）

	第33期 (2025年 7月25日現在)	第34期 (2026年 1月26日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	13,373,201	13,857,321
投資信託受益証券	661,026,860	787,473,864
親投資信託受益証券	100,540	100,815
未収入金	7,901,377	-
未収利息	179	280
流動資産合計	682,402,157	801,432,280
資産合計	682,402,157	801,432,280
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払収益分配金	344,130	338,085
未払解約金	8,600,027	-
未払受託者報酬	107,953	128,044
未払委託者報酬	3,058,710	3,627,752
その他未払費用	7,130	10,457
流動負債合計	12,117,950	4,104,338
負債合計	12,117,950	4,104,338
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	344,130,902	338,085,713
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	326,153,305	459,242,229
（分配準備積立金）	151,732,089	211,682,425
元本等合計	670,284,207	797,327,942
純資産合計	670,284,207	797,327,942
負債純資産合計	682,402,157	801,432,280

## （ 2 ） 【 損益及び剰余金計算書 】

（ 単位：円 ）

	第33期		第34期	
	自 至	2025年 1月28日 2025年 7月25日	自 至	2025年 7月26日 2026年 1月26日
営業収益				
受取配当金		24,621,830		25,135,410
受取利息		27,506		34,562
有価証券売買等損益		11,606,739		125,053,990
営業収益合計		13,042,597		150,223,962
営業費用				
受託者報酬		107,953		128,044
委託者報酬		3,058,710		3,627,752
その他費用		7,130		10,457
営業費用合計		3,173,793		3,766,253
営業利益又は営業損失（ ）		9,868,804		146,457,709
経常利益又は経常損失（ ）		9,868,804		146,457,709
当期純利益又は当期純損失（ ）		9,868,804		146,457,709
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）		1,682,644		9,071,594
期首剰余金又は期首欠損金（ ）		331,778,159		326,153,305
剰余金増加額又は欠損金減少額		20,482,699		44,984,390
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		20,482,699		44,984,390
剰余金減少額又は欠損金増加額		37,314,871		48,943,496
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		37,314,871		48,943,496
分配金		344,130		338,085
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		326,153,305		459,242,229

## (3)【注記表】

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。
2.費用・収益の計上基準	親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。 受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。
3.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。
4.その他	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 当ファンドの計算期間は、信託約款の規定により、2025年7月26日から2026年1月26日までとなっております。

## (重要な会計上の見積りに関する注記)

該当事項はありません。

## (貸借対照表に関する注記)

第33期 2025年7月25日現在	第34期 2026年1月26日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数 344,130,902口	1. 計算期間の末日における受益権の総数 338,085,713口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.9478円 (10,000口当たり純資産額) (19,478円)	2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 2.3584円 (10,000口当たり純資産額) (23,584円)

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

第33期 自 2025年1月28日 至 2025年7月25日	第34期 自 2025年7月26日 至 2026年1月26日																																																												
1. 分配金の計算過程	1. 分配金の計算過程																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>20,451,939円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>1,215,067,188円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>131,624,280円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>1,367,143,407円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>344,130,902口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F×10,000</td> <td>39,727円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F×H/10,000</td> <td>344,130円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	20,451,939円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	1,215,067,188円	分配準備積立金額	D	131,624,280円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,367,143,407円	当ファンドの期末残存口数	F	344,130,902口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	39,727円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F×H/10,000	344,130円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>23,259,501円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>57,129,269円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>1,211,564,715円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>131,631,740円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>1,423,585,225円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>338,085,713口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F×10,000</td> <td>42,107円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F×H/10,000</td> <td>338,085円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	23,259,501円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	57,129,269円	収益調整金額	C	1,211,564,715円	分配準備積立金額	D	131,631,740円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,423,585,225円	当ファンドの期末残存口数	F	338,085,713口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	42,107円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F×H/10,000	338,085円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	20,451,939円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	1,215,067,188円																																																											
分配準備積立金額	D	131,624,280円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,367,143,407円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	344,130,902口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	39,727円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I=F×H/10,000	344,130円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	23,259,501円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	57,129,269円																																																											
収益調整金額	C	1,211,564,715円																																																											
分配準備積立金額	D	131,631,740円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,423,585,225円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	338,085,713口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	42,107円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I=F×H/10,000	338,085円																																																											

## (金融商品に関する注記)

## (1)金融商品の状況に関する事項

第33期 自 2025年1月28日 至 2025年7月25日	第34期 自 2025年7月26日 至 2026年1月26日
1. 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1. 金融商品に対する取組方針 同左
2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	3. 金融商品に係るリスク管理体制

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの審査及び運用リスクの管理を行なっております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。	同左
---	----

## (2)金融商品の時価等に関する事項

第33期 2025年 7月25日現在	第34期 2026年 1月26日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2. 時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左 2. 時価の算定方法 同左

## (関連当事者との取引に関する注記)

第33期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第34期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

## (その他の注記)

## 1 元本の移動

第33期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第34期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
期首元本額 362,632,388円	期首元本額 344,130,902円
期中追加設定元本額 22,506,462円	期中追加設定元本額 45,698,074円
期中一部解約元本額 41,007,948円	期中一部解約元本額 51,743,263円

## 2 有価証券関係

## 売買目的有価証券

種類	第33期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第34期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
	損益に含まれた評価差額（円）	
投資信託受益証券	9,989,294	119,320,810
親投資信託受益証券	236	275
合計	9,989,058	119,321,085

## 3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

## (4)【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1)株式(2026年1月26日現在)

該当事項はありません。

## (2)株式以外の有価証券(2026年1月26日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	日本円	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(TRY Class)	402,594	787,473,864	

	小計	銘柄数：1 組入時価比率：98.8%	402,594	787,473,864 100.0%	
	合計			787,473,864	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー マザーファンド	98,261	100,815	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.0%	98,261	100,815 0.0%	
	合計			100,815	
	合計			787,574,679	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

## 第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 【野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）毎月分配型】

## ( 1 ) 【貸借対照表】

( 単位：円 )

	前期 (2025年 7月25日現在)	当期 (2026年 1月26日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	60,679,304	69,052,612
投資信託受益証券	3,976,238,448	4,408,728,467
親投資信託受益証券	1,005,405	1,008,156
未収利息	813	1,399
流動資産合計	4,037,923,970	4,478,790,634
資産合計	4,037,923,970	4,478,790,634
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払収益分配金	4,980,213	4,744,937
未払解約金	2,209,036	7,282,712
未払受託者報酬	109,259	126,347
未払委託者報酬	3,095,690	3,579,856
その他未払費用	7,272	12,626
流動負債合計	10,401,470	15,746,478
負債合計	10,401,470	15,746,478
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	4,980,213,963	4,744,937,322
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	952,691,463	281,893,166
（分配準備積立金）	739,032,638	1,016,142,042
元本等合計	4,027,522,500	4,463,044,156
純資産合計	4,027,522,500	4,463,044,156
負債純資産合計	4,037,923,970	4,478,790,634

## （２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前期		当期	
	自	2025年 1月28日	自	2025年 7月26日
	至	2025年 7月25日	至	2026年 1月26日
営業収益				
受取配当金		92,213,740		87,156,520
受取利息		127,510		160,108
有価証券売買等損益		21,440,900		597,502,777
営業収益合計		113,782,150		684,819,405
営業費用				
受託者報酬		643,176		699,409
委託者報酬		18,223,346		19,816,644
その他費用		42,818		57,275
営業費用合計		18,909,340		20,573,328
営業利益又は営業損失（ ）		94,872,810		664,246,077
経常利益又は経常損失（ ）		94,872,810		664,246,077
当期純利益又は当期純損失（ ）		94,872,810		664,246,077
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）		3,750,303		3,659,599
期首剰余金又は期首欠損金（ ）		1,115,234,540		952,691,463
剰余金増加額又は欠損金減少額		97,298,462		48,511,009
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		97,298,462		48,511,009
剰余金減少額又は欠損金増加額		2,653,578		9,408,377
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		2,653,578		9,408,377
分配金		30,724,920		28,890,813
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		952,691,463		281,893,166

## （ 3 ）【注記表】

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場（計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場）で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。 受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4. その他	当該財務諸表の特定期間は、2025年7月26日から2026年1月26日までとなっております。

## （重要な会計上の見積りに関する注記）

該当事項はありません。

## （貸借対照表に関する注記）

前期 2025年7月25日現在	当期 2026年1月26日現在
1. 特定期間の末日における受益権の総数 4,980,213,963口	1. 特定期間の末日における受益権の総数 4,744,937,322口
2. 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 952,691,463円	2. 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 281,893,166円
3. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.8087円 (10,000口当たり純資産額) (8,087円)	3. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.9406円 (10,000口当たり純資産額) (9,406円)

## （損益及び剰余金計算書に関する注記）

前期 自 2025年1月28日 至 2025年7月25日	当期 自 2025年7月26日 至 2026年1月26日																																																												
1. 分配金の計算過程 2025年1月28日から2025年2月25日まで	1. 分配金の計算過程 2025年7月26日から2025年8月25日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>12,633,959円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>2,351,067,972円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>740,447,674円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>3,104,149,605円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>5,342,671,584口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F × 10,000</td><td>5,810円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>10円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F × H/10,000</td><td>5,342,671円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	12,633,959円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	2,351,067,972円	分配準備積立金額	D	740,447,674円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	3,104,149,605円	当ファンドの期末残存口数	F	5,342,671,584口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	5,810円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	5,342,671円	<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>14,221,873円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>2,176,597,336円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>733,101,608円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>2,923,920,817円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>4,942,232,791口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F × 10,000</td><td>5,916円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>10円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F × H/10,000</td><td>4,942,232円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	14,221,873円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	2,176,597,336円	分配準備積立金額	D	733,101,608円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,923,920,817円	当ファンドの期末残存口数	F	4,942,232,791口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	5,916円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	4,942,232円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	12,633,959円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	2,351,067,972円																																																											
分配準備積立金額	D	740,447,674円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	3,104,149,605円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	5,342,671,584口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	5,810円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	5,342,671円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	14,221,873円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	2,176,597,336円																																																											
分配準備積立金額	D	733,101,608円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,923,920,817円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	4,942,232,791口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	5,916円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	4,942,232円																																																											
2025年2月26日から2025年3月25日まで	2025年8月26日から2025年9月25日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>12,528,073円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>2,285,151,460円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>726,829,358円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>3,024,508,891円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>5,192,392,692口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F × 10,000</td><td>5,824円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>10円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F × H/10,000</td><td>5,192,392円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	12,528,073円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	2,285,151,460円	分配準備積立金額	D	726,829,358円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	3,024,508,891円	当ファンドの期末残存口数	F	5,192,392,692口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	5,824円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	5,192,392円	<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>14,276,066円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>2,158,079,297円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>735,568,431円</td></tr> <tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>2,907,923,794円</td></tr> <tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>4,899,160,843口</td></tr> <tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F × 10,000</td><td>5,935円</td></tr> <tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>10円</td></tr> <tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F × H/10,000</td><td>4,899,160円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	14,276,066円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	2,158,079,297円	分配準備積立金額	D	735,568,431円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,907,923,794円	当ファンドの期末残存口数	F	4,899,160,843口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	5,935円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	4,899,160円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	12,528,073円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	2,285,151,460円																																																											
分配準備積立金額	D	726,829,358円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	3,024,508,891円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	5,192,392,692口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	5,824円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	5,192,392円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	14,276,066円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	2,158,079,297円																																																											
分配準備積立金額	D	735,568,431円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,907,923,794円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	4,899,160,843口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	5,935円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	4,899,160円																																																											
2025年3月26日から2025年4月25日まで	2025年9月26日から2025年10月27日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>12,157,597円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>2,251,304,396円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>723,178,055円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	12,157,597円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	2,251,304,396円	分配準備積立金額	D	723,178,055円	<table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>13,801,094円</td></tr> <tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr> <tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>2,102,905,643円</td></tr> <tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>725,568,221円</td></tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	13,801,094円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	2,102,905,643円	分配準備積立金額	D	725,568,221円																														
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	12,157,597円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	2,251,304,396円																																																											
分配準備積立金額	D	723,178,055円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	13,801,094円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	2,102,905,643円																																																											
分配準備積立金額	D	725,568,221円																																																											

当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,986,640,048円
当ファンドの期末残存口数	F	5,115,011,329口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	5,838円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金額	I=F×H/10,000	5,115,011円

2025年 4月26日から2025年 5月26日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	14,796,674円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	2,227,171,113円
分配準備積立金額	D	722,146,181円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,964,113,968円
当ファンドの期末残存口数	F	5,059,558,649口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	5,858円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金額	I=F×H/10,000	5,059,558円

2025年 5月27日から2025年 6月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	14,791,530円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	2,216,625,965円
分配準備積立金額	D	728,163,065円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,959,580,560円
当ファンドの期末残存口数	F	5,035,075,241口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	5,877円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金額	I=F×H/10,000	5,035,075円

2025年 6月26日から2025年 7月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	14,467,168円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	2,192,932,465円
分配準備積立金額	D	729,545,683円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,936,945,316円
当ファンドの期末残存口数	F	4,980,213,963口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	5,897円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金額	I=F×H/10,000	4,980,213円

当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,842,274,958円
当ファンドの期末残存口数	F	4,772,843,157口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	5,955円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金額	I=F×H/10,000	4,772,843円

2025年10月28日から2025年11月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	13,967,447円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	67,905,024円
収益調整金額	C	2,093,956,814円
分配準備積立金額	D	731,138,059円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,906,967,344円
当ファンドの期末残存口数	F	4,751,879,262口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	6,117円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金額	I=F×H/10,000	4,751,879円

2025年11月26日から2025年12月25日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	10,938,480円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	139,585円
収益調整金額	C	2,118,724,667円
分配準備積立金額	D	800,805,794円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,930,608,526円
当ファンドの期末残存口数	F	4,779,762,603口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	6,131円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金額	I=F×H/10,000	4,779,762円

2025年12月26日から2026年 1月26日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	14,180,528円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	205,706,309円
収益調整金額	C	2,103,596,002円
分配準備積立金額	D	801,000,142円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	3,124,482,981円
当ファンドの期末残存口数	F	4,744,937,322口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	6,584円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金額	I=F×H/10,000	4,744,937円

## (金融商品に関する注記)

## (1)金融商品の状況に関する事項

前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
1. 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1. 金融商品に対する取組方針 同左
2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	3. 金融商品に係るリスク管理体制

<p>委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの審査及び運用リスクの管理を行なっております。</p> <p>市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。</p> <p>信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。</p> <p>流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。</p>	同左
---	----

## (2)金融商品の時価等に関する事項

前期 2025年 7月25日現在	当期 2026年 1月26日現在
<p>1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p> <p>2. 時価の算定方法 投資信託受益証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 親投資信託受益証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。</p>	<p>1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左</p> <p>2. 時価の算定方法 同左</p>

## (関連当事者との取引に関する注記)

前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

## (その他の注記)

## 1 元本の移動

前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
期首元本額 5,394,635,029円	期首元本額 4,980,213,963円
期中追加設定元本額 11,899,848円	期中追加設定元本額 85,309,059円
期中一部解約元本額 426,320,914円	期中一部解約元本額 320,585,700円

## 2 有価証券関係

## 売買目的有価証券

種類	前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
	損益に含まれた評価差額(円)	
投資信託受益証券	87,316,047	209,179,791
親投資信託受益証券	393	589
合計	87,316,440	209,180,380

## 3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

## (4)【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1)株式(2026年1月26日現在)

該当事項はありません。

## (2)株式以外の有価証券(2026年1月26日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
----	----	----	------	-----	----

投資信託受益証券	日本円	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド (Currency Select Class)	716,983	4,408,728,467	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：98.8%	716,983	4,408,728,467	100.0%
	合計			4,408,728,467	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー マザーファンド	982,609	1,008,156	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.0%	982,609	1,008,156	0.0%
	合計			1,008,156	
合計				4,409,736,623	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

## 第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 【野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）年2回決算型】

## （1）【貸借対照表】

（単位：円）

	第28期 (2025年 7月25日現在)	第29期 (2026年 1月26日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	28,987,687	61,778,643
投資信託受益証券	1,488,962,880	1,457,700,387
親投資信託受益証券	100,541	100,816
未収利息	388	1,251
流動資産合計	1,518,051,496	1,519,581,097
資産合計	1,518,051,496	1,519,581,097
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	-	12,703,834
未払収益分配金	546,411	463,634
未払受託者報酬	238,747	251,394
未払委託者報酬	6,764,340	7,122,893
その他未払費用	15,857	20,510
流動負債合計	7,565,355	20,562,265
負債合計	7,565,355	20,562,265
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	546,411,086	463,634,608
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	964,075,055	1,035,384,224
（分配準備積立金）	350,870,848	489,589,407
元本等合計	1,510,486,141	1,499,018,832
純資産合計	1,510,486,141	1,499,018,832
負債純資産合計	1,518,051,496	1,519,581,097

## （ 2 ） 【 損益及び剰余金計算書 】

（ 単位：円 ）

	第28期		第29期	
	自	2025年 1月28日	自	2025年 7月26日
	至	2025年 7月25日	至	2026年 1月26日
<b>営業収益</b>				
受取配当金		34,194,620		31,449,500
受取利息		58,268		68,439
有価証券売買等損益		13,070,678		211,245,741
<b>営業収益合計</b>		<b>47,323,566</b>		<b>242,763,680</b>
<b>営業費用</b>				
受託者報酬		238,747		251,394
委託者報酬		6,764,340		7,122,893
その他費用		15,857		20,510
<b>営業費用合計</b>		<b>7,018,944</b>		<b>7,394,797</b>
<b>営業利益又は営業損失（ ）</b>		<b>40,304,622</b>		<b>235,368,883</b>
<b>経常利益又は経常損失（ ）</b>		<b>40,304,622</b>		<b>235,368,883</b>
<b>当期純利益又は当期純損失（ ）</b>		<b>40,304,622</b>		<b>235,368,883</b>
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）		1,695,546		25,129,186
<b>期首剰余金又は期首欠損金（ ）</b>		<b>982,374,649</b>		<b>964,075,055</b>
剰余金増加額又は欠損金減少額		12,262,300		62,343,028
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		12,262,300		62,343,028
剰余金減少額又は欠損金増加額		72,015,651		200,809,922
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		72,015,651		200,809,922
分配金		546,411		463,634
<b>期末剰余金又は期末欠損金（ ）</b>		<b>964,075,055</b>		<b>1,035,384,224</b>

## (3)【注記表】

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。 受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4. その他	当ファンドの計算期間は、信託約款の規定により、2025年7月26日から2026年1月26日までとなっております。

## (重要な会計上の見積りに関する注記)

該当事項はありません。

## (貸借対照表に関する注記)

第28期 2025年7月25日現在	第29期 2026年1月26日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数 546,411,086口	1. 計算期間の末日における受益権の総数 463,634,608口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 2.7644円 (10,000口当たり純資産額) (27,644円)	2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 3.2332円 (10,000口当たり純資産額) (32,332円)

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

第28期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第29期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日																																																												
1. 分配金の計算過程	1. 分配金の計算過程																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>28,454,143円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>1,225,243,256円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>322,963,116円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>1,576,660,515円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>546,411,086口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F×10,000</td> <td>28,854円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F×H/10,000</td> <td>546,411円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	28,454,143円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	1,225,243,256円	分配準備積立金額	D	322,963,116円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,576,660,515円	当ファンドの期末残存口数	F	546,411,086口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	28,854円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F×H/10,000	546,411円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>27,352,828円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>182,825,296円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>1,059,142,140円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>279,874,917円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>1,549,195,181円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>463,634,608口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F×10,000</td> <td>33,414円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F×H/10,000</td> <td>463,634円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	27,352,828円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	182,825,296円	収益調整金額	C	1,059,142,140円	分配準備積立金額	D	279,874,917円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,549,195,181円	当ファンドの期末残存口数	F	463,634,608口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	33,414円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F×H/10,000	463,634円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	28,454,143円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	1,225,243,256円																																																											
分配準備積立金額	D	322,963,116円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,576,660,515円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	546,411,086口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	28,854円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I=F×H/10,000	546,411円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	27,352,828円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	182,825,296円																																																											
収益調整金額	C	1,059,142,140円																																																											
分配準備積立金額	D	279,874,917円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,549,195,181円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	463,634,608口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	33,414円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I=F×H/10,000	463,634円																																																											

## (金融商品に関する注記)

## (1)金融商品の状況に関する事項

第28期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第29期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
1. 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1. 金融商品に対する取組方針 同左
2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	3. 金融商品に係るリスク管理体制

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの審査及び運用リスクの管理を行なっております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。	同左
---	----

## (2)金融商品の時価等に関する事項

第28期 2025年 7月25日現在	第29期 2026年 1月26日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2. 時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左 2. 時価の算定方法 同左

## (関連当事者との取引に関する注記)

第28期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第29期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

## (その他の注記)

## 1 元本の移動

第28期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第29期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
期首元本額 580,911,235円	期首元本額 546,411,086円
期中追加設定元本額 8,317,548円	期中追加設定元本額 31,292,869円
期中一部解約元本額 42,817,697円	期中一部解約元本額 114,069,347円

## 2 有価証券関係

## 売買目的有価証券

種類	第28期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第29期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
	損益に含まれた評価差額（円）	
投資信託受益証券	15,968,345	191,454,406
親投資信託受益証券	236	275
合計	15,968,581	191,454,681

## 3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

## (4)【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1)株式(2026年1月26日現在)

該当事項はありません。

## (2)株式以外の有価証券(2026年1月26日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
----	----	----	------	-----	----

投資信託受益証券	日本円	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド (Currency Select Class)	237,063	1,457,700,387	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：97.2%	237,063	1,457,700,387	100.0%
	合計			1,457,700,387	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー マザーファンド	98,262	100,816	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.0%	98,262	100,816	0.0%
	合計			100,816	
合計				1,457,801,203	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

## 第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 【野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型】

## （１）【貸借対照表】

（単位：円）

	前期 (2025年 7月25日現在)	当期 (2026年 1月26日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	16,886,497	18,404,878
投資信託受益証券	1,109,021,628	1,226,349,740
親投資信託受益証券	10,035	10,063
未収入金	6,906,710	-
未収利息	226	372
流動資産合計	1,132,825,096	1,244,765,053
資産合計	1,132,825,096	1,244,765,053
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払収益分配金	1,894,637	1,739,820
未払解約金	5,490,092	6,071,450
未払受託者報酬	29,603	34,753
未払委託者報酬	838,697	984,679
その他未払費用	1,966	3,466
流動負債合計	8,254,995	8,834,168
負債合計	8,254,995	8,834,168
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	947,318,901	869,910,109
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	177,251,200	366,020,776
（分配準備積立金）	503,535,612	569,812,395
元本等合計	1,124,570,101	1,235,930,885
純資産合計	1,124,570,101	1,235,930,885
負債純資産合計	1,132,825,096	1,244,765,053

## （２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前期		当期	
	自 至	2025年 1月28日 2025年 7月25日	自 至	2025年 7月26日 2026年 1月26日
営業収益				
受取配当金		27,082,960		25,700,520
受取利息		44,802		53,846
有価証券売買等損益		54,662,394		200,122,442
営業収益合計		81,790,156		225,876,808
営業費用				
受託者報酬		171,920		193,282
委託者報酬		4,870,935		5,476,190
その他費用		11,405		15,764
営業費用合計		5,054,260		5,685,236
営業利益又は営業損失（ ）		76,735,896		220,191,572
経常利益又は経常損失（ ）		76,735,896		220,191,572
当期純利益又は当期純損失（ ）		76,735,896		220,191,572
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）		2,229,485		2,707,873
期首剰余金又は期首欠損金（ ）		118,645,600		177,251,200
剰余金増加額又は欠損金減少額		7,032,373		12,552,450
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		7,032,373		12,552,450
剰余金減少額又は欠損金増加額		15,885,267		30,489,834
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		15,885,267		30,489,834
分配金		11,506,887		10,776,739
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		177,251,200		366,020,776

## (3)【注記表】

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。
2.費用・収益の計上基準	親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。 受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。
3.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4.その他	当該財務諸表の特定期間は、2025年7月26日から2026年1月26日までとなっております。

## (重要な会計上の見積りに関する注記)

該当事項はありません。

## (貸借対照表に関する注記)

前期 2025年7月25日現在	当期 2026年1月26日現在
1. 特定期間の末日における受益権の総数 947,318,901口	1. 特定期間の末日における受益権の総数 869,910,109口
2. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.1871円 (10,000口当たり純資産額) (11,871円)	2. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.4208円 (10,000口当たり純資産額) (14,208円)

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

前期 自 2025年1月28日 至 2025年7月25日	当期 自 2025年7月26日 至 2026年1月26日																																																												
1. 分配金の計算過程 2025年1月28日から2025年2月25日まで	1. 分配金の計算過程 2025年7月26日から2025年8月25日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>3,712,472円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>296,502,715円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>532,527,344円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>832,742,531円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>970,412,411口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>8,581円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>20円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F × H/10,000</td> <td>1,940,824円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	3,712,472円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	296,502,715円	分配準備積立金額	D	532,527,344円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	832,742,531円	当ファンドの期末残存口数	F	970,412,411口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	8,581円	10,000口当たり分配金額	H	20円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	1,940,824円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>4,209,114円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>323,371,200円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>495,151,971円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>822,732,285円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>942,976,061口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>8,724円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>20円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F × H/10,000</td> <td>1,885,952円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	4,209,114円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	323,371,200円	分配準備積立金額	D	495,151,971円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	822,732,285円	当ファンドの期末残存口数	F	942,976,061口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	8,724円	10,000口当たり分配金額	H	20円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	1,885,952円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	3,712,472円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	296,502,715円																																																											
分配準備積立金額	D	532,527,344円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	832,742,531円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	970,412,411口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	8,581円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	20円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	1,940,824円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	4,209,114円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	323,371,200円																																																											
分配準備積立金額	D	495,151,971円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	822,732,285円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	942,976,061口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	8,724円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	20円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	1,885,952円																																																											
2025年2月26日から2025年3月25日まで	2025年8月26日から2025年9月25日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>3,860,371円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>310,861,269円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>534,293,197円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>849,014,837円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>987,176,964口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>8,600円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>20円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F × H/10,000</td> <td>1,974,353円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	3,860,371円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	310,861,269円	分配準備積立金額	D	534,293,197円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	849,014,837円	当ファンドの期末残存口数	F	987,176,964口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	8,600円	10,000口当たり分配金額	H	20円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	1,974,353円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>4,260,626円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>334,374,997円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>483,195,533円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>821,831,156円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>939,007,453口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>8,752円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>20円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F × H/10,000</td> <td>1,878,014円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	4,260,626円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	334,374,997円	分配準備積立金額	D	483,195,533円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	821,831,156円	当ファンドの期末残存口数	F	939,007,453口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	8,752円	10,000口当たり分配金額	H	20円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	1,878,014円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	3,860,371円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	310,861,269円																																																											
分配準備積立金額	D	534,293,197円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	849,014,837円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	987,176,964口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	8,600円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	20円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	1,974,353円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	4,260,626円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	334,374,997円																																																											
分配準備積立金額	D	483,195,533円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	821,831,156円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	939,007,453口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	8,752円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	20円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	1,878,014円																																																											
2025年3月26日から2025年4月25日まで	2025年9月26日から2025年10月27日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>3,697,849円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>307,874,657円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>517,267,824円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>828,840,330円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>961,531,940口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>8,619円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>20円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	3,697,849円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	307,874,657円	分配準備積立金額	D	517,267,824円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	828,840,330円	当ファンドの期末残存口数	F	961,531,940口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	8,619円	10,000口当たり分配金額	H	20円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>4,087,392円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>2,194,595円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>317,150,601円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>456,182,447円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>779,615,035円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>885,385,432口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>8,805円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>20円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	4,087,392円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	2,194,595円	収益調整金額	C	317,150,601円	分配準備積立金額	D	456,182,447円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	779,615,035円	当ファンドの期末残存口数	F	885,385,432口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	8,805円	10,000口当たり分配金額	H	20円						
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	3,697,849円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	307,874,657円																																																											
分配準備積立金額	D	517,267,824円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	828,840,330円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	961,531,940口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	8,619円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	20円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	4,087,392円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	2,194,595円																																																											
収益調整金額	C	317,150,601円																																																											
分配準備積立金額	D	456,182,447円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	779,615,035円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	885,385,432口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	8,805円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	20円																																																											

収益分配金額	$I=F \times H/10,000$	1,923,063円
2025年 4月26日から2025年 5月26日まで		
項目		
費用控除後の配当等収益額	A	4,395,943円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	306,058,219円
分配準備積立金額	D	515,132,171円
当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	825,586,333円
当ファンドの期末残存口数	F	954,846,527口
10,000口当たり収益分配対象額	$G=E/F \times 10,000$	8,646円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金額	$I=F \times H/10,000$	1,909,693円
2025年 5月27日から2025年 6月25日まで		
項目		
費用控除後の配当等収益額	A	4,275,181円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	299,163,799円
分配準備積立金額	D	505,014,581円
当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	808,453,561円
当ファンドの期末残存口数	F	932,158,549口
10,000口当たり収益分配対象額	$G=E/F \times 10,000$	8,672円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金額	$I=F \times H/10,000$	1,864,317円
2025年 6月26日から2025年 7月25日まで		
項目		
費用控除後の配当等収益額	A	4,278,554円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	318,701,548円
分配準備積立金額	D	501,151,695円
当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	824,131,797円
当ファンドの期末残存口数	F	947,318,901口
10,000口当たり収益分配対象額	$G=E/F \times 10,000$	8,699円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金額	$I=F \times H/10,000$	1,894,637円

収益分配金額	$I=F \times H/10,000$	1,770,770円
2025年10月28日から2025年11月25日まで		
項目		
費用控除後の配当等収益額	A	4,059,758円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	30,443,338円
収益調整金額	C	317,135,931円
分配準備積立金額	D	453,637,961円
当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	805,276,988円
当ファンドの期末残存口数	F	877,280,306口
10,000口当たり収益分配対象額	$G=E/F \times 10,000$	9,179円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金額	$I=F \times H/10,000$	1,754,560円
2025年11月26日から2025年12月25日まで		
項目		
費用控除後の配当等収益額	A	4,022,976円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	26,115,605円
収益調整金額	C	319,751,845円
分配準備積立金額	D	480,634,211円
当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	830,524,637円
当ファンドの期末残存口数	F	873,811,742口
10,000口当たり収益分配対象額	$G=E/F \times 10,000$	9,504円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金額	$I=F \times H/10,000$	1,747,623円
2025年12月26日から2026年 1月26日まで		
項目		
費用控除後の配当等収益額	A	4,081,636円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	60,929,021円
収益調整金額	C	318,551,011円
分配準備積立金額	D	506,541,558円
当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	890,103,226円
当ファンドの期末残存口数	F	869,910,109口
10,000口当たり収益分配対象額	$G=E/F \times 10,000$	10,232円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金額	$I=F \times H/10,000$	1,739,820円

## (金融商品に関する注記)

## (1)金融商品の状況に関する事項

前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
<p>1. 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>3. 金融商品に係るリスク管理体制 委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行っております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行っております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行っております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行っております。</p>	<p>1. 金融商品に対する取組方針 同左</p> <p>2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左</p> <p>3. 金融商品に係るリスク管理体制 同左</p>

## (2)金融商品の時価等に関する事項

前期 2025年 7月25日現在	当期 2026年 1月26日現在
---------------------	---------------------

<p>1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませ ん。</p> <p>2. 時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載して おります。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載して おります。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時 価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としてお ります。</p>	<p>1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左</p> <p>2. 時価の算定方法 同左</p>
--	---

## （関連当事者との取引に関する注記）

<p>前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日</p>	<p>当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日</p>
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

## （その他の注記）

## 1 元本の移動

<p>前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日</p>	<p>当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日</p>
期首元本額 1,049,618,448円	期首元本額 947,318,901円
期中追加設定元本額 55,417,581円	期中追加設定元本額 51,831,993円
期中一部解約元本額 157,717,128円	期中一部解約元本額 129,240,785円

2 有価証券関係  
売買目的有価証券

種類	前期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	当期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	42,559,069	62,173,804
親投資信託受益証券	4	6
合計	42,559,073	62,173,810

3 デリバティブ取引関係  
該当事項はありません。

## （4）【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式(2026年1月26日現在)

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券(2026年1月26日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	日本円	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(MXN Class)	103,796	1,226,349,740	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：99.2%	103,796	1,226,349,740 100.0%	
	合計			1,226,349,740	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー マザーファンド	9,808	10,063	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.0%	9,808	10,063 0.0%	
	合計			10,063	
合計				1,226,359,803	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表  
該当事項はありません。

## 【野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）年2回決算型】

## （1）【貸借対照表】

（単位：円）

	第23期 (2025年 7月25日現在)	第24期 (2026年 1月26日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	10,136,383	10,503,900
投資信託受益証券	577,877,124	682,221,730
親投資信託受益証券	10,035	10,063
未収利息	135	212
流動資産合計	588,023,677	692,735,905
資産合計	588,023,677	692,735,905
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払収益分配金	269,876	263,586
未払解約金	1,091,842	-
未払受託者報酬	92,958	105,993
未払委託者報酬	2,633,805	3,002,879
その他未払費用	6,142	8,658
流動負債合計	4,094,623	3,381,116
負債合計	4,094,623	3,381,116
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	269,876,403	263,586,569
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	314,052,651	425,768,220
（分配準備積立金）	233,055,628	339,789,248
元本等合計	583,929,054	689,354,789
純資産合計	583,929,054	689,354,789
負債純資産合計	588,023,677	692,735,905

## （２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第23期		第24期	
	自	2025年 1月28日	自	2025年 7月26日
	至	2025年 7月25日	至	2026年 1月26日
<b>営業収益</b>				
受取配当金		14,711,040		14,105,600
受取利息		26,634		24,015
有価証券売買等損益		32,014,393		111,355,041
営業収益合計		46,752,067		125,484,656
<b>営業費用</b>				
受託者報酬		92,958		105,993
委託者報酬		2,633,805		3,002,879
その他費用		6,142		8,658
営業費用合計		2,732,905		3,117,530
営業利益又は営業損失（ ）		44,019,162		122,367,126
経常利益又は経常損失（ ）		44,019,162		122,367,126
当期純利益又は当期純損失（ ）		44,019,162		122,367,126
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）		939,189		3,817,377
期首剰余金又は期首欠損金（ ）		306,955,486		314,052,651
剰余金増加額又は欠損金減少額		30,077,556		8,938,440
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		30,077,556		8,938,440
剰余金減少額又は欠損金増加額		65,790,488		15,509,034
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		65,790,488		15,509,034
分配金		269,876		263,586
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		314,052,651		425,768,220

## （３）【注記表】

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1.運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場（計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場）で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。
2.費用・収益の計上基準	親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。 受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。
3.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4.その他	当ファンドの計算期間は、信託約款の規定により、2025年7月26日から2026年1月26日までとなっております。

## （重要な会計上の見積りに関する注記）

該当事項はありません。

## （貸借対照表に関する注記）

第23期 2025年7月25日現在	第24期 2026年1月26日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数 269,876,403口	1. 計算期間の末日における受益権の総数 263,586,569口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 2.1637円 (10,000口当たり純資産額) (21,637円)	2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 2.6153円 (10,000口当たり純資産額) (26,153円)

## （損益及び剰余金計算書に関する注記）

第23期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第24期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日																																																												
1. 分配金の計算過程	1. 分配金の計算過程																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>12,630,416円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>268,922,691円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>220,695,088円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>502,248,195円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>269,876,403口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F×10,000</td> <td>18,610円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F×H/10,000</td> <td>269,876円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	12,630,416円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	268,922,691円	分配準備積立金額	D	220,695,088円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	502,248,195円	当ファンドの期末残存口数	F	269,876,403口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	18,610円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F×H/10,000	269,876円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>13,374,138円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>104,823,827円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>268,593,048円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>221,854,869円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>608,645,882円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>263,586,569口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F×10,000</td> <td>23,090円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F×H/10,000</td> <td>263,586円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	13,374,138円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	104,823,827円	収益調整金額	C	268,593,048円	分配準備積立金額	D	221,854,869円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	608,645,882円	当ファンドの期末残存口数	F	263,586,569口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	23,090円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F×H/10,000	263,586円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	12,630,416円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	268,922,691円																																																											
分配準備積立金額	D	220,695,088円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	502,248,195円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	269,876,403口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	18,610円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I=F×H/10,000	269,876円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	13,374,138円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	104,823,827円																																																											
収益調整金額	C	268,593,048円																																																											
分配準備積立金額	D	221,854,869円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	608,645,882円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	263,586,569口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	23,090円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I=F×H/10,000	263,586円																																																											

## （金融商品に関する注記）

## (1)金融商品の状況に関する事項

第23期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第24期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
1. 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1. 金融商品に対する取組方針 同左
2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、（その他の注記）の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	3. 金融商品に係るリスク管理体制

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの審査及び運用リスクの管理を行なっております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。	同左
---	----

## (2)金融商品の時価等に関する事項

第23期 2025年 7月25日現在	第24期 2026年 1月26日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2. 時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左 2. 時価の算定方法 同左

## (関連当事者との取引に関する注記)

第23期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第24期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

## (その他の注記)

## 1 元本の移動

第23期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第24期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
期首元本額 305,490,293円	期首元本額 269,876,403円
期中追加設定元本額 30,272,741円	期中追加設定元本額 7,073,838円
期中一部解約元本額 65,886,631円	期中一部解約元本額 13,363,672円

## 2 有価証券関係

## 売買目的有価証券

種類	第23期 自 2025年 1月28日 至 2025年 7月25日	第24期 自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
	損益に含まれた評価差額（円）	
投資信託受益証券	32,701,719	108,673,909
親投資信託受益証券	23	28
合計	32,701,742	108,673,937

## 3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

## (4)【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1)株式(2026年1月26日現在)

該当事項はありません。

## (2)株式以外の有価証券(2026年1月26日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	日本円	ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(MXN Class)	57,742	682,221,730	

	小計	銘柄数：1 組入時価比率：99.0%	57,742	682,221,730 100.0%
	合計			682,221,730
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー マザーファンド	9,808	10,063
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.0%	9,808	10,063 0.0%
	合計			10,063
合計				682,231,793

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

## 第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

### (参考)

「野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨選択型）」の各ファンドは「野村マネー マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された親投資信託受益証券は、すべて同親投資信託の受益証券です。なお、以下に記載した状況は監査の対象外となっております。

## 野村マネー マザーファンド

### 貸借対照表

(単位：円)

(2026年 1月26日現在)

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	2,227,538,768
現先取引勘定	2,870,000,000
未収利息	45,138
差入委託証拠金	110,384,000
流動資産合計	5,207,967,906
資産合計	5,207,967,906
負債の部	
流動負債	
未払解約金	66,414,000
流動負債合計	66,414,000
負債合計	66,414,000
純資産の部	
元本等	
元本	5,011,069,187
剰余金	
期末剰余金又は期末欠損金( )	130,484,719
元本等合計	5,141,553,906
純資産合計	5,141,553,906
負債純資産合計	5,207,967,906

### 注記表

#### (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
2.その他	現先取引 現先取引の会計処理については、「金融商品に関する会計基準」の規定によっております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

該当事項はありません。

#### (貸借対照表に関する注記)

2026年 1月26日現在

1. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	1.0260円
(10,000口当たり純資産額)	(10,260円)

## (金融商品に関する注記)

## (1)金融商品の状況に関する事項

自 2025年 7月26日 至 2026年 1月26日
1.金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。
2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 これらは、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。
3.金融商品に係るリスク管理体制 委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。
市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。
信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。
流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。

## (2)金融商品の時価等に関する事項

2026年 1月26日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませ ん。
2. 時価の算定方法 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としており ます。

## (その他の注記)

## 元本の移動及び期末元本額の内訳

2026年 1月26日現在	
期首	2025年 7月26日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当ファンドの元本額	4,146,342,817円
同期中における追加設定元本額	10,638,482,260円
同期中における一部解約元本額	9,773,755,890円
期末元本額	5,011,069,187円
期末元本額の内訳*	
野村世界業種別投資シリーズ(マネーパブル・ファンド)	2,700,000,350円
ノムラ・アジア・シリーズ(マネーパブル・ファンド)	83,071,819円
ネクストコア	4,259,076円
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド(欧州通貨コース)	982,609円
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド(円コース)	982,609円
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド(豪ドルコース)	982,609円
野村米国ハイ・イールド債券投信(円コース)毎月分配型	982,608円
野村米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース)毎月分配型	98,261円
野村米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)毎月分配型	982,608円
野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型	982,608円
野村米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース)毎月分配型	982,608円
野村米国ハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	98,261円
野村米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース)年2回決算型	98,261円
野村米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)年2回決算型	982,608円
野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型	982,608円
野村米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース)年2回決算型	98,261円
野村日本ブランド株投資(円コース)毎月分配型	982,609円
野村日本ブランド株投資(豪ドルコース)毎月分配型	982,608円
野村日本ブランド株投資(ブラジルリアルコース)毎月分配型	982,608円
野村日本ブランド株投資(トルコリラコース)毎月分配型	982,607円
野村日本ブランド株投資(円コース)年2回決算型	982,608円
野村日本ブランド株投資(豪ドルコース)年2回決算型	982,608円
野村日本ブランド株投資(ブラジルリアルコース)年2回決算型	982,608円
野村日本ブランド株投資(トルコリラコース)年2回決算型	982,608円
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(円コース)毎月分配型	984,834円
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(資源国通貨コース)毎月分配型	984,834円
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(アジア通貨コース)毎月分配型	984,834円
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	984,834円
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(資源国通貨コース)年2回決算型	984,834円
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(アジア通貨コース)年2回決算型	984,834円
ノムラ新興国債券ファンズ(野村SMA向け)	10,000円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(為替ヘッジあり)毎月分配型	984,252円

野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信(為替ヘッジなし)毎月分配型	98,261円
野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信(為替ヘッジあり)年2回決算型	984,252円
野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信(為替ヘッジなし)年2回決算型	98,261円
野村日本ブランド株投資(資源国通貨コース)毎月分配型	982,609円
野村日本ブランド株投資(アジア通貨コース)毎月分配型	982,609円
野村日本ブランド株投資(資源国通貨コース)年2回決算型	982,609円
野村日本ブランド株投資(アジア通貨コース)年2回決算型	982,609円
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(円コース)毎月分配型	982,607円
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(資源国通貨コース)毎月分配型	982,607円
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(アジア通貨コース)毎月分配型	982,608円
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(円コース)年2回決算型	98,261円
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(資源国通貨コース)年2回決算型	98,261円
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(アジア通貨コース)年2回決算型	98,261円
野村米国ブランド株投資(円コース)毎月分配型	98,261円
野村米国ブランド株投資(資源国通貨コース)毎月分配型	983,768円
野村米国ブランド株投資(アジア通貨コース)毎月分配型	983,768円
野村米国ブランド株投資(円コース)年2回決算型	983,768円
野村米国ブランド株投資(資源国通貨コース)年2回決算型	983,768円
野村米国ブランド株投資(アジア通貨コース)年2回決算型	983,768円
ノムラ・グローバルトレンド(円コース)毎月分配型	983,672円
ノムラ・グローバルトレンド(資源国通貨コース)毎月分配型	983,672円
ノムラ・グローバルトレンド(アジア通貨コース)毎月分配型	983,672円
ノムラ・グローバルトレンド(円コース)年2回決算型	983,672円
ノムラ・グローバルトレンド(資源国通貨コース)年2回決算型	983,672円
ノムラ・グローバルトレンド(アジア通貨コース)年2回決算型	983,672円
野村テンプレトン・トータル・リターン Aコース	983,381円
野村テンプレトン・トータル・リターン Bコース	98,261円
野村テンプレトン・トータル・リターン Cコース	983,381円
野村テンプレトン・トータル・リターン Dコース	983,381円
野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,609円
野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)年2回決算型	98,262円
野村グローバル高配当株プレミアム(円コース)毎月分配型	983,091円
野村グローバル高配当株プレミアム(通貨セレクトコース)毎月分配型	983,091円
野村グローバル高配当株プレミアム(円コース)年2回決算型	983,091円
野村グローバル高配当株プレミアム(通貨セレクトコース)年2回決算型	983,091円
野村アジアハイ・イールド債券投信(円コース)毎月分配型	982,898円
野村アジアハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,898円
野村アジアハイ・イールド債券投信(アジア通貨セレクトコース)毎月分配型	982,898円
野村アジアハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	982,898円
野村アジアハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)年2回決算型	982,898円
野村アジアハイ・イールド債券投信(アジア通貨セレクトコース)年2回決算型	982,898円
野村豪ドル債オープン・プレミアム毎月分配型	982,801円
野村豪ドル債オープン・プレミアム年2回決算型	491,401円
野村グローバルREITプレミアム(円コース)毎月分配型	982,608円
野村グローバルREITプレミアム(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,608円
野村グローバルREITプレミアム(円コース)年2回決算型	982,608円
野村グローバルREITプレミアム(通貨セレクトコース)年2回決算型	982,608円
野村日本高配当株プレミアム(円コース)毎月分配型	982,415円
野村日本高配当株プレミアム(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,415円
野村日本高配当株プレミアム(円コース)年2回決算型	982,415円
野村日本高配当株プレミアム(通貨セレクトコース)年2回決算型	982,415円
野村高配当インフラ関連株プレミアム(円コース)毎月分配型	982,029円
野村高配当インフラ関連株プレミアム(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,029円
野村高配当インフラ関連株プレミアム(円コース)年2回決算型	982,029円
野村高配当インフラ関連株プレミアム(通貨セレクトコース)年2回決算型	982,029円
野村カルミニャック・ファンド Aコース	981,547円
野村カルミニャック・ファンド Bコース	981,547円
野村通貨選択日本株投信(米ドルコース)毎月分配型	981,451円
野村通貨選択日本株投信(豪ドルコース)毎月分配型	177,539円
野村通貨選択日本株投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型	398,357円
野村通貨選択日本株投信(メキシコペソコース)毎月分配型	626,503円
野村通貨選択日本株投信(米ドルコース)年2回決算型	981,451円
野村通貨選択日本株投信(豪ドルコース)年2回決算型	132,547円
野村通貨選択日本株投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型	100,946円
野村通貨選択日本株投信(メキシコペソコース)年2回決算型	373,897円
野村エマージング債券プレミアム毎月分配型	981,451円
野村エマージング債券プレミアム年2回決算型	981,451円
ノムラ THE USA Aコース	981,258円
ノムラ THE USA Bコース	981,258円
野村日本ブランド株投資(米ドルコース)毎月分配型	9,809円
野村日本ブランド株投資(米ドルコース)年2回決算型	9,809円
野村アジアハイ・イールド債券投信(米ドルコース)毎月分配型	9,808円
野村アジアハイ・イールド債券投信(米ドルコース)年2回決算型	9,808円

野村米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)毎月分配型	9,808円
野村米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)年2回決算型	9,808円
野村米国ブランド株投資(米ドルコース)毎月分配型	9,807円
野村米国ブランド株投資(米ドルコース)年2回決算型	9,807円
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(米ドルコース)毎月分配型	9,807円
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(米ドルコース)年2回決算型	9,807円
ノムラ新興国債券ファンズ(野村SMA・EW向け)	9,801円
野村ブルーベイ・トータルリターンファンド(野村SMA・EW向け)	9,801円
グローバル・ストック Aコース	97,953円
グローバル・ストック Bコース	979,528円
グローバル・ストック Cコース	97,953円
グローバル・ストック Dコース	116,529円
野村グローバル・クオリティ・グロース Aコース(野村SMA・EW向け)	9,794円
野村グローバル・クオリティ・グロース Bコース(野村SMA・EW向け)	9,794円
野村MFSグローバル・リサーチ・フォーカス株式 Aコース(野村SMA・EW向け)	9,794円
野村MFSグローバル・リサーチ・フォーカス株式 Bコース(野村SMA・EW向け)	9,794円
野村ファンドラップ債券プレミア	9,795円
野村ファンドラップオルタナティブプレミア	9,795円
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Aコース	9,797円
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Bコース	9,797円
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Cコース	9,797円
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Dコース	9,797円
のむらップ・ファンド(普通型)年3%目標分配金受取型	98,001円
のむらップ・ファンド(普通型)年6%目標分配金受取型	98,001円
野村ブラックロック循環経済関連株投信 Aコース	98,011円
野村ブラックロック循環経済関連株投信 Bコース	98,011円
野村環境リーダーズ戦略ファンド Aコース	98,020円
野村環境リーダーズ戦略ファンド Bコース	98,020円
マイライフ・エール(資産成長型)	98,049円
マイライフ・エール(年2%目標払出型)	98,049円
マイライフ・エール(年6%目標払出型)	98,049円
野村PIMCO・トレンド戦略ファンド Aコース	98,059円
野村PIMCO・トレンド戦略ファンド Bコース	98,059円
ウエリントン・企業価値共創世界株ファンド Aコース	98,078円
ウエリントン・企業価値共創世界株ファンド Bコース	98,078円
野村PIMCO・トレンド戦略ファンド(米ドル売り円買い)(野村SMA・EW向け)	9,808円
野村アバンティス米国小型株ファンド Aコース(野村SMA・EW向け)	9,809円
野村アバンティス米国小型株ファンド Bコース(野村SMA・EW向け)	9,809円
野村アバンティス新興国株ファンド Aコース(野村SMA・EW向け)	9,809円
野村アバンティス新興国株ファンド Bコース(野村SMA・EW向け)	9,809円
ウエリントン・企業価値共創世界株ファンド Aコース(野村SMA・EW向け)	9,806円
ウエリントン・企業価値共創世界株ファンド Bコース(野村SMA・EW向け)	9,806円
野村ブラックロック世界優良企業厳選ファンド Aコース	9,803円
野村ブラックロック世界優良企業厳選ファンド Bコース	9,803円
野村マッコーリー・プライベート・インフラ・ファンド	97,848円
のむらップ・ファンド(保守型)年3%目標分配金受取型	97,781円
のむらップ・ファンド(積極型)年3%目標分配金受取型	97,781円
のむらップ・ファンド(積極型)年6%目標分配金受取型	97,781円
野村グローバル高配当株プレミアム(米ドルコース)毎月分配型	9,771円
野村グローバル高配当株プレミアム(米ドルコース)年2回決算型	9,771円
野村マッコーリー・プライベート・インフラ・ファンド(野村SMA・EW向け)	97,542円
ノムラ・プライベート・シリーズTPGアンジェロ・ゴードンBDCオープン(為替ヘッジあり)2025-06(限定追加型)(適格機関投資家専用)	341,203,643円
野村アンジェロ・ゴードンBDCファンド(為替ヘッジあり)2210(適格機関投資家転売制限付)	1,063,493,318円
ノムラ・プライベート・シリーズTPGアンジェロ・ゴードンBDCファンド(為替ヘッジあり)2402(適格機関投資家転売制限付)	543,836,671円
野村DC運用戦略ファンド	184,177,059円
野村DC運用戦略ファンド(マイルド)	7,492,405円

\*は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

## 附属明細表

### 第1 有価証券明細表

(1)株式(2026年1月26日現在)

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券(2026年1月26日現在)

該当事項はありません。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表  
該当事項はありません。

## 2【ファンドの現況】

## 【純資産額計算書】

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型

2026年2月27日現在

資産総額	10,228,543,907円
負債総額	2,668,703円
純資産総額（ - ）	10,225,875,204円
発行済口数	14,978,689,799口
1口当たり純資産額（ / ）	0.6827円

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型

2026年2月27日現在

資産総額	6,913,721,652円
負債総額	17,590,437円
純資産総額（ - ）	6,896,131,215円
発行済口数	3,932,989,332口
1口当たり純資産額（ / ）	1.7534円

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月分配型

2026年2月27日現在

資産総額	126,797,202,059円
負債総額	108,138,783円
純資産総額（ - ）	126,689,063,276円
発行済口数	124,456,243,551口
1口当たり純資産額（ / ）	1.0179円

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）年2回決算型

2026年2月27日現在

資産総額	34,033,528,718円
負債総額	102,873,734円
純資産総額（ - ）	33,930,654,984円
発行済口数	8,542,674,484口
1口当たり純資産額（ / ）	3.9719円

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）毎月分配型

2026年2月27日現在

資産総額	20,656,300,864円
負債総額	15,308,699円
純資産総額（ - ）	20,640,992,165円
発行済口数	29,028,358,075口
1口当たり純資産額（ / ）	0.7111円

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）年2回決算型

2026年2月27日現在

資産総額	1,275,014,346円
負債総額	1,061,296円
純資産総額（ - ）	1,273,953,050円
発行済口数	270,516,557口
1口当たり純資産額（ / ）	4.7093円

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型

2026年2月27日現在

資産総額	31,515,243,809円
負債総額	17,224,286円
純資産総額（ - ）	31,498,019,523円
発行済口数	60,851,651,224口
1口当たり純資産額（ / ）	0.5176円

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型

2026年2月27日現在

資産総額	2,837,285,695円
負債総額	8,640,530円
純資産総額（ - ）	2,828,645,165円
発行済口数	579,961,329口
1口当たり純資産額（ / ）	4.8773円

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）毎月分配型

2026年2月27日現在

資産総額	2,050,600,578円
負債総額	556,096円
純資産総額（ - ）	2,050,044,482円
発行済口数	5,261,105,917口
1口当たり純資産額（ / ）	0.3897円

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）年2回決算型

2026年2月27日現在

資産総額	778,925,897円
負債総額	16,075,611円
純資産総額（ - ）	762,850,286円
発行済口数	324,385,727口
1口当たり純資産額（ / ）	2.3517円

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）毎月分配型

2026年2月27日現在

資産総額	4,471,474,260円
------	----------------

負債総額	541,112円
純資産総額（ - ）	4,470,933,148円
発行済口数	4,732,306,209口
1口当たり純資産額（ / ）	0.9448円

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）年2回決算型

2026年2月27日現在

資産総額	1,478,008,315円
負債総額	18,706,219円
純資産総額（ - ）	1,459,302,096円
発行済口数	448,689,709口
1口当たり純資産額（ / ）	3.2524円

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型

2026年2月27日現在

資産総額	1,248,884,600円
負債総額	521,300円
純資産総額（ - ）	1,248,363,300円
発行済口数	876,594,537口
1口当たり純資産額（ / ）	1.4241円

## 野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）年2回決算型

2026年2月27日現在

資産総額	681,519,341円
負債総額	577,178円
純資産総額（ - ）	680,942,163円
発行済口数	259,381,866口
1口当たり純資産額（ / ）	2.6252円

## （参考）野村マネー マザーファンド

2026年2月27日現在

資産総額	4,252,000,638円
負債総額	円
純資産総額（ - ）	4,252,000,638円
発行済口数	4,141,360,204口
1口当たり純資産額（ / ）	1.0267円

## 第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

## (1) 受益証券の名義書換えの事務等

該当事項はありません。

ファンドの受益権の帰属は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されることにより定まり、この信託の受益権を取り扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取り消された場合または当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。

なお、受益者は、委託者がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行なわないものとします。

(2) 受益者に対する特典

該当事項はありません。

(3) 受益権の譲渡

受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。

上記の申請のある場合には、上記の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行なわれるよう通知するものとします。

上記の振替について、委託者は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託者が必要と認めるときまたはやむをえない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

(4) 受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託者および受託者に対抗することができません。

(5) 受益権の再分割

委託者は、受託者と協議のうえ、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

(6) 質権口記載又は記録の受益権の取り扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付、一部解約金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取り扱われます。

## 第三部【委託会社等の情報】

### 第1【委託会社等の概況】

#### 1【委託会社等の概況】

##### (1)資本金の額

2026年3月末現在、17,180百万円

会社が発行する株式総数 20,000,000株

発行済株式総数 5,150,693株

過去5年間における主な資本金の額の増減：該当事項はありません。

##### (2)会社の機構

###### (a)会社の意思決定機構

当社は監査等委員会設置会社であり、会社の機関として株主総会、取締役会のほか代表取締役および監査等委員会を設けております。各機関の権限は以下のとおりです。

###### 株主総会

株主により構成され、取締役・会計監査人の選任・解任、剰余金の配当の承認、定款変更・合併等の重要事項の承認等を行います。

###### 取締役会

取締役により構成され、当社の業務につき意思決定を行います。また代表取締役等を選任し、取締役の職務の執行を監督します。

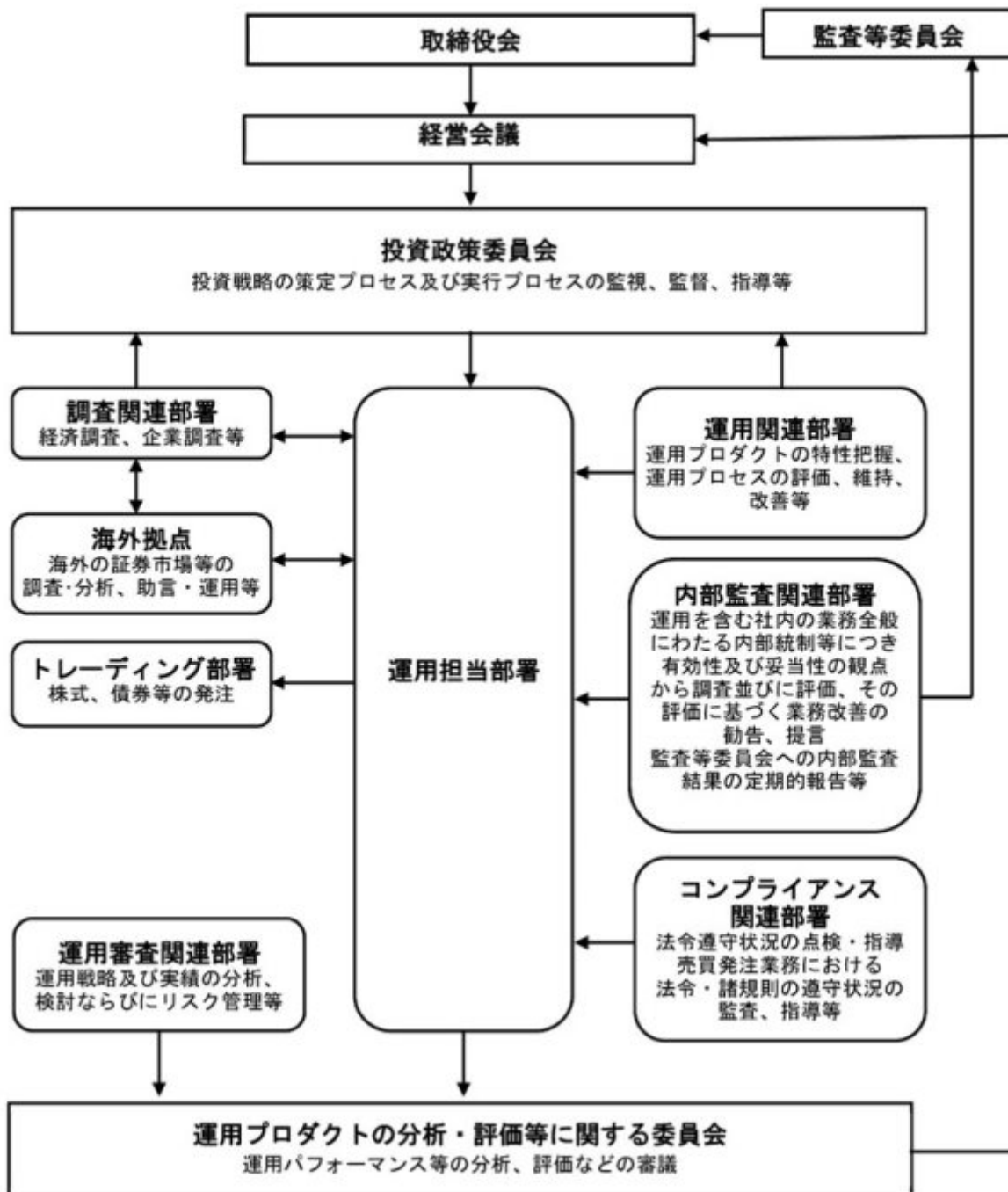
###### 代表取締役・業務執行取締役

代表取締役を含む各業務執行取締役は、当社の業務の執行を行います。代表取締役は当社を代表いたします。また取締役会により委任された一定の事項について、代表取締役を含む業務執行取締役で構成される経営会議が意思決定を行います。なお、当社は執行役員制度を導入しており、経営会議の構成員には執行役員が含まれます。

###### 監査等委員会

監査等委員である取締役3名以上（但し、過半数は社外取締役）で構成され、取締役の職務執行の適法性および妥当性に関する監査を行うとともに、株主総会に提出する会計監査人の選任・解任・不再任に関する議案の内容や監査等委員である取締役以外の取締役の選任・解任・辞任および報酬等についての監査等委員会としての意見を決定します。

## (b)投資信託の運用体制



## 2【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託者は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業に係る業務の一部及び投資助言業務を行っています。

委託者の運用する証券投資信託は2026年2月27日現在次の通りです(ただし、親投資信託を除きます。)

種類	本数	純資産総額(百万円)
追加型株式投資信託	879	76,278,190

単位型株式投資信託	120	553,570
追加型公社債投資信託	14	7,434,661
単位型公社債投資信託	344	504,402
合計	1,357	84,770,824

### 3【委託会社等の経理状況】

1. 委託会社である野村アセットマネジメント株式会社(以下「委託会社」という)の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という)、ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。

委託会社の中間財務諸表は、財務諸表等規則ならびに同規則第282条及び第306条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)に基づいて作成しております。

2. 財務諸表及び中間財務諸表の記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

3. 委託会社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度(2024年4月1日から2025年3月31日まで)の財務諸表ならびに中間会計期間(2025年4月1日から2025年9月30日まで)の中間財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人の監査及び中間監査を受けております。

#### (1)【貸借対照表】

区分	注記 番号	前事業年度 (2024年3月31日)		当事業年度 (2025年3月31日)	
		金額(百万円)		金額(百万円)	
(資産の部)					
流動資産					
現金・預金			7,405		8,177
金銭の信託			44,745		46,810
前払金			7		12
前払費用			852		1,019
未収入金			1,023		666
未収委託者報酬			31,788		34,911
未収運用受託報酬			5,989		7,066
短期貸付金			757		2,242
その他			169		195
貸倒引当金			18		21
流動資産計			92,719		101,080
固定資産					
有形固定資産					
建物	2	595		589	
器具備品	2	350		292	
無形固定資産					
ソフトウェア		5,658		6,888	6,889
その他		0		0	

投資その他の資産		17,314		14,923
投資有価証券		1,813	2,164	
関係会社株式		9,535	6,584	
長期差入保証金		519	521	
長期前払費用		10	11	
前払年金費用		1,875	2,413	
繰延税金資産		2,651	3,134	
その他		908	92	
固定資産計		23,918		22,694
資産合計		116,638		123,775

区分	注記 番号	前事業年度 (2024年3月31日)		当事業年度 (2025年3月31日)	
		金額(百万円)		金額(百万円)	
<b>(負債の部)</b>					
<b>流動負債</b>					
関係会社短期借入金			13,700		6,000
預り金			123		132
未払金			11,404		11,982
未払収益分配金		1		1	
未払償還金		39		65	
未払手数料		10,312		11,326	
関係会社未払金		1,052		589	
未払費用	1		12,507		12,594
未払法人税等			8,095		10,363
未払消費税等			1,590		2,112
前受収益			15		14
賞与引当金			4,543		5,846
その他			24		-
流動負債計			52,005		49,045
<b>固定負債</b>					
退職給付引当金			2,759		2,618
時効後支払損引当金			602		610
資産除去債務			1,123		1,431
固定負債計			4,484		4,660
負債合計			56,490		53,706
<b>(純資産の部)</b>					
<b>株主資本</b>					
資本金			17,180		17,180
資本剰余金			13,729		13,729
資本準備金		11,729		11,729	
その他資本剰余金		2,000		2,000	
利益剰余金			28,910		38,841
利益準備金		685		685	
その他利益剰余金		28,225		38,156	
繰越利益剰余金		28,225		38,156	
評価・換算差額等			327		317
その他有価証券評価差額金			327		317
純資産合計			60,147		70,069
負債・純資産合計			116,638		123,775

## ( 2 ) 【損益計算書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)		当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	
		金額(百万円)		金額(百万円)	
営業収益					
委託者報酬			124,722		155,775
運用受託報酬			21,188		23,666
その他営業収益			291		328
営業収益計			146,202		179,770
営業費用					
支払手数料			43,258		56,923
広告宣伝費			1,054		1,115
公告費			0		0
調査費			33,107		38,115
調査費		6,797		6,901	
委託調査費		26,310		31,213	
委託計算費			1,377		1,345
営業雑経費			3,670		4,336
通信費		92		89	
印刷費		820		780	
協会費		85		93	
諸経費		2,671		3,372	
営業費用計			82,468		101,835
一般管理費					
給料			13,068		14,094
役員報酬		259		321	
給料・手当		7,985		7,982	
賞与		4,822		5,790	
交際費			87		105
寄付金			117		116
旅費交通費			323		394
租税公課			990		1,537
不動産賃借料			1,235		1,236
退職給付費用			893		598
固定資産減価償却費			2,292		2,309
諸経費			12,483		12,708
一般管理費計			31,491		33,100
営業利益			32,242		44,834

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)		当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	
		金額(百万円)		金額(百万円)	
営業外収益					
受取配当金	1	7,054		6,594	

受取利息		48		93
為替差益		146		1,498
その他		625		786
営業外収益計			7,875	8,972
営業外費用				
支払利息		123		210
金銭の信託運用損		782		396
時効後支払損引当金繰入額		14		10
投資事業組合運用損		28		134
その他		18		10
営業外費用計			967	763
経常利益			39,149	53,043
特別利益				
株式報酬受入益		28		56
特別利益計			28	56
特別損失				
投資有価証券売却損		5		-
関係会社株式評価損		490		-
固定資産除却損	2	31		14
特別損失計			527	14
税引前当期純利益			38,651	53,085
法人税、住民税及び事業税			10,821	15,463
法人税等調整額			354	482
当期純利益			28,183	38,105

## (3) 【株主資本等変動計算書】

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本								株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	31,217	56,509	87,419
当期変動額									
剰余金の配当							55,782	55,782	55,782
当期純利益							28,183	28,183	28,183
別途積立金の取崩						24,606	24,606	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									

当期変動額合計	-	-	-	-	-	24,606	2,991	27,598	27,598
当期末残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	-	28,225	28,910	59,820

(単位：百万円)

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	229	229	87,648
当期変動額			
剰余金の配当			55,782
当期純利益			28,183
別途積立金の取崩			-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	97	97	97
当期変動額合計	97	97	27,500
当期末残高	327	327	60,147

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本							株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		その他利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	28,225	28,910	59,820
当期変動額								
剰余金の配当						28,174	28,174	28,174
当期純利益						38,105	38,105	38,105
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	9,931	9,931	9,931
当期末残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	38,156	38,841	69,751

(単位：百万円)

	評価・換算差額等
--	----------

	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	純資産合計
当期首残高	327	327	60,147
当期変動額			
剰余金の配当			28,174
当期純利益			38,105
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）	9	9	9
当期変動額合計	9	9	9,921
当期末残高	317	317	70,069

## [重要な会計方針]

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1) 子会社株式及び関連会社株式 ... 移動平均法による原価法</p> <p>(2) その他有価証券 市場価格のない ... 時価法 株式等以外のもの (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)</p> <p>市場価格のない ... 移動平均法による原価法 株式等</p>						
2. 金銭の信託の評価基準及び評価方法	時価法						
3. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	時価法						
4. 外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準	外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。						
5. 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)、並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。</p> <p>主な耐用年数は以下の通りであります。</p> <table> <tr> <td>建物</td> <td>6年</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>6～15年</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td>4～15年</td> </tr> </table> <p>(2) 無形固定資産及び投資その他の資産 定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。</p>	建物	6年	附属設備	6～15年	器具備品	4～15年
建物	6年						
附属設備	6～15年						
器具備品	4～15年						
6. 引当金の計上基準	<p>(1) 貸倒引当金 一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金 賞与の支払いに備えるため、支払見込額を計上しております。</p>						

<p>7. 収益及び費用の計上基準</p>	<p>(3) 退職給付引当金  従業員からの退職給付に備えるため、退職一時金及び確定給付型企業年金について、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。  退職給付見込額の期間帰属方法  退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。  数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法  確定給付型企業年金に係る数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。また、退職一時金に係る数理計算上の差異は、発生した事業年度の翌期に一括して費用処理することとしております。  退職一時金及び確定給付型企業年金に係る過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度から費用処理することとしております。</p> <p>(4) 時効後支払損引当金  時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。</p> <p>当社は、資産運用サービスから委託者報酬、運用受託報酬を稼得しております。これらには成功報酬が含まれる場合があります。</p> <p><b>委託者報酬</b>  委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき日々の純資産総額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を投資信託によって主に年4回、もしくは年2回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。</p> <p><b>運用受託報酬</b>  運用受託報酬は、投資顧問契約に基づき契約期間の純資産総額等に対する一定割合として認識され、確定した報酬を顧問口座によって主に年4回、もしくは年2回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、顧問口座の運用期間にわたり収益として認識しております。</p> <p><b>成功報酬</b>  成功報酬は、対象となる投資信託または顧問口座の特定のベンチマークまたはその他のパフォーマンス目標を上回る超過運用益に対する一定割合として認識されます。当該報酬は成功報酬を受領する権利が確定した時点で収益として認識しております。</p>
-----------------------	--

[ 会計上の見積りの変更に関する注記 ]

(1) 資産除去債務の計上額

当事業年度において、国内における近年の物価高騰を受け、本社事務所の不動産賃貸借契約に基づく退去時における原状回復義務に係る資産除去債務について、最新の物価及び人件費に基づく再見積りを行いました。この見積りの変更による増加額308百万円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

[ 表示方法の変更に関する注記 ]

( 損益計算書関係 )

前事業年度において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「投資事業組合運用損」は、営業外費用の総額の100分の10を超えたため、当事業年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた47百万円は、「投資事業組合運用損」28百万円、「その他」18百万円として組み替えております。

#### [ 会計方針の変更 ]

該当事項はありません。

#### [ 未適用の会計基準等 ]

- ・「リースに関する会計基準」(企業会計基準第34号 2024年9月13日)
  - ・「リースに関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第33号 2024年9月13日)
- ほか、関連する企業会計基準、企業会計基準適用指針、実務対応報告及び移管指針の改正

##### (1) 概要

国際的な会計基準と同様に、借手のすべてのリースについて資産・負債を計上する等の取扱いを定めるもの。

##### (2) 適用予定日

2028年3月期の期首より適用予定であります。

##### (3) 当該会計基準等の適用による影響

現時点において評価中であります。

#### [ 追加情報 ]

確定給付企業年金制度、退職一時金制度及び確定拠出年金制度を設けておりますが、2025年4月1日より確定給付企業年金制度の新規積立を停止し、確定拠出年金制度及び退職一時金制度による新規積立に変更しております。

この制度変更に伴う会計処理については、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号 2016年12月16日)及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第2号 2007年2月7日)を適用しております。

なお、退職給付制度変更による、当事業年度の損益計算書への影響は軽微であります。

#### [ 注記事項 ]

##### 貸借対照表関係

前事業年度末 (2024年3月31日)	当事業年度末 (2025年3月31日)
------------------------	------------------------

<p>1. 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれているものは、次のとおりであります。</p> <p>未払費用 1,939百万円</p>	<p>1. 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれているものは、次のとおりであります。</p> <p>未払費用 2,204百万円</p>
<p>2. 有形固定資産より控除した減価償却累計額</p> <p>建物 1,214百万円</p> <p>器具備品 733</p> <hr/> <p>合計 1,948</p>	<p>2. 有形固定資産より控除した減価償却累計額</p> <p>建物 1,528百万円</p> <p>器具備品 792</p> <hr/> <p>合計 2,320</p>

### 損益計算書関係

前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
<p>1. 関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で関係会社に対するものは、次のとおりであります。</p> <p>受取配当金 7,050百万円</p>	<p>1. 関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で関係会社に対するものは、次のとおりであります。</p> <p>受取配当金 6,591百万円</p>
<p>2. 固定資産除却損</p> <p>建物 -百万円</p> <p>器具備品 0</p> <p>ソフトウェア 30</p> <hr/> <p>合計 31</p>	<p>2. 固定資産除却損</p> <p>建物 0百万円</p> <p>器具備品 -</p> <p>ソフトウェア 14</p> <hr/> <p>合計 14</p>

### 株主資本等変動計算書関係

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

#### 1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末株式数
普通株式	5,150,693株	-	-	5,150,693株

#### 2. 剰余金の配当に関する事項

##### (1) 配当財産が金銭である場合における当該金銭の総額

2023年5月23日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

##### 普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	55,782百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	10,830円
基準日	2023年3月31日
効力発生日	2023年6月30日

##### (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2024年5月16日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

##### 普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	28,174百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	5,470円

基準日 2024年3月31日  
効力発生日 2024年6月28日

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末株式数
普通株式	5,150,693株	-	-	5,150,693株

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当財産が金銭である場合における当該金銭の総額

2024年5月16日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額 28,174百万円  
配当の原資 利益剰余金  
1株当たり配当額 5,470円  
基準日 2024年3月31日  
効力発生日 2024年6月28日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2025年5月14日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額 38,115百万円  
配当の原資 利益剰余金  
1株当たり配当額 7,400円  
基準日 2025年3月31日  
効力発生日 2025年6月30日

金融商品関係

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自らが運用する投資信託の商品性維持等を目的として、当該投資信託を特定金外信託を通じ保有しております。特定金外信託を通じ行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託にかかる将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、投資信託保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

なお、余資運用に関しては、譲渡性預金等安全性の高い金融資産で運用し、資金調達に関しては、親会社である野村ホールディングス株式会社及びその他の金融機関からの短期借入による方針であります。

## (2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

特定金外信託を通じ保有している投資信託につきましては、為替変動リスクや価格変動リスクに晒されておりませんが、その大部分については為替予約、株価指数先物、債券先物などのデリバティブ取引によりヘッジしております。また、株式につきましては、政策投資として、あるいは業務上の関係維持を目的として保有しておりますが、価格変動リスクに晒されております。有価証券及び投資有価証券並びに金銭の信託については財務部が管理しており、定期的に時価や発行体の財務状況を把握し、その内容を経営に報告しております。

デリバティブ取引の実行及び管理については、財務部及び運用部で行っております。デリバティブ取引については、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しているため信用リスクはほとんどないと認識しております。財務部は月に一度デリバティブ取引の内容を含んだ財務報告を経営会議で行っております。

また、営業債権である未収委託者報酬は、投資信託約款に基づき、信託財産から委託者に対して支払われる信託報酬の未払金額であり、信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しております。同じく営業債権である未収運用受託報酬は、投資顧問契約に基づき、運用受託者に対して支払われる報酬の未払金額であります。この未収運用受託報酬は、信託財産から運用受託者に対して支払われる場合は、信託財産が信託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しており、顧客から直接運用受託者に対して支払われる場合は、当該顧客の信用リスクにさらされておりますが、顧客ごとに決済期日および残高を管理することにより、回収懸念の早期把握や回収リスクの軽減を図っております。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

2024年3月31日における貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。

(単位：百万円)

	貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 金銭の信託	44,745	44,745	-
資産計	44,745	44,745	-
(2) その他（デリバティブ取引）	24	24	-
負債計	24	24	-

(注1) 現金・預金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、短期貸付金、短期借入金、未払金、未払費用、未払法人税等、未払消費税等は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(注2) 投資有価証券及び関係会社株式は、市場価格のない株式等及び組合出資金等であることから、上表には含まれておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は以下のとおりであります。

	前事業年度（百万円）
市場価格のない株式等（ ）	9,710
組合出資金等	1,638
合計	11,348

( ) 1 市場価格のない株式等には非上場株式等が含まれております。

2 非上場株式等について、当事業年度において490百万円減損処理を行っております。

(注3) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
預金	7,405	-	-	-

金銭の信託	44,745	-	-	-
未収委託者報酬	31,788	-	-	-
未収運用受託報酬	5,989	-	-	-
短期貸付金	757	-	-	-
合計	90,685	-	-	-

### 3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接または間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

区分	貸借対照表計上額（単位：百万円）			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
金銭の信託（運用目的・その他）	-	44,745	-	44,745
資産計	-	44,745	-	44,745
デリバティブ取引（通貨関連）	-	24	-	24
負債計	-	24	-	24

（注）時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

#### 金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。

信託財産を構成する金融商品の時価について、投資信託は基準価額、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。構成物のレベルに基づき、レベル2の時価に分類しております。

#### デリバティブ取引

時価の算定方法は、取引先金融機関から提示された価格等に基づき算出してあり、レベル2の時価に分類しております。

当事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

### 1. 金融商品の状況に関する事項

#### （1）金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自社が運用する投資信託の商品性維持等を目的として、当該投資信託を特定金外信託を通じ保有しております。特定金外信託を通じ行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託にかかる将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、投資信託保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

なお、余資運用に関しては、譲渡性預金等安全性の高い金融資産で運用し、資金調達に関しては、親会社である野村ホールディングス株式会社及びその他の金融機関からの短期借入による方針であり

ます。

## （２）金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

特定金外信託を通じ保有している投資信託につきましては、為替変動リスクや価格変動リスクに晒されておりますが、その大部分については為替予約、株価指数先物、債券先物などのデリバティブ取引によりヘッジしております。また、株式につきましては、政策投資として、あるいは業務上の関係維持を目的として保有しておりますが、価格変動リスクに晒されております。有価証券及び投資有価証券並びに金銭の信託については財務部が管理しており、定期的に時価や発行体の財務状況を把握し、その内容を経営に報告しております。

デリバティブ取引の実行及び管理については、財務部及び運用部で行っております。デリバティブ取引については、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しているため信用リスクはほとんどないと認識しております。財務部は月に一度デリバティブ取引の内容を含んだ財務報告を経営会議で行っております。

また、営業債権である未収委託者報酬は、投資信託約款に基づき、信託財産から委託者に対して支払われる信託報酬の未払金額であり、信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しております。同じく営業債権である未収運用受託報酬は、投資顧問契約に基づき、運用受託者に対して支払われる報酬の未払金額であります。この未収運用受託報酬は、信託財産から運用受託者に対して支払われる場合は、信託財産が信託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しており、顧客から直接運用受託者に対して支払われる場合は、当該顧客の信用リスクにさらされておりますが、顧客ごとに決済期日および残高を管理することにより、回収懸念の早期把握や回収リスクの軽減を図っております。

## ２．金融商品の時価等に関する事項

2025年3月31日における貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。

(単位：百万円)

	貸借対照表 計上額	時価	差額
(1)金銭の信託	46,810	46,810	-
(2)その他（デリバティブ取引）	70	70	-
資産計	46,880	46,880	-

(注1) 現金・預金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、短期貸付金、短期借入金、未払金、未払費用、未払法人税等、未払消費税等は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(注2) 投資有価証券及び関係会社株式は、市場価格のない株式等及び組合出資金等であることから、上表には含まれておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は以下のとおりであります。

	当事業年度（百万円）
市場価格のない株式等（ ）	6,759
組合出資金等	1,989
合計	8,749

( ) 1 市場価格のない株式等には非上場株式等が含まれております。

(注3) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超

預金	8,177	-	-	-
金銭の信託	46,810	-	-	-
未収委託者報酬	34,911	-	-	-
未収運用受託報酬	7,066	-	-	-
短期貸付金	2,242	-	-	-
合計	99,208	-	-	-

### 3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接または間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

区分	貸借対照表計上額（単位：百万円）			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
金銭の信託（運用目的・その他）	-	46,810	-	46,810
デリバティブ取引（通貨関連）	-	70	-	70
資産計	-	46,880	-	46,880

（注）時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

#### 金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。

信託財産を構成する金融商品の時価について、投資信託は基準価額、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。構成物のレベルに基づき、レベル2の時価に分類しております。

#### デリバティブ取引

時価の算定方法は、取引先金融機関から提示された価格等に基づき算出してあり、レベル2の時価に分類しております。

#### 有価証券関係

前事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

##### 1. 売買目的有価証券(2024年3月31日)

該当事項はありません。

##### 2. 満期保有目的の債券(2024年3月31日)

該当事項はありません。

##### 3. 子会社株式及び関連会社株式(2024年3月31日)

市場価格のない株式等の貸借対照表計上額

区分	当事業年度 (百万円)
子会社株式	9,428
関連会社株式	106

## 4．その他有価証券(2024年3月31日)

該当事項はありません。

非上場株式等（貸借対照表計上額174百万円）及び組合出資金等（貸借対照表計上額1,638百万円）については、市場価格のない株式等に該当するため、記載していません。

## 5．事業年度中に売却したその他有価証券（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

区分	売却額(百万円)	売却益の合計額(百万円)	売却損の合計額(百万円)
株式	36	-	5
合計	36	-	5

## 当事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

## 1．売買目的有価証券(2025年3月31日)

該当事項はありません。

## 2．満期保有目的の債券(2025年3月31日)

該当事項はありません。

## 3．子会社株式及び関連会社株式(2025年3月31日)

市場価格のない株式等の貸借対照表計上額

区分	当事業年度 (百万円)
子会社株式	6,478
関連会社株式	106

## 4．その他有価証券(2025年3月31日)

該当事項はありません。

非上場株式等（貸借対照表計上額174百万円）及び組合出資金等（貸借対照表計上額1,989百万円）については、市場価格のない株式等に該当するため、記載していません。

## 5．事業年度中に売却したその他有価証券（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

## デリバティブ取引関係

## 1．ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

## (1) 通貨関連

## 前事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

区分	取引の種類	契約額等 (百万円)	契約額等の うち一年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建 米ドル	730	-	24	24

## 当事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

区分	取引の種類	契約額等 (百万円)	契約額等の うち一年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建 米ドル	2,307	-	70	70

## 退職給付関係

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
1. 採用している退職給付制度の概要	
当社は、確定給付型の制度として確定給付型企业年金制度及び退職一時金制度を、また確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。	
2. 確定給付制度	
(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表	
退職給付債務の期首残高	20,314 百万円
勤務費用	802
利息費用	275
数理計算上の差異の発生額	1,024
退職給付の支払額	1,150
その他	11
退職給付債務の期末残高	19,205
(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表	
年金資産の期首残高	19,378 百万円
期待運用収益	455
数理計算上の差異の発生額	1,415
事業主からの拠出額	848
退職給付の支払額	850
年金資産の期末残高	21,247

## (3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金

## 及び前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	16,431 百万円
年金資産	21,247
	4,815
非積立型制度の退職給付債務	2,774
未積立退職給付債務	2,041
未認識数理計算上の差異	2,923
未認識過去勤務費用	1
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	883
退職給付引当金	2,759
前払年金費用	1,875
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	883

## (4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	802 百万円
利息費用	275
期待運用収益	455
数理計算上の差異の費用処理額	86
過去勤務費用の費用処理額	52
確定給付制度に係る退職給付費用	655

## (5) 年金資産に関する事項

## 年金資産の主な内容

年金資産合計に対する主な分類毎の比率は、次の通りです。

債券	31%
株式	32%
生保一般勘定	9%
生保特別勘定	7%
その他	21%
合計	100%

## 長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

## (6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

確定給付型企业年金制度の割引率	1.8%
退職一時金制度の割引率	1.3%
長期期待運用収益率	2.35%

## 3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、206百万円でした。

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

## 1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として確定給付型企业年金制度及び退職一時金制度を、また確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。

## 2. 確定給付制度

## (1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

退職給付債務の期首残高	19,205 百万円
勤務費用	754
利息費用	331
数理計算上の差異の発生額	1,665
退職給付の支払額	1,317
過去勤務費用の発生額	882
その他	7
退職給付債務の期末残高	16,418

## (2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

年金資産の期首残高	21,247 百万円
期待運用収益	499
数理計算上の差異の発生額	429
事業主からの拠出額	748
退職給付の支払額	1,023
年金資産の期末残高	21,041

## (3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	14,234 百万円
年金資産	21,041
	6,806
非積立型制度の退職給付債務	2,183
未積立退職給付債務	4,623
未認識数理計算上の差異	4,003
未認識過去勤務費用	825
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	205
退職給付引当金	2,618
前払年金費用	2,413
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	205

## (4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	754 百万円
利息費用	331
期待運用収益	499
数理計算上の差異の費用処理額	157
過去勤務費用の費用処理額	58
確定給付制度に係る退職給付費用	371

## (5) 年金資産に関する事項

年金資産の主な内容

年金資産合計に対する主な分類毎の比率は、次の通りです。

債券	32%
株式	31%
生保一般勘定	9%
生保特別勘定	7%
その他	20%
合計	100%

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

## (6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

確定給付型企業年金制度の割引率	2.5%
退職一時金制度の割引率	1.9%
長期期待運用収益率	2.35%

## 3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、206百万円でした。

## 税効果会計関係

## 1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生的主要原因別の内訳

前事業年度末 (2024年3月31日)		当事業年度末 (2025年3月31日)	
1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生的主要原因別の内訳		1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生的主要原因別の内訳	
繰延税金資産	百万円	繰延税金資産	百万円
賞与引当金	1,422	賞与引当金	1,840
退職給付引当金	855	退職給付引当金	824
関係会社株式評価減	1,162	関係会社株式評価減	1,281
未払事業税	360	未払事業税	547
投資有価証券評価減	11	投資有価証券評価減	12
減価償却超過額	323	減価償却超過額	331
時効後支払損引当金	186	時効後支払損引当金	192
関係会社株式売却損	505	関係会社株式売却損	509
ゴルフ会員権評価減	79	ゴルフ会員権評価減	81
資産除去債務	348	資産除去債務	451
未払社会保険料	116	未払社会保険料	135
その他	50	その他	38
繰延税金資産小計	5,422	繰延税金資産小計	6,245
評価性引当額	1,848	評価性引当額	1,973
繰延税金資産合計	3,573	繰延税金資産合計	4,271
繰延税金負債		繰延税金負債	
資産除去債務に対応する除去費用	109	資産除去債務に対応する除去費用	144
関係会社株式評価益	85	関係会社株式評価益	86
その他有価証券評価差額金	146	その他有価証券評価差額金	145
前払年金費用	581	前払年金費用	760
繰延税金負債合計	922	繰延税金負債合計	1,136
繰延税金資産の純額	2,651	繰延税金資産の純額	3,134
2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳		2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳	
法定実効税率	31.0%	法定実効税率	31.0%
(調整)		(調整)	
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.2%	交際費等永久に損金に算入されない項目	0.2%
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	5.4%	受取配当金等永久に益金に算入されない項目	3.9%
タックスヘイブン税制	1.2%	タックスヘイブン税制	1.3%
外国税額控除	0.3%	外国税額控除	0.3%
外国子会社からの受取配当に係る外国源泉税	0.5%	外国子会社からの受取配当に係る外国源泉税	0.5%
その他	0.2%	その他	0.4%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	27.0%	税効果会計適用後の法人税等の負担率	28.2%

	<p>3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正</p> <p>「所得税法等の一部を改正する法律」（令和7年法律第13号）が2025年3月31日に国会で成立したことに伴い、2026年4月1日以後開始する事業年度より、「防衛特別法人税」の課税が行われることになりました。</p> <p>これに伴い、2026年4月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異に係る繰延税金資産及び繰延税金負債については、法定実効税率を31.0%から31.5%に変更し計算しております。</p> <p>この変更により、当事業年度の繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は9百万円増加し、法人税等調整額が11百万円、その他有価証券評価差額金が2百万円、それぞれ減少しております。</p>
--	--

## 2. 法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理

当社は、グループ通算制度を適用しており、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日）に従って、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理並びに開示を行っております。

### 資産除去債務関係

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

#### 1. 当該資産除去債務の概要

本社の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務等であります。

#### 2. 当該資産除去債務の金額の算定方法

当事業年度において、原状回復費用の見積変更と使用見込期間の延長により、変更前の資産除去債務残高に308百万円加算しております。使用見込期間を当該不動産賃貸借契約期間とし、割引率は0.0%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

#### 3. 当該資産除去債務の総額の増減

（単位：百万円）

	前事業年度		当事業年度	
	自	2023年4月1日	自	2024年4月1日
	至	2024年3月31日	至	2025年3月31日
期首残高		1,123		1,123
有形固定資産の取得に伴う増加		-		-
資産除去債務の履行による減少		-		-
見積もりの変更による増加		-		308
期末残高		1,123		1,431

#### 4. 当該資産除去債務の金額の見積もりの変更

【会計上の見積りの変更に関する注記】（1）に記載の通りであります。

### 収益認識に関する注記

#### 1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

区分	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
委託者報酬	124,707百万円
運用受託報酬	19,131百万円
成功報酬（注）	2,071百万円

その他営業収益	291百万円
合計	146,202百万円

（注）成功報酬は、損益計算書において委託者報酬または運用受託報酬に含めて表示しております。

当事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

区分	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
委託者報酬	155,768百万円
運用受託報酬	21,631百万円
成功報酬（注）	2,042百万円
その他営業収益	328百万円
合計	179,770百万円

（注）成功報酬は、損益計算書において委託者報酬または運用受託報酬に含めて表示しております。

## 2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

[重要な会計方針] 7. 収益及び費用の計上基準に記載のとおりであります。

## 3. 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度末において存在する顧客との契約から当事業年度の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## セグメント情報等

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

### 1. セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

### 2. 関連情報

#### (1) 製品・サービスごとの情報

当社の製品・サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

#### (2) 地域ごとの情報

##### 売上高

本邦の外部顧客からの営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

##### 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

#### (3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先が識別されていないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

### 1. セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 2. 関連情報

### (1) 製品・サービスごとの情報

当社の製品・サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

### (2) 地域ごとの情報

#### 売上高

本邦の外部顧客からの営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

#### 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

### (3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先が識別されていないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

## 関連当事者情報

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

## 1. 関連当事者との取引

### (ア) 親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との 関係	取引の内容	取引 金額 (百万円)	科目	期末 残高 (百万円)
親会社	野村ホールディングス株式会社	東京都中央区	594,493 (百万円)	証券持株会社業	被所有100%	経営管理	資金の借入(*1)	141,800	短期借入金	13,700
							資金の返済(*1)	128,100		
							借入金利息(*1)	123	未払利息	19

### (イ) 子会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との 関係	取引の内容	取引 金額 (百万円)	科目	期末 残高 (百万円)
子会社	ノムラ・エーエム・ファイナンス・インク	ケイマン	2,500 (米ドル)	資金管理	直接100%	資産の賃貸借	資金の貸付(*1)	2,856	短期貸付金	757
							資金の返済(*1)	3,081		
							貸付金利息(*1)	48	未収利息	9

## （ウ）兄弟会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との 関係	取引の内容	取引 金額 (百万円)	科目	期末 残高 (百万円)
親会社の子会社	野村証券株式会社	東京都中央区	10,000 (百万円)	証券業	-	当社投資信託の募集の取扱及び売出の取扱ならびに投資信託に係る事務代行の委託等 役員の兼任	投資信託に係る事務代行手数料の支払（*2）	30,272	未払手数料	7,148

## （エ）役員及び個人主要株主等

該当はありません。

- (注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。  
2. 取引条件及び取引条件の決定方針等  
（\*1） 資金の借入及び貸付については、市場金利等を勘案し総合的に決定しております。  
（\*2） 投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。

## 2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

## （1）親会社情報

野村ホールディングス㈱（東京証券取引所、名古屋証券取引所、シンガポール証券取引所、ニューヨーク証券取引所に上場）

## （2）重要な関連会社の要約財務諸表

該当はありません。

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

## 1. 関連当事者との取引

## （ア）親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との 関係	取引の内容	取引 金額 (百万円)	科目	期末 残高 (百万円)
親会社	野村ホールディングス株式会社	東京都中央区	594,493 (百万円)	証券持株会社業	被所有100%	経営管理	資金の借入（*1）	177,500	短期借入金	6,000
							資金の返済（*1）	185,200		
							借入金利息（*1）	210	未払利息	3

## （イ）子会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との 関係	取引の内容	取引 金額 (百万円)	科目	期末 残高 (百万円)
子会社	ノムラ・エーエム・ファイナンス・インク	ケイマン	2,500 (米ドル)	資金管理	直接100%	資産の賃貸借	資金の貸付（*1）	6,964	短期貸付金	2,242
							資金の返済（*1）	5,368		
							貸付金利息（*1）	93	未収利息	23

子会社	ノムラ・アセット・マネジメント U . S . A . インク	ニ ュ ー ヨ ー ク	7,934,529 (米ドル)	投資顧問業	直接100%	-	有償減資 (*2)	4,475	-	-
-----	---------------------------------	-------------	--------------------	-------	--------	---	--------------	-------	---	---

## (ウ) 兄弟会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社の子会社	野村証券株式会社	東京都中央区	10,000 (百万円)	証券業	-	当社投資信託の募集の取扱及び売出の取扱ならびに投資信託に係る事務代行の委託等 役員の兼任	投資信託に係る事務代行手数料の支払(*3)	40,328	未払手数料	7,644

## (エ) 役員及び個人主要株主等

該当はありません。

- (注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。  
 2. 取引条件及び取引条件の決定方針等  
 (\*1) 資金の借入及び貸付については、市場金利等を勘案し総合的に決定しております。  
 (\*2) ノムラ・アセット・マネジメント U . S . A . インクが行った有償減資の金額を記載しております。  
 (\*3) 投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。

## 2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

## (1) 親会社情報

野村ホールディングス(株) (東京証券取引所、名古屋証券取引所、シンガポール証券取引所、ニューヨーク証券取引所に上場)

## (2) 重要な関連会社の要約財務諸表

該当はありません。

## 1株当たり情報

前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)		当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	
1株当たり純資産額	11,677円62銭	1株当たり純資産額	13,603円86銭
1株当たり当期純利益	5,471円85銭	1株当たり当期純利益	7,398円11銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。		潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。	
1株当たり当期純利益の算定上の基礎		1株当たり当期純利益の算定上の基礎	
損益計算書上の当期純利益	28,183百万円	損益計算書上の当期純利益	38,105百万円
普通株式に係る当期純利益	28,183百万円	普通株式に係る当期純利益	38,105百万円
普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません。		普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません。	
普通株式の期中平均株式数	5,150,693株	普通株式の期中平均株式数	5,150,693株

## 中間財務諸表

## 中間貸借対照表

		2025年9月30日現在
区分	注記 番号	金額(百万円)
(資産の部)		
流動資産		
現金・預金		5,306
金銭の信託		61,701
未収委託者報酬		36,524
未収運用受託報酬		6,554
短期貸付金		2,977
その他		1,423
貸倒引当金		21
流動資産計		114,466
固定資産		
有形固定資産	1	694
無形固定資産		7,496
ソフトウェア		7,496
その他		0
投資その他の資産		17,252
投資有価証券		2,936
関係会社株式		6,878
長期差入保証金		522
前払年金費用		2,655
繰延税金資産		4,154
その他		104
固定資産計		25,444
資産合計		139,910

		2025年9月30日現在
区分	注記 番号	金額(百万円)
(負債の部)		
流動負債		
短期借入金		44,300
未払金		12,484
未払収益分配金		1
未払償還金		64
未払手数料		11,936
関係会社未払金		483
未払費用		11,850
未払法人税等		6,494
未払消費税等	2	970
賞与引当金		3,346
その他		188
流動負債計		79,635
固定負債		
退職給付引当金		2,754
時効後支払損引当金		616
資産除去債務		1,431
固定負債計		4,802
負債合計		84,438
(純資産の部)		
株主資本		
資本金		55,149
資本剰余金		17,180
資本剰余金		13,729
資本準備金		11,729
その他資本剰余金		2,000
利益剰余金		24,239

利益準備金		685
その他利益剰余金		23,554
繰越利益剰余金		23,554
評価・換算差額等		323
その他有価証券評価差額金		323
純資産合計		55,472
負債・純資産合計		139,910

## 中間損益計算書

		自 2025年4月 1日 至 2025年9月30日
区分	注記 番号	金額(百万円)
営業収益		
委託者報酬		83,255
運用受託報酬		11,442
その他営業収益		148
営業収益計		94,846
営業費用		
支払手数料		31,463
調査費		19,015
その他営業費用		3,383
営業費用計		53,863
一般管理費	1	18,119
営業利益		22,863
営業外収益	2	7,810
営業外費用	3	900
経常利益		29,773
特別利益	4	50
特別損失	5	346
税引前中間純利益		29,477
法人税、住民税及び事業税		6,987
法人税等調整額		1,022
中間純利益		23,512

## 中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本
--	------

	資本金	資本剰余金			利益剰余金			株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計	
						繰越利益剰余金		
当期首残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	38,156	38,841	69,751
当中間期変動額								
剰余金の配当						38,115	38,115	38,115
中間純利益						23,512	23,512	23,512
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）								
当中間期変動額合計	-	-	-	-	-	14,602	14,602	14,602
当中間期末残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	23,554	24,239	55,149

(単位：百万円)

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	317	317	70,069
当中間期変動額			
剰余金の配当			38,115
中間純利益			23,512
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	5	5	5
当中間期変動額合計	5	5	14,596
当中間期末残高	323	323	55,472

## [重要な会計方針]

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	(1) 子会社株式及び関連会社株式 ... 移動平均法による原価法  (2) その他有価証券 市場価格のない ... 時価法 株式等以外のもの (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)  市場価格のない ... 移動平均法による原価法 株式等
2. 金銭の信託の評価基準及び評価方法	時価法

<p>3. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法</p> <p>4. 外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準</p> <p>5. 固定資産の減価償却の方法</p> <p>6. 引当金の計上基準</p>	<p>時価法</p> <p>外貨建金銭債権債務は、中間会計期間末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。</p> <p>(1) 有形固定資産  定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)、並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。  主な耐用年数は以下の通りであります。</p> <table border="0"> <tr> <td>建物</td> <td>6年</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>6～15年</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td>4～15年</td> </tr> </table> <p>(2) 無形固定資産及び投資その他の資産  定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。</p> <p>(1) 貸倒引当金  債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金  賞与の支払いに備えるため、支払見込額に基づき当中間会計期間に見合う分を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金  従業員の退職給付に備えるため、退職一時金及び確定給付型企業年金について、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。  退職給付見込額の期間帰属方法  退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当中間会計期間末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。  数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法  確定給付型企業年金に係る数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。また、退職一時金に係る数理計算上の差異は、発生した事業年度の翌期に一括して費用処理することとしております。  退職一時金及び確定給付型企業年金に係る過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度から費用処理することとしております。</p> <p>(4) 時効後支払損引当金  時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。</p>	建物	6年	附属設備	6～15年	器具備品	4～15年
建物	6年						
附属設備	6～15年						
器具備品	4～15年						

## 7. 収益及び費用の計上基準

当社は、資産運用サービスから委託者報酬、運用受託報酬を稼得しております。これらには成功報酬が含まれる場合があります。

## 委託者報酬

委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき日々の純資産総額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を投資信託によって主に年4回、もしくは年2回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。

## 運用受託報酬

運用受託報酬は、投資顧問契約に基づき契約期間の純資産総額等に対する一定割合として認識され、確定した報酬を顧問口座によって主に年4回、もしくは年2回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、顧問口座の運用期間にわたり収益として認識しております。

## 成功報酬

成功報酬は、対象となる投資信託または顧問口座の特定のベンチマークまたはその他のパフォーマンス目標を上回る超過運用益に対する一定割合として認識されます。当該報酬は成功報酬を受領する権利が確定した時点で収益として認識しております。

## [注記事項]

## 中間貸借対照表関係

2025年9月30日現在	
1 有形固定資産の減価償却累計額	2,510百万円
2 消費税等の取扱い	
仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ「未払消費税等」として表示しております。	

## 中間損益計算書関係

自 2025年4月 1日 至 2025年9月30日	
1 減価償却実施額	
有形固定資産	189百万円
無形固定資産	1,079百万円
2 営業外収益のうち主要なもの	
受取配当金	7,435百万円
3 営業外費用のうち主要なもの	
金銭信託運用損	507百万円
支払利息	222百万円
雑損	159百万円
4 特別利益の内訳	
株式報酬受入益	50百万円
5 特別損失の内訳	
投資有価証券等評価損	299百万円
固定資産除却損	46百万円

## 中間株主資本等変動計算書関係

		自 2025年4月 1日			
		至 2025年9月30日			
1 発行済株式に関する事項					
	株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当中間会計期間末
	普通株式	5,150,693株	-	-	5,150,693株
2 配当に関する事項					
配当金支払額					
2025年5月14日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。					
・普通株式の配当に関する事項					
	(1) 配当金の総額		38,115百万円		
	(2) 1株当たり配当額		7,400円		
	(3) 基準日		2025年3月31日		
	(4) 効力発生日		2025年6月30日		

## 金融商品関係

## 1. 金融商品の時価等に関する事項

2025年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。

(単位：百万円)

	中間貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 金銭の信託	61,701	61,701	-
資産計	61,701	61,701	-
(2) その他（デリバティブ取引）	49	49	-
負債計	49	49	-

(注1) 現金・預金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、短期貸付金、短期借入金、未払金、未払費用、未払法人税等、未払消費税等は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、記載を省略しております。

(注2) 投資有価証券及び関係会社株式は、市場価格のない株式等及び組合出資金等であることから、上表には含まれておりません。当該金融商品の中間貸借対照表計上額は以下のとおりであります。

	中間貸借対照表計上額 (百万円)
市場価格のない株式等（ ）	7,053
組合出資金等	2,761
合計	9,815

( ) 1 市場価格のない株式等には非上場株式等が含まれております。

2 非上場株式等について、当事業年度において299百万円減損処理を行っております。

## 2. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接または間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

## 時価で中間貸借対照表に計上している金融商品

区分	中間貸借対照表計上額（単位：百万円）			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
金銭の信託（運用目的・その他）	-	61,701	-	61,701
資産計	-	61,701	-	61,701
デリバティブ取引（通貨関連）	-	49	-	49
負債計	-	49	-	49

（注）時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。

信託財産を構成する金融商品の時価について、投資信託は基準価額、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。構成物のレベルに基づき、レベル2の時価に分類してあります。

デリバティブ取引

時価の算定方法は、取引先金融機関から提示された価格等に基づき算出してあり、レベル2の時価に分類してあります。

## 有価証券関係

当中間会計期間末（2025年9月30日）

## 1．売買目的有価証券(2025年9月30日)

該当事項はありません。

## 2．満期保有目的の債券(2025年9月30日)

該当事項はありません。

## 3．子会社株式及び関連会社株式(2025年9月30日)

## 市場価格のない株式等の中間貸借対照表計上額

区分	中間貸借対照表 計上額（百万円）
子会社株式	6,772
関連会社株式	106

## 4．その他有価証券(2025年9月30日)

該当事項はありません。

非上場株式等（貸借対照表計上額174百万円）及び組合出資金等（貸借対照表計上額2,761百万円）については、市場価格のない株式等に該当するため、記載してありません。

## デリバティブ取引関係

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

通貨関連

当中間会計期間（2025年9月30日）

区分	取引の種類	契約額等 (百万円)	契約額等の うち一年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建 米ドル	2,920	-	49	49

## 資産除去債務関係

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

当該資産除去債務の総額の増減（単位：百万円）

	自 2025年4月 1日 至 2025年9月30日
期首残高	1,431
有形固定資産の取得に伴う増加	-
時の経過による調整額	-
中間期末残高	1,431

## 収益認識に関する注記

## 1．顧客との契約から生じる収益を分解した情報

区分	当中間会計期間 (自2025年4月 1日 至2025年9月30日)
委託者報酬	83,248百万円
運用受託報酬	11,429百万円
成功報酬（注）	20百万円
その他営業収益	148百万円
合計	94,846百万円

（注）成功報酬は、中間損益計算書において委託者報酬または運用受託報酬に含めて表示していません。

## 2．顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

[重要な会計方針] 7. 収益及び費用の計上基準に記載のとおりであります。

3．顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当中間会計期間末において存在する顧客との契約から当中間会計期間の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## セグメント情報等

当中間会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

## 1．セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 2．関連情報

## (1) 製品・サービスごとの情報

当社の製品・サービス区分の決定方法は、中間損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

## (2) 地域ごとの情報

## 営業収益

本邦の外部顧客からの営業収益に区分した金額が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

## 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

## (3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの営業収益のうち、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先が識別されていないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

## 1 株当たり情報

	自 2025年4月 1日 至 2025年9月30日
1 株当たり純資産額	10,769円89銭
1 株当たり中間純利益	4,564円89銭
(注) 1. 潜在株式調整後 1 株当たり中間純利益につきましては、潜在株式がないため、記載していません。	
2. 1 株当たり中間純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。	
中間純利益	23,512百万円
普通株主に帰属しない金額	-
普通株式に係る中間純利益	23,512百万円
期中平均株式数	5,150千株

## 4 【利害関係人との取引制限】

委託者は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)

運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)

通常取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託者の親法人等(委託者の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下 において同じ。 )又は子法人等(委託者が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。 )と有価証券の売買その他の取引又は店頭デリバティブ取引を行うこと。

委託者の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。

上記 に掲げるもののほか、委託者の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為

## 5【その他】

### (1) 定款の変更

委託者の定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要です。

### (2) 訴訟事件その他の重要事項

委託者およびファンドに重要な影響を与えた事実、または与えると予想される事実はありません。

## 第2【その他の関係法人の概況】

### 1【名称、資本金の額及び事業の内容】

#### (1) 受託者

(a)名称	(b)資本金の額 <sup>*</sup>	(c)事業の内容
野村信託銀行株式会社	50,000百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

\* 2026年2月末現在

#### (2) 販売会社

(a)名称	(b)資本金の額 <sup>*</sup>	(c)事業の内容
野村証券株式会社	10,000百万円	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。

\* 2026年2月末現在

### 2【関係業務の概要】

#### (1) 受託者

ファンドの受託会社（受託者）として、信託財産の保管・管理・計算、外国証券を保管・管理する外国の保管銀行への指図・連絡等を行ないます。

#### (2) 販売会社

ファンドの取扱販売会社として、募集の取扱いを行ない、信託契約の一部解約に関する事務、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いに関する事務等を行ないます。

### 3【資本関係】

(2025年9月末現在の持株比率5.0%以上を記載します。)

#### (1) 受託者

該当事項はありません。

## (2) 販売会社

該当事項はありません。

## 第3【その他】

- (1) 目論見書の表紙にロゴ・マークや図案を採用すること、またファンドの形態などの記載をすることがあります。
- (2) 目論見書の巻末に約款を掲載する場合があります。
- (3) 届出書本文「第一部 証券情報」、「第二部 ファンド情報」に記載の内容について、投資者の理解を助けるため、当該内容を説明した図表等を付加して目論見書の当該内容に関連する箇所に記載することがあります。
- (4) 目論見書は電子媒体等として使用されるほか、インターネットなどに掲載されることがあります。
- (5) 目論見書は目論見書の別称として「投資信託説明書」と称して使用する場合があります。
- (6) 目論見書の表紙裏等にインターネットホームページに加え、他のインターネットのアドレス（当該アドレスをコード化した図形等も含む）も掲載し、当該アドレスにアクセスすることにより基準価額等の情報を入手できる旨を記載する場合があります。
- (7) 目論見書に当該委託会社の金融商品取引業者登録番号、当該委託会社が運用する投資信託財産の合計純資産総額および目論見書の使用を開始する日を記載する場合があります。
- (8) 目論見書に投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されている旨を記載する場合があります。

## 独立監査人の監査報告書

2025年6月6日

野村アセットマネジメント株式会社  
取締役会 御中

### EY新日本有限責任監査法人 東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 長谷川 敬  
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 水 永 真太郎  
業務執行社員

#### 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている野村アセットマネジメント株式会社の2024年4月1日から2025年3月31日までの第66期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村アセットマネジメント株式会社の2025年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

#### 財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用

することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

## 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業的前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業的前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。  
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

## 独立監査人の監査報告書

2026年4月10日

野村アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

## EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

長谷川 敬

## 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型の2025年7月26日から2026年1月26日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型の2026年1月26日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

## 独立監査人の監査報告書

2026年4月10日

野村アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

## EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

長谷川 敬

## 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型の2025年7月26日から2026年1月26日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型の2026年1月26日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

## 独立監査人の監査報告書

2026年4月10日

野村アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

## EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

長谷川 敬

## 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月分配型の2025年7月26日から2026年1月26日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月分配型の2026年1月26日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

## 独立監査人の監査報告書

2026年4月10日

野村アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

## EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

長谷川 敬

## 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）年2回決算型の2025年7月26日から2026年1月26日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）年2回決算型の2026年1月26日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

## 独立監査人の監査報告書

2026年4月10日

野村アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

## EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

長谷川 敬

## 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）毎月分配型の2025年7月26日から2026年1月26日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）毎月分配型の2026年1月26日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

## 独立監査人の監査報告書

2026年4月10日

野村アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

## EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

長谷川 敬

## 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）年2回決算型の2025年7月26日から2026年1月26日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）年2回決算型の2026年1月26日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

## 独立監査人の監査報告書

2026年4月10日

野村アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

## EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

長谷川 敬

## 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型の2025年7月26日から2026年1月26日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型の2026年1月26日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

## 独立監査人の監査報告書

2026年4月10日

野村アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

## EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

長谷川 敬

## 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型の2025年7月26日から2026年1月26日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型の2026年1月26日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

## 独立監査人の監査報告書

2026年4月10日

野村アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

## EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

長谷川 敬

## 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）毎月分配型の2025年7月26日から2026年1月26日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）毎月分配型の2026年1月26日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

## 独立監査人の監査報告書

2026年4月10日

野村アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

## EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

長谷川 敬

## 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）年2回決算型の2025年7月26日から2026年1月26日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）年2回決算型の2026年1月26日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

## 独立監査人の監査報告書

2026年4月10日

野村アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

## EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

長谷川 敬

## 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）毎月分配型の2025年7月26日から2026年1月26日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）毎月分配型の2026年1月26日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

## 独立監査人の監査報告書

2026年4月10日

野村アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

## EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

長谷川 敬

## 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）年2回決算型の2025年7月26日から2026年1月26日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）年2回決算型の2026年1月26日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

## 独立監査人の監査報告書

2026年4月10日

野村アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

## EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

長谷川 敬

## 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型の2025年7月26日から2026年1月26日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型の2026年1月26日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

## 独立監査人の監査報告書

2026年4月10日

野村アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

## EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

長谷川 敬

## 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）年2回決算型の2025年7月26日から2026年1月26日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）年2回決算型の2026年1月26日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

## 独立監査人の中間監査報告書

2025年11月27日

野村アセットマネジメント株式会社  
取締役会 御中EY新日本有限責任監査法人  
東京事務所指定有限責任社員 公認会計士 長谷川 敬  
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 水 永 真太郎  
業務執行社員

### 中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている野村アセットマネジメント株式会社の2025年4月1日から2026年3月31日までの第67期事業年度の中間会計期間（2025年4月1日から2025年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、野村アセットマネジメント株式会社の2025年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2025年4月1日から2025年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

### 中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定（社会的影響度の高い事業体の財務諸表監査に適用される規定を含む。）に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 中間財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を

開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

## 中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業的前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業的前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1．上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。  
2．XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。